

指定管理者制度導入施設における
モニタリング結果報告書
【令和4年度版】
(案)

目 次

◎ シートの見方	2
1 茅ヶ崎市営体育施設	
1-1 茅ヶ崎公園野球場・茅ヶ崎公園庭球場	4
1-2 芹沢スポーツ広場蹴球場兼野球場・芹沢スポーツ広場庭球場	6
1-3 堤スポーツ広場多目的球技場・堤スポーツ広場庭球場	8
2 茅ヶ崎市体育館	
2-1 茅ヶ崎市総合体育館	10
2-2 茅ヶ崎市体育館	12
3 茅ヶ崎市屋内温水プール	14
4 茅ヶ崎市自転車駐車場	
4-1 新栄町第一自転車駐車場	16
4-2 新栄町第二自転車駐車場	18
4-3 新栄町第三自転車駐車場	20
4-4 ツインウェイヴ北自転車駐車場	22
4-5 ツインウェイヴ南自転車駐車場	24
4-6 幸町自転車駐車場	26
4-7 共恵自転車駐車場	28
4-8 本宿町自転車駐車場	30
4-9 幸町第二自転車駐車場	32
5 茅ヶ崎市駐車場	
5-1 茅ヶ崎第2駐車場	34
5-2 茅ヶ崎第3駐車場	36
5-3 茅ヶ崎第4駐車場	38
5-4 東海岸南自動車駐車場	40
6 茅ヶ崎市民文化会館	42
7 茅ヶ崎市美術館	44
8 茅ヶ崎市地域集会施設	
8-1 茅ヶ崎地区コミュニティセンター	46
8-2 南湖会館	48
8-3 高砂コミュニティセンター	50
8-4 海岸地区コミュニティセンター	52
8-5 鶴嶺西コミュニティセンター	54
8-6 鶴嶺東コミュニティセンター	56

8-7	コミュニティセンター湘南	58
8-8	小和田地区コミュニティセンター	60
8-9	松浪コミュニティセンター	62
8-10	浜須賀会館	64
8-11	小出地区コミュニティセンター	66
9	茅ヶ崎市民活動サポートセンター	68
10	茅ヶ崎市茶室・書院（松籟庵）	70
11	茅ヶ崎市子どもの家	
11-1	子どもの家茅っ子（かやっこ）	72
11-2	子どもの家さんぼみち	74
11-3	子どもの家わくわくらんど	76
11-4	子どもの家銀河（ぎんが）	78
11-5	子どもの家なみっこ	80
11-6	子どもの家わいわいハウス	82
12	茅ヶ崎市障害児通所施設	
12-1	つつじ学園	84
12-2	かめっこくらぶ	86
13	茅ヶ崎市障害者ふれあい活動ホーム	
13-1	ふれあい活動ホーム赤羽根	88
13-2	ふれあい活動ホームあかしあ	90
13-3	ふれあい活動ホーム第2あかしあ	92
14	茅ヶ崎市児童クラブ	
14-1	茅ヶ崎市小出児童クラブ	94
14-2	茅ヶ崎市香川児童クラブ	96
14-3	茅ヶ崎市香川第2児童クラブ	98
14-4	茅ヶ崎市円蔵児童クラブ	100
14-5	茅ヶ崎市松林児童クラブ	102
14-6	茅ヶ崎市小和田児童クラブ	104
14-7	茅ヶ崎市室田児童クラブ	106
14-8	茅ヶ崎市鶴嶺児童クラブ	108
14-9	茅ヶ崎市梅田児童クラブ	110
14-10	茅ヶ崎市梅田第2児童クラブ	112
14-11	茅ヶ崎市今宿児童クラブ	114
14-12	茅ヶ崎市今宿・鶴嶺児童クラブ	116

14-13	茅ヶ崎市浜之郷児童クラブ	118
14-14	茅ヶ崎市茅ヶ崎児童クラブ	120
14-15	茅ヶ崎市西浜児童クラブ	122
14-16	茅ヶ崎市柳島児童クラブ	124
14-17	茅ヶ崎市東海岸児童クラブ	126
14-18	茅ヶ崎市松浪児童クラブ	128
14-19	茅ヶ崎市松浪第2児童クラブ	130
14-20	茅ヶ崎市浜須賀児童クラブ	132
14-21	茅ヶ崎市浜須賀第2児童クラブ	134
14-22	茅ヶ崎市緑が浜児童クラブ	136
14-23	茅ヶ崎市汐見台児童クラブ	138
15	茅ヶ崎市立中海岸保育園	140
16	茅ヶ崎市勤労市民会館	142
17	茅ヶ崎市老人憩の家	
17-1	しおさい南湖	144
17-2	萩園いこいの里	146
17-3	浜須賀会館	148
17-4	皆楽荘	150
18	茅ヶ崎市老人福祉センター	152
19	茅ヶ崎市ケアセンター	
19-1	茅ヶ崎市松林ケアセンター	154
19-2	茅ヶ崎市元町ケアセンター	156
19-3	茅ヶ崎市萩園ケアセンター	158
20	茅ヶ崎市営水泳プール	
20-1	茅ヶ崎市営浜須賀水泳プール	160
20-2	茅ヶ崎市営殿山水泳プール	162
21	柳島しおさい公園	164
22	茅ヶ崎市柳島キャンプ場	166
23	柳島スポーツ公園	168

モニタリング結果

シートの見方

【施設番号 1-1】

第2号様式

令和3年度 指定管理業務総括評価票

施設所管課：文化生涯学習部スポーツ推進課（内線：6022）
施設区分：非公募施設

施設名	茅ヶ崎公園野球場・茅ヶ崎公園庭球場
指定管理者名	公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕
施設の設置目的	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与するため
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市中海岸三丁目3番11号 開設年月日（野球場）：昭和26年10月1日（平成9年4月1日改修） （庭球場）：昭和30年5月1日（平成29年5月1日改修） 開館時間（通常期）：午前8時30分から午後5時15分まで 敷地面積：23,222㎡ 延床面積：3,147,05㎡（茅ヶ崎公園野球場） 主な施設：野球場、テニスコート、会議室 ほか

「所在地」、「開設年月日」、「主な施設」など施設の概要を記載しています。

評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善
------	-----------------------

評価区分	評価	確認資料等	
1 実施体制	「A評価」・・・1年間の指定管理業務実地調査票の確認区分のすべてが「B」以上で、その過半数が「A」である。	事業報告書	
	「B評価」・・・1年間の指定管理業務実地調査票の確認区分のすべてが「C」以上で、その7割5分以上が「B」である。		
	「C評価」・・・1年間の指定管理業務実地調査票の確認区分のすべてが「C」以上である。		
	「D評価」・・・1年間の指定管理業務実地調査票の確認区分に「D」が含まれている。		
	個人情報保護	B	個人情報保護マニュアル
	情報公開	B	情報公開マニュアル
	管理記録	B	業務日誌
	連絡調整	B	月次報告書
	緊急対応	B	緊急時マニュアル 救急搬送報告書
	財務状況	B	財務諸表
2 内容・水準	施設管理	B	事業報告書
	利用者対応	B	
	施設管理	B	実地
	利用者対応	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、整備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の購置・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ、館内掲示
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	事業報告書 月次報告書 わたしの提案 わたしの提案 ホームページからの問い合わせ
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	教室事業アンケート結果報告	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力がなされている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	維持管理については、日常および定期点検が実施されており適切に維持管理されている。規定改正してから10年経過していた野球場のスコアボードの表示変更（SBO→BSO）改修を実施していただいた。施設の立地上、塩害等もあり設備等の不具合が生じやすい中、優先順位をたてて修繕を実施しており、施設状態を維持するよう努めている点については評価する。 運営については、新型コロナウイルス感染症に伴い特例的な運用をする場面も多かったが、滞りなく運用することができた点については評価する。 施設予約システムのシステムエラーにより、予約がダブルブッキングしたことへの対応について利用者に対して丁寧に対応したことは評価する。		
	評価の中で特筆すべき事項	規定改正してから10年経過していた茅ヶ崎市公園野球場のスコアボード表示変更改修を実施。 給水ポンプの漏水対応。1階系統を修繕。 茅ヶ崎市出身のプロ野球選手による野球教室を行った。		
	指定管理者に来年度期待すること	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を今後も継続しながら、防止対策（自粛要請等）と施設の活性化（利用率向上）とのバランスを見極めながら安全な施設管理を図っていく。 塩害や経年劣化、老朽化速度の激しい施設のため様々な修繕対応が求められる施設であるが、限られた予算で引き続き優先順位を見定め対応するよう努める。また、引き続き経費節減及び増収が達成できた場合の収益については積極的に取り組む。 電気料金の高騰については、経費の節減をさらに進め、影響を最小限にできるような取組を図る。		総合評価を受けた指定管理者のコメントを記載しています。
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を今後も継続しながら、防止対策（自粛要請等）と施設の活性化（利用率向上）とのバランスを見極めながら安全な施設管理を図っていく。 塩害や経年劣化、老朽化速度の激しい施設のため様々な修繕対応が求められる施設であるが、限られた予算で引き続き優先順位を見定め対応するよう努める。また、引き続き経費節減及び増収が達成できた場合の収益については積極的に取り組む。 新たに自動販売機（アイス）の設置を行い、市民サービス向上を図るとともに施設利用価値を高めつつ、新たな収入源の確保に取り組む。 電気料金の高騰については、経費の節減をさらに進め、影響を最小限にできるような取組を図る。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	野球場の平日利用（閑散時）については、撮影等多目的利用に関する協力を行うなどをして有効利用を図っていく。 教室事業についてもまだまだ参加者自粛傾向があるものの、前年度比では上昇傾向。市広報紙面の大幅な制限によりPR方法に課題がある。これを補うためにもSNSを有効に活用し、施設利用の活性化にもつなげていく。また、事業の採算性については、回数や講師数等を見極めながら適正に実施している。引き続き、野球場の各種施設もプロ選手の自主キャンプ地としての有効活用を図る事業を展開していく。		

総合評価として施設所管課のコメントを記載しています。

総合評価を受けた指定管理者のコメントを記載しています。

指定管理者評価会議。指定管理者選定等委員会において「改善を要する点」とされた事項の改善進捗状況について、指定管理者のコメントを記載しています。

【施設番号 1-1】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：文化生涯学習部スポーツ推進課（内線：6022） 施設区分： 非公募施設		
施設名	茅ヶ崎公園野球場・茅ヶ崎公園庭球場			
指定管理者名	公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市中海岸三丁目3番11号 開設年月日（野球場）：昭和26年10月1日（平成9年4月1日改修） （庭球場）：昭和30年5月1日（平成29年5月1日改修） 開館時間（通常期）：午前8時30分から午後5時15分まで 敷地面積：23,222㎡ 延床面積：3,147.05㎡（茅ヶ崎公園野球場） 主な施設：野球場、テニスコート、会議室 ほか			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護マニュアル
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル 救急搬送報告書	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	財務諸表	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ、館内掲示
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	事業報告書 月次報告書 わたしの提案 ホームページからの問い合わせ
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	教室事業アンケート結果報告	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	維持管理については、日常および定期点検が実施されており適切に維持管理されている。規定改正してから10年経過していた野球場のスコアボードの表示変更（SBO→BSO）改修を実施していただいた。施設の立地上、塩害等もあり設備等の不具合が生じやすい中、優先順位をたてて修繕を実施しており、施設状態を維持するよう努めている点については評価する。 運営については、新型コロナウイルス感染症に伴い特例的な運用をする場面も多かったが、滞りなく運用することができた点については評価する。 施設予約システムのシステムエラーにより、予約がダブルブッキングしたことの対応について利用者に対して丁寧に対応したことは評価する。		
	評価の中で特筆すべき事項	規定改正してから10年経過していた茅ヶ崎市公園野球場のスコアボード表示変更改修を実施。 給水ポンプの漏水対応。1階システムを修繕。 茅ヶ崎市出身のプロ野球選手による野球教室を行った。		
	指定管理者に来年度期待すること	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を今後も継続しながら、防止対策（自粛要請等）と施設の活性化（利用率向上）とのバランスを見極めながら安全な施設管理を図っていく。 もともと利用率の高い施設だが、行っている事業（オープン教室）の参加者数を伸ばす取組（SNSによる告知等）を図る。 電気料金の高騰については、経費の節減をさらに進め、影響を最小限にできるような取組を図る。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を今後も継続しながら、防止対策（自粛要請等）と施設の活性化（利用率向上）とのバランスを見極めながら安全な施設管理を図っていく。 塩害や経年劣化、老朽化速度の激しい施設のため様々な修繕対応が求められる施設であるが、限られた予算運用のため、引き続き優先順位を見定め対応するよう努める。また、引き続き経費節減及び増収が達成できた場合の収益については補修等を積極的に行い、市民サービスとして還元していく。 新たに自動販売機（アイス）の設置を行い、市民サービス向上を図るとともに施設利用価値を高めつつ、新たな収入源の確保に取り組む。 電気料金の高騰については、経費の節減をさらに進め、影響を最小限にできるような取組を図る。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	野球場の平日利用（閑散時）については、撮影等多目的利用に関する協力を行うなどをして有効利用を図っていく。 教室事業についてもまだまだ参加自粛傾向があるものの、前年度比では上昇傾向。市広報紙面の大幅な制限によりPR方法に課題がある。これを補うためにもSNSを有効に活用し、施設利用の活性化にもつなげていく。また、事業の採算性については、回数や講師数等を見極めながら適正に実施していく。 引き続き、野球場の冬季整備期間におけるプロ選手の自主キャンプ地としての有効活用を図る事業を展開していく。		

【施設番号 1-2】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：文化生涯学習部スポーツ推進課（内線：6022） 施設区分：非公募施設		
施設名	芹沢スポーツ広場蹴球兼野球場・芹沢スポーツ広場庭球場			
指定管理者名	公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市芹沢430番地の3 開設年月日（蹴球兼野球場）：昭和57年9月10日 （庭球場）：昭和57年7月23日 開館時間：8時30分から21時15分まで 敷地面積：17,933.05㎡ 延床面積：141,30㎡ 主な施設：蹴球兼野球場、テニスコート			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護マニュアル
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル 救急搬送報告書	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	財務諸表	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ、館内掲示
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	事業報告書 月次報告書 わたしの提案 ホームページからの問い合わせ
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	教室事業アンケート結果報告	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	維持管理については、敷地内の草刈り等も適切に実施しており、環境整備についても一定の成果がみられる。運営面では新型コロナウイルス感染拡大に伴い特例的な運用をする場面も多かったが、滞りなく運用することができた点については評価する。 施設予約システムのシステムエラーにより、予約がダブルブッキングしたことの対応について利用者に対して丁寧に対応したことは評価する。		
	評価の中で特筆すべき事項	蹴球兼野球場の利用率が50%を超え過去4年では最高値。近年のサッカー利用対応（ゴールの刷新、大学サッカーサークル利用誘致等）の効果が現れはじめている。 庭球場を中心に高い利用率のわりに狭小な駐車場（特に土日、大会時）における適切かつ柔軟な対応（職員による整理等）は評価できる。		
	指定管理者に来年度期待すること	新型コロナウイルス感染症の影響が依然として続いているため、衛生面等にはより一層の注意をしながら適切な維持管理をしていただきたい。 また、経費については電気料金の高騰も大きな影響があると思うが常に見直しを行い、効率的な施設運営を常に心がけて運営していただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を今後も継続しながら、防止対策（自粛要請等）と施設の活性化（利用率向上）とのバランスを見極めながら安全な施設管理を図っていく。 フェンス、ネット等、老朽化が進んでいる施設であるが、限られた予算運用のため、外注をなるべく避け、職員によるこまめな整備、修繕対応に努める。また、引き続き経費節減及び増収が達成できた場合の収益については補修等を積極的に行い、市民サービスとして還元していく。 電気料金の高騰については、経費の節減をさらに進め、影響を最小限にできるように取組を図る。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	蹴球兼野球場の平日利用（閑散時）については、サッカー利用を促すことで利用率の向上を図っていく。また、大学、学校等の部活、サークルが利用しやすい対応を図っていく。 教室等自主事業については、収支、採算性を重視しながら検討をしていく。遠隔地でありながら駐車場が狭い問題があり対応が難しい状況だが、各種目協会主催事業に協力するかたちで補っていく。 施設利用の活性化、各事業等のPR、発信を図るためにSNSを有効利用していく。		

【施設番号 1-3】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：文化生涯学習部スポーツ推進課（内線：6022） 施設区分：非公募施設		
施設名	堤スポーツ広場多目的球技場・堤スポーツ広場庭球場			
指定管理者名	公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市堤1316番地 開設年月日：平成20年4月29日 開館時間（通常期）：8時30分から17時15分まで 敷地面積：27,837.50㎡ 延床面積：155,98㎡ 主な施設：多目的球技場、テニスコート ほか			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護マニュアル
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌	
	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B		
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル 救急搬送報告書	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	財務諸表	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書 月次報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ、館内掲示	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	事業報告書 月次報告書 わたしの提案 ホームページからの問い合わせ
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	教室事業アンケート結果報告		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	維持管理については、日常および定期点検が実施されており適切に維持管理されている。運営については、新型コロナウイルス感染症に伴い特例的な運用をする場面も多かったが、滞りなく運用することができた点については評価する。物品販売についても継続して実施している点は評価する。施設予約システムのシステムエラーにより、予約がダブルブッキングしたことに対応について利用者に対して丁寧に対応したことは評価する。			
	評価の中で特筆すべき事項	テニスコートの補修を順次3年間にわたって行い、エンドライン付近の補修が終了。			
	指定管理者に来年度期待すること	新型コロナウイルス感染症の影響が依然として続いているため、衛生面等にはより一層の注意をしながら適切な維持管理をしていただきたい。 また、経費については電気料金の高騰も大きな影響があると思うが常に見直しを行い、効率的な施設運営を常に心がけて運営していただきたい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を今後も継続しながら、防止対策（自粛要請等）と施設の活性化（利用率向上）とのバランスを見極めながら安全な施設管理を図っていく。 庭球場のコートエンドライン付近の補修は終了したものの、第2の摩耗エリア（コート中央付近）の劣化が顕著になってきたことを受け、対応を検討していく。また、引き続き経費節減及び増収が達成できた場合の収益については補修等を積極的に行い、市民サービスとして還元していく。 電気料金の高騰については、経費の節減をさらに進め、影響を最小限にできるような取組を図る。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	多目的球技場の平日利用（閑散時）についてはフットサル以外の種目の利用促進を検討していく。 教室等自主事業については、アクセスが不便で駐車場も狭いことから対応が難しい環境だが、収支、採算性や市民の利便性やニーズを重視しながら検討をしていく。 施設利用の活性化、各事業等のPR、発信を図るためにSNSを有効利用していく。			

【施設番号 2-1】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：文化生涯学習部スポーツ推進課（内線：6022） 施設区分： 非公募施設		
施設名	総合体育館			
指定管理者名	公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目9番63号 開設年月日：平成元年5月9日 開館時間：午前8時30分から午後9時15分 敷地面積：10,512.23㎡ 延床面積：12,250.599㎡ 主な施設：第1体育室、第2体育室、柔剣道場、トレーニング室、会議室 ほか			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護マニュアル
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌	
	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B		
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル 救急搬送報告書	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	財務諸表	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ、館内掲示
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 月次報告書 わたしの提案 ホームページからの問い合わせ
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	教室事業アンケート結果報告	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	維持管理については、日常および定期点検が実施されており適切に維持管理されている。 地震による天井パネル落下に伴う施設の利用停止で利用者、利用料金収入の減少がありながらも、ロビーを代替場所として臨時卓球コーナーを設置し、スポーツの振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与していると評価する。 運営面については、新型コロナウイルス感染症に伴い特例的な運用をする場面も多かったが、滞りなく運用することができた点については評価する。8月に市体育協会と共催した中高年齢者の転倒事故防止運動教室はテレビの取材等も受け、評判もよかった。		
	評価の中で特筆すべき事項	10月7日の地震発生による第1・2体育室天井パネル破損に伴う施設の利用停止のため、新型コロナウイルスの影響と合わせて利用者数、利用料金は減少、個人利用の卓球練習場も利用停止となったが、ロビーを代替場所として臨時卓球コーナーを設置した。 第1体育室バスケットボールのコートライン補修を実施。 ポイラー制御盤交換の実施。		
	指定管理者に来年度期待すること	第1・2体育室の天井撤去及び設置施工が終了した後の通常営業が再開することとなりますが、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として続いているため、衛生面等にはより一層の注意をしながら適切な維持管理をしていただきたい。 また、経費については電気料金の高騰も大きな影響があると思いますが常に見直しを行い、効率的な施設運営を常に心がけて運営していただきたい。 コロナ後を見越した幅広い年齢層を対象とした自主事業（トップアスリートに触れる機会の創出などスポーツへの関心を高める事業など）の充実。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を今後も継続しながら、防止対策（自粛要請等）と施設の活性化（利用率向上）とのバランスを見極めながら安全な施設管理を図っていく。 新型コロナの影響で減少していた利用者も徐々に戻りはじめているが、依然としてトレーニング室の利用者数の低迷（平時の50%程度）が解消されていないため、安全利用PR等を図りながら回復に努める。 電気料金の高騰については、経費の節減をさらに進め、影響を最小限にできるような取組を図る。 経費節減及び増収が達成できた場合の収益については補修等を積極的に行い、市民サービスとして還元していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	トレーニング室については、利用自粛傾向のあおりから前年度に引き続いて例年に比して減収傾向。また、会議室の利用率向上については、前年度に比して利用率は上昇したものの引き続き利用自粛傾向があり課題としている状況。 教室事業についてもまだまだ参加自粛傾向があるものの、前年度比では上昇傾向。市広報紙面の大幅な制限によりPR方法に課題がある。これを補うためにもSNSを有効に活用し、施設利用の活性化にもつなげていく。また、事業の採算性については、回数や講師数等を見極めながら適正に実施していく。		

【施設番号 2-2】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：文化生涯学習部スポーツ推進課（内線：6022） 施設区分： 非公募施設		
施設名	茅ヶ崎市体育館			
指定管理者名	公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市十間坂三丁目6番5号 開設年月日：昭和41年4月1日 開館時間：午前8時30分から午後2時15分 敷地面積：2,941.81㎡ 延床面積：2,338.00㎡ 主な施設：競技場、柔剣道場、多目的室			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護マニュアル
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌	
	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B		
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル 救急搬送報告書	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	財務諸表	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ、館内掲示
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 月次報告書 わたしの提案 ホームページからの問い合わせ
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	教室事業アンケート結果報告	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	維持管理については、日常および定期点検が実施されており適切に維持管理されている。 運営については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い特例的な運用をする場面も多かったが、滞りなく運用することができた点については評価する。総合体育館の第1・2体育室が使用不可となったため、利用者がこちらに流れてきたことが伺え、利用者が増加している。 今後も利用者ニーズを把握し、更なる利用の促進に努めていただきたい。		
	評価の中で特筆すべき事項	総合体育館第1・2体育室が使用不可となったことにより、予定されていた大会等のスケジュールを茅ヶ崎市体育館で調整した。また、地震による天井パネル落下に伴う総合体育館第1体育室から、衆議院議員選挙の開票所を市体育館競技場へ変更することの対応を行うなど、市の事業に貢献した。		
	指定管理者に来年度期待すること	新型コロナウイルス感染症の影響が依然として続いているため、衛生面等にはより一層の注意をしながら適切な維持管理をしていただきたい。 また、経費については電気料金の高騰も大きな影響があると思いますが常に見直しを行い、効率的な施設運営を常に心がけて運営していただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を今後も継続しながら、防止対策（自粛要請等）と施設の活性化（利用率向上）とのバランスを見極めながら安全な施設管理を図っていく。 もともと利用率の高い施設だが、総合体育館体育室の工事の影響で、その存在価値、利用価値が再認識された。このことから、行っている事業（オープン教室）の参加者数を伸ばす取組（SNSによる告知等）を図る。 電気料金の高騰については、経費の節減をさらに進め、影響を最小限にできるような取組を図る。 経費節減及び増収が達成できた場合の収益については補修等を積極的に行い、市民サービスとして還元していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	教室事業についてはまだまだ参加自粛傾向があるものの、前年度比では上昇傾向。市広報紙面の大幅な制限によりPR方法に課題がある。これを補うためにもSNSを有効に活用し、施設利用の活性化にもつなげていく。また、事業の採算性については、回数や講師数等を見極めながら適正に実施していく。		

【施設番号 3】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：文化生涯学習部スポーツ推進課（内線：6022） 施設区分：公募施設		
施設名	屋内温水プール			
指定管理者名	株式会社東京アスレティッククラブ			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市萩園820番地 開設年月日：平成22年3月26日 開館時間：午前9時00分から午後8時45分まで 敷地面積：4,242.90㎡ 延床面積：1,940.53㎡ 主な施設：大プール、小プール、採暖プール、トレーニング室、会議室			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業計画書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業計画書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業計画書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護マニュアル
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次業務報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル 救急搬送報告書	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	財務諸表	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ、館内掲示、折込チラシ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 月次報告書 わたしの提案 ホームページからの問い合わせ
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	施設の維持・運営は適切に実施されている。 維持管理においては、施設の日常および定期清掃、各種点検が適切に実施されており、度重なる配管関係の不調に伴う修繕等、市と情報共有をしつつ、適切に実施した点は評価する。また、年間を通してプール利用者の環境改善とし、プールの透視度や室温・水温対策を講じており適切な状態が維持されている。 運営においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、時短要請、各種イベント事業の中止等、多くの影響を受けながらも、自主事業である教室事業も感染予防対策を講じながら実施し、高い参加率を維持しながら展開できた点は評価する。 さらに、環境配慮の取り組みとして、指定管理開始当初から実施している、公共交通機関を利用した方へのポイントカード制やシャワールの適切な節水を実施した。年度末に発生した利用者が負傷するトラブルの際、施設管理者としての初動対応に不備があった。引き続き、再発防止策の徹底及び緊急事態における初動対応について、従業員への指導・研修実施を求める。 コロナ禍で利用者が減少しながらも、感染対策を万全に講じながら過去の運営面や維持管理面のノウハウを生かした施設管理・運営を行ったことを評価する。		
	評価の中で特筆すべき事項	コロナ禍において、自宅でもできるトレーニング方法を紹介した冊子の作成や、地域の商業施設にチラシを配布するなど、工夫しながら事業を実施していた。そうした工夫により、コロナ禍でも利用者数は94,989人と昨年度より増加した。		
	指定管理者に来年度期待すること	これまでの指定管理期間で培った維持・運営ノウハウを生かした施設運営。 また、新たな業務改善に向けた提案を実施することで利用者や利用満足度の向上に繋がっていただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	運営面について、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、利用者が安心して利用できる環境整備に努める。 また、自主事業について、教室やイベントは市民のニーズをとらえ今後さらに拡大していく。動画配信・紙媒体（冊子）を活用して発信していき顧客満足度及び利用者増加を図っていく。 施設維持管理に当たっては今後も日常点検にて不具合箇所の早期発見につとめ、軽微なものについては早急に修繕していく。 また、各種定期点検にて指摘されたものについては修繕実施計画を立てるとともにスポーツ推進課と情報を共有して改善していく。 従業員研修について積極的に実施するとともに、実地での指導も強化し、安心安全な施設を提供していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	事業について、コミュニティーセンターとの連携で出張運動指導を進めていたが、コロナ禍の影響により中止となった。代替事業として独自に作成したトレーニング冊子を地域のスーパー等に設置・配布を行い、ネットワークを大きく広げ、地域全体での健康に寄与した。また、令和4年度は配布拠点を4店舗から7店舗に拡大し展開していく計画を立てている。また、消防職員の水泳トレーニングや小中学校支援学級のプール利用等市関係機関への運動利用に貢献した。消防との連携も強化し、消防車両展示等スポーツをしない人のきっかけとなる事業も展開していく。 各年度の取組計画については、年度計画書により回数等明確に立案している。コロナ禍による情勢の激しい変動による市民のニーズに合わせた計画変更も年度内に柔軟に行った。 情報公開については「茅ヶ崎市情報公開条例」「ちがさきの情報公開ハンドブック」に則り、事案に応じて個別に茅ヶ崎市と協議しながら公開内容を精査している。 交通アクセスについてはバス運行会社等関係各所と協議を進めており、アクセス改善に向けて今後も改善に努めていく。		

【施設番号 4-1】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：市民安全部安全対策課（内線：2351）		
		施設区分：非公募施設		
施設名	新栄町第一自転車駐車場			
指定管理者名	公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センター			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	自転車駐車場を確保することにより、市民の利便に資するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市新栄町13番45号 開設年月日：昭和57年3月1日 開館時間：午前6時から午後10時まで 敷地面積：686.13㎡ 延床面積：1,608.83㎡ 主な施設：自転車駐車場			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業計画書 事業報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	基本協定書 事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	月次報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規程 特定個人情報保護規程
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	基本協定書 情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	事業報告書 月次報告書
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	基本協定書 事業報告書 月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	基本協定書 緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	財務諸表 事業報告書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	基本協定書 事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	事業報告書 月次報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業計画書 事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	基本協定書 事業報告書 月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 月次報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	—	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	D	事業報告書 月次報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	D	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	C	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、新しい生活様式やテレワークの浸透により利用者数の減少、収入の減少が顕著である。利用料金制により運営している施設であり、経費節減等努力はしているものの、収支については大きなマイナスとなっている。協定書で定める仕様書に沿って適正に業務が行われている。施設の軽微な修繕等については職員が行うなど、施設の維持管理に努めている点が評価できる。また、月次報告書や月例モニタリングでの報告、電話連絡等によって市との情報共有を行うことで事故や苦情等に迅速に対応することができている。現場職員の接遇に関する要望等については、概ね高評価を受けている中でごく一部の低評価が課題であると考えられる。		
	評価の中で特筆すべき事項	職員が常に場内を巡回して利用者を空きスペースへ迅速に案内したり、施設の清掃や軽微な修繕などに常時対応している点などが評価できる。また、利用者アンケートでは、有人管理のため、職員があいさつしてくれることもあり、防犯対策に役立っているとの意見もあり、評価できる。 また、事件や事故、苦情等の問題が発生した際には早急に市へ連絡が入り、対応等の相談や報告をしていることも評価できる点である。		
	指定管理者に次年度期待すること	新型コロナウイルスの影響により、利用者数及び収入の減少しており、経営悪化に繋がっていると思われる。そのため、団体自体の財務状況の改善が必要であると考え。この状況を打破すべく、利用者数の増加を見込める新たな取組や収支状況の見直し等を実施し、財務状況が適正なものとなるよう期待したい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	利用者は、通勤・通学者であり、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少が今後も一定程度続くと見込まれるため、引き続き、安全面に十分な配慮をしながら人管理体制の見直し等を実施する。市内高校に入学する新入生へのPRのほか、民間情報誌やウェブサイトにも広告を掲載するなどして新たな利用者の獲得に努める。また、接遇研修を継続的に実施し、職員の接遇能力を向上させ、対面方式である利点を生かしながら、きめ細やかな対応を心がけリピーターの獲得に努め収入の確保を行う。 新たな社会システムについては、利用者アンケート等を実施し、貴市と協議しながら検討していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	安心安全対策として高機能の防犯カメラを2台設置。 施設の業務職員及び非常勤の嘱託職員に対し、外部講師を招いて接遇研修を行い、業務職員等を通してシルバー会員にもセンターで作成した接遇マニュアルに基づく指導を継続して行い、接遇面での質の向上を図っている。 定期券の販売について、市内の高校の新入生を対象としたPRのチラシを作成し配布したほか、年度末に民間情報誌やWebマガジン（#ちがすぎ）を活用した広報活動実施し、市内の新社会人などの利用者の確保に努めている。		

【施設番号 4-2】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：市民安全部安全対策課（内線：2351）		
		施設区分：非公募施設		
施設名	新栄町第二自転車駐車場			
指定管理者名	公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センター			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	自転車駐車場を確保することにより、市民の利便に資するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市新栄町13番45号 開設年月日：平成2年11月8日 開館時間：午前6時から午後10時まで 敷地面積：761.28㎡ 延床面積：2,435.34㎡ 主な施設：自転車駐車場			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業計画書 事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	基本協定書 事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	月次報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規程 特定個人情報保護規程
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	基本協定書 情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	事業報告書 月次報告書
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	基本協定書 事業報告書 月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	基本協定書 緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	財務諸表 事業報告書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	基本協定書 事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	事業報告書 月次報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
	言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B		

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業計画書 事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	基本協定書 事業報告書 月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 月次報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	—	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	D	事業報告書 月次報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	D	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	C	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、新しい生活様式やテレワークの浸透により利用者数の減少、収入の減少が顕著である。利用料金制により運営している施設であり、経費節減等努力はしているものの、収支については大きなマイナスとなっている。協定書で定める仕様書に沿って適正に業務が行われている。施設の軽微な修繕等については職員が行うなど、施設の維持管理に努めている点が評価できる。また、月次報告書や月例モニタリングでの報告、電話連絡等によって市との情報共有を行うことで事故や苦情等に迅速に対応することができている。現場職員の接遇に関する要望等については、概ね高評価を受けている中でごく一部の低評価が課題であると考えられる。		
	評価の中で特筆すべき事項	職員が常に場内を巡回して利用者を空きスペースへ迅速に案内したり、施設の清掃や軽微な修繕などに常時対応している点、3階下段ラック撤去することによりチャイルドシート付自転車置きやすい環境を整備した点などが評価できる。また、利用者アンケートでは、有人管理のため、職員があいさつしてくれることもあり、防犯対策に役立っているとの意見もあり、評価できる。また、事件や事故、苦情等の問題が発生した際には早急に市へ連絡が入り、対応等の相談や報告をしていることも評価できる点である。		
	指定管理者に来年度期待すること	新型コロナウイルスの影響により、利用者数及び収入の減少しており、経営悪化に繋がっていると思われる。そのため、団体自体の財務状況の改善が必要であると考え。この状況を打破すべく、利用者数の増加を見込める新たな取組や収支状況の見直し等を実施し、財務状況が適正なものとなるよう期待したい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	利用者は、通勤・通学者であり、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少が今後も一定程度続くと見込まれるため、引き続き、安全面に十分な配慮をしながら人員体制の見直し等を実施する。市内高校に入学する新入生へのPRのほか、民間情報誌やウェブサイトにも広告を掲載するなどして新たな利用者の獲得に努める。また、接遇研修を継続的に実施し、職員の接遇能力を向上させ、対面方式である利点を生かしながら、きめ細やかな対応を心がけリピーターの獲得に努め収入の確保を行う。新たな社会システムについては、利用者アンケート等を実施し、貴市と協議しながら検討していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	安全安心対策として高機能の防犯カメラを28台設置。 3Fの駐車スペースを平置きスペースにし大型車両が駐車できるように改善を図った。 施設の業務職員及び非常勤の嘱託職員に対し、外部講師を招いて接遇研修を行い、業務職員等を通してシルバー会員にも当センターで作成した接遇マニュアルに基づく指導を継続して行い、接遇面での質の向上を図っている。 定期券の販売について、市内の高校の新入生を対象としたPRのチラシを作成し配布したほか、年度末に民間情報誌やWebマガジン（#ちがすき）を活用した広報活動実施し、市内の新社会人などの利用者の確保に努めている。		

【施設番号 4-3】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：市民安全部安全対策課（内線：2351）		
		施設区分：非公募施設		
施設名	新栄町第三自転車駐車場			
指定管理者名	公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センター			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	自転車駐車場を確保することにより、市民の利便に資するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市新栄町12番12号 開設年月日：平成10年2月11日 開館時間：午前6時から午後10時まで 敷地面積：570.97㎡ 主な施設：自転車駐車場			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業計画書 事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	基本協定書 事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	月次報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規程 特定個人情報保護規程
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	基本協定書 情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	事業報告書 月次報告書
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	基本協定書 事業報告書 月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	基本協定書 緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	財務諸表 事業報告書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	基本協定書 事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	事業報告書 月次報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業計画書 事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	基本協定書 事業報告書 月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 月次報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	—	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	D	事業報告書 月次報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	D	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	C	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、新しい生活様式やテレワークの浸透により利用者数の減少、収入の減少が顕著である。利用料金制により運営している施設であり、経費節減等努力はしているものの、収支については大きなマイナスとなっている。協定書で定める仕様書に沿って適正に業務が行われている。施設の軽微な修繕等については職員が行うなど、施設の維持管理に努めている点が評価できる。また、月次報告書や月例モニタリングでの報告、電話連絡等によって市との情報共有を行うことで事故や苦情等に迅速に対応することができている。現場職員の接遇に関する要望等については、概ね高評価を受けている中でごく一部の低評価が課題であると考えられる。		
	評価の中で特筆すべき事項	職員が常に場内を巡回して利用者を空きスペースへ迅速に案内したり、施設の清掃や軽微な修繕などに常時対応している点などが評価できる。また、利用者アンケートでは、有人管理のため、職員があいさつしてくれることもあり、防犯対策に役立っているとの意見もあり、評価できる。 また、事件や事故、苦情等の問題が発生した際には早急に市へ連絡が入り、対応等の相談や報告をしていることも評価できる点である。		
	指定管理者に次年度期待すること	新型コロナウイルスの影響により、利用者数及び収入の減少しており、経営悪化に繋がっていると思われる。そのため、団体自体の財務状況の改善が必要であると考え。この状況を打破すべく、利用者数の増加を見込める新たな取組や収支状況の見直し等を実施し、財務状況が適正なものとなるよう期待したい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	利用者は、通勤・通学者であり、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少が今後も一定程度続くと見込まれるため、引き続き、安全面に十分な配慮をしながら人員体制の見直し等を実施する。市内高校に入学する新入生へのPRのほか、民間情報誌やウェブサイトにも広告を掲載するなどして新たな利用者の獲得に努める。また、接遇研修を継続的に実施し、職員の接遇能力を向上させ、対面方式である利点を生かしながら、きめ細やかな対応を心がけリピーターの獲得に努め収入の確保を行う。 新たな社会システムについては、利用者アンケート等を実施し、貴市と協議しながら検討していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	日常点検の中で利用者にご安心してご利用いただけるよう努めた。 施設の業務職員及び非常勤の嘱託職員に対し、外部講師を招いて接遇研修を行い、業務職員等を通してシルバー会員にも当センターで作成した接遇マニュアルに基づく指導を継続して行い、接遇面での質の向上を図っている。 定期券の販売について、市内の高校の新入生を対象としたPRのチラシを作成し配布したほか、年度末に民間情報誌やWebマガジン（＃ちがすぎ）を活用した広報活動実施し、市内の新社会人などの利用者の確保に努めている。		

【施設番号 4-4】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：市民安全部安全対策課（内線：2351）		
		施設区分：非公募施設		
施設名	ツインウェイ北自転車駐車場			
指定管理者名	公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センター			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	自転車駐車場を確保することにより、市民の利便に資するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市新栄町3番34号 開設年月日：平成7年5月20日（原付）、平成8年4月1日（自転車） 開館時間：午前6時から午後10時まで 敷地面積：2,372.78㎡ 延床面積：853.75㎡ 主な施設：自転車駐車場			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業計画書 事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	基本協定書 事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	月次報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規程 特定個人情報保護規程
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	基本協定書 情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	事業報告書 月次報告書
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	基本協定書 事業報告書 月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	基本協定書 緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	財務諸表 事業報告書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	基本協定書 事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	事業報告書 月次報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
	言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B		

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業計画書 事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	基本協定書 事業報告書 月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 月次報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	—	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	D	事業報告書 月次報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	D	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	C	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、新しい生活様式やテレワークの浸透により利用者数の減少、収入の減少が顕著である。利用料金制により運営している施設であり、経費節減等努力はしているものの、収支については大きなマイナスとなっている。協定書で定める仕様書に沿って適正に業務が行われている。施設の軽微な修繕等については職員が行うなど、施設の維持管理に努めている点が評価できる。また、月次報告書や月例モニタリングでの報告、電話連絡等によって市との情報共有を行うことで事故や苦情等に迅速に対応することができている。現場職員の接遇に関する要望等については、概ね高評価を受けている中でごく一部の低評価が課題であると考えられる。		
	評価の中で特筆すべき事項	職員が常に場内を巡回して利用者を空きスペースへ迅速に案内したり、施設の清掃や軽微な修繕などに常時対応している点などが評価できる。また、利用者アンケートでは、有人管理のため、職員があいさつしてくれることもあり、防犯対策に役立っているとの意見もあり、評価できる。 また、事件や事故、苦情等の問題が発生した際には早急に市へ連絡が入り、対応等の相談や報告をしていることも評価できる点である。		
	指定管理者に来年度期待すること	新型コロナウイルスの影響により、利用者数及び収入の減少しており、経営悪化に繋がっていると思われる。そのため、団体自体の財務状況の改善が必要であると考え。この状況を打破すべく、利用者数の増加を見込める新たな取組や収支状況の見直し等を実施し、財務状況が適正なものとなるよう期待したい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	利用者は、通勤・通学者であり、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少が今後も一定程度続くと見込まれるため、引き続き、安全面に十分な配慮をしながら人員体制の見直し等を実施する。市内高校に入学する新入生へのPRのほか、民間情報誌やウェブサイトにも広告を掲載するなどして新たな利用者の獲得に努める。また、接遇研修を継続的に実施し、職員の接遇能力を向上させ、対面方式である利点を生かしながら、きめ細やかな対応を心がけリピーターの獲得に努め収入の確保を行う。 新たな社会システムについては、利用者アンケート等を実施し、貴市と協議しながら検討していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	安全安心対策として高機能の防犯カメラを14台設置済み。 施設の業務職員及び非常勤の嘱託職員に対し、外部講師を招いて接遇研修を行い、業務職員等を通してシルバー会員にも当センターで作成した接遇マニュアルに基づく指導を継続して行い、接遇面での質の向上を図っている。 年度末に民間情報誌やWebマガジン（#ちがすき）を活用した広報活動実施し、市内の新社会人などの利用者の確保に努めている。		

【施設番号 4-5】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：市民安全部安全対策課（内線：2351）		
		施設区分：非公募施設		
施設名	ツインウェイブ南自転車駐車場			
指定管理者名	公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センター			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	自転車駐車場を確保することにより、市民の利便に資するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市共恵一丁目9番15号 開設年月日：平成8年4月1日 開館時間：午前7時から午後10時まで 敷地面積：1,464.18㎡ 延床面積：429.73㎡ 主な施設：自転車駐車場			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業計画書 事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	基本協定書 事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	月次報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規程 特定個人情報保護規程
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	基本協定書 情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	事業報告書 月次報告書
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	基本協定書 事業報告書 月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	基本協定書 緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	財務諸表 事業報告書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	基本協定書 事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	事業報告書 月次報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
	言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B		

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業計画書 事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	基本協定書 事業報告書 月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 月次報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	—	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	D	事業報告書 月次報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	D	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	C	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、新しい生活様式やテレワークの浸透により利用者数の減少、収入の減少が顕著である。利用料金制により運営している施設であり、経費節減等努力はしているものの、収支については大きなマイナスとなっている。協定書で定める仕様書に沿って適正に業務が行われている。施設の軽微な修繕等については職員が行うなど、施設の維持管理に努めている点が評価できる。また、月次報告書や月例モニタリングでの報告、電話連絡等によって市との情報共有を行うことで事故や苦情等に迅速に対応することができている。現場職員の接遇に関する要望等については、概ね高評価を受けている中でごく一部の低評価が課題であると考えられる。		
	評価の中で特筆すべき事項	職員が常に場内を巡回して利用者を空きスペースへ迅速に案内したり、施設の清掃や軽微な修繕などに常時対応している点などが評価できる。また、利用者アンケートでは、有人管理のため、職員があいさつしてくれることもあり、防犯対策に役立っているとの意見もあり、評価できる。 また、事件や事故、苦情等の問題が発生した際には早急に市へ連絡が入り、対応等の相談や報告をしていることも評価できる点である。		
	指定管理者に次年度期待すること	新型コロナウイルスの影響により、利用者数及び収入の減少しており、経営悪化に繋がっていると思われる。そのため、団体自体の財務状況の改善が必要であると考え。この状況を打破すべく、利用者数の増加を見込める新たな取組や収支状況の見直し等を実施し、財務状況が適正なものとなるよう期待したい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	利用者は、通勤・通学者であり、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少が今後も一定程度続くと見込まれるため、引き続き、安全面に十分な配慮をしながら人管理体制の見直し等を実施する。市内高校に入学する新入生へのPRのほか、民間情報誌やウェブサイトにも広告を掲載するなどして新たな利用者の獲得に努める。また、接遇研修を継続的に実施し、職員の接遇能力を向上させ、対面方式である利点を生かしながら、きめ細やかな対応を心がけリピーターの獲得に努め収入の確保を行う。 新たな社会システムについては、利用者アンケート等を実施し、貴市と協議しながら検討していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	防犯カメラ3台設置済み。 施設の業務職員及び非常勤の嘱託職員に対し、外部講師を招いて接遇研修を行い、業務職員等を通してシルバー会員にも当センターで作成した接遇マニュアルに基づく指導を継続して行い、接遇面での質の向上を図っている。 定期券の販売について、市内の高校の新入生を対象としたPRのチラシを作成し配布したほか、年度末に民間情報誌やWebマガジン（＃ちがすぎ）を活用した広報活動実施し、市内の新社会人などの利用者の確保に努めている。		

【施設番号 4-6】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：市民安全部安全対策課（内線：2351）		
		施設区分： 非公募施設		
施設名	幸町自転車駐車場			
指定管理者名	公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センター			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	自転車駐車場を確保することにより、市民の利便に資するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市幸町21番7号 開設年月日：昭和60年4月11日 開館時間：午前6時から午後10時まで 敷地面積：843.83㎡ 延床面積：2,158.72㎡ 主な施設：自転車駐車場			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業計画書 事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	基本協定書 事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	月次報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規程 特定個人情報保護規程
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	基本協定書 情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	事業報告書 月次報告書
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	基本協定書 事業報告書 月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	基本協定書 緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	財務諸表 事業報告書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	基本協定書 事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	事業報告書 月次報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
	言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B		

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業計画書 事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	基本協定書 事業報告書 月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 月次報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	—	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	D	事業報告書 月次報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	D	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	C	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、新しい生活様式やテレワークの浸透により利用者数の減少、収入の減少が顕著である。利用料金制により運営している施設であり、経費節減等努力はしているものの、収支については大きなマイナスとなっている。協定書で定める仕様書に沿って適正に業務が行われている。施設の軽微な修繕等については職員が行うなど、施設の維持管理に努めている点が評価できる。また、月次報告書や月例モニタリングでの報告、電話連絡等によって市との情報共有を行うことで事故や苦情等に迅速に対応することができている。現場職員の接遇に関する要望等については、概ね高評価を受けている中でごく一部の低評価が課題であると考えられる。		
	評価の中で特筆すべき事項	職員が常に場内を巡回して利用者を空きスペースへ迅速に案内したり、施設の清掃や軽微な修繕などに常時対応している点などが評価できる。また、利用者アンケートでは、有人管理のため、職員があいさつしてくれることもあり、防犯対策に役立っているとの意見もあり、評価できる。 また、事件や事故、苦情等の問題が発生した際には早急に市へ連絡が入り、対応等の相談や報告をしていることも評価できる点である。		
	指定管理者に次年度期待すること	新型コロナウイルスの影響により、利用者数及び収入の減少しており、経営悪化に繋がっていると思われる。そのため、団体自体の財務状況の改善が必要であると考え。この状況を打破すべく、利用者数の増加を見込める新たな取組や収支状況の見直し等を実施し、財務状況が適正なものとなるよう期待したい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	利用者は、通勤・通学者であり、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少が今後も一定程度続くと見込まれるため、引き続き、安全面に十分な配慮をしながら人管理体制の見直し等を実施する。市内高校に入学する新入生へのPRのほか、民間情報誌やウェブサイトにも広告を掲載するなどして新たな利用者の獲得に努める。また、接遇研修を継続的に実施し、職員の接遇能力を向上させ、対面方式である利点を生かしながら、きめ細やかな対応を心がけリピーターの獲得に努め収入の確保を行う。 新たな社会システムについては、利用者アンケート等を実施し、貴市と協議しながら検討していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	安全安心対策として高機能の防犯カメラを28台設置済。 施設の業務職員及び非常勤の嘱託職員に対し、外部講師を招いて接遇研修を行い、業務職員等を通してシルバー会員にも当センターで作成した接遇マニュアルに基づく指導を継続して行い、接遇面での質の向上を図っている。 定期券の販売について、市内の高校の新入生を対象としたPRのチラシを作成し配布したほか、年度末に民間情報誌やWebマガジン（＃ちがすぎ）を活用した広報活動実施し、市内の新社会人などの利用者の確保に努めている。		

【施設番号 4-7】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：市民安全部安全対策課（内線：2351）		
		施設区分： 非公募施設		
施設名	共恵自転車駐車場			
指定管理者名	公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センター			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	自転車駐車場を確保することにより、市民の利便に資するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市共恵一丁目2番13号 開設年月日：平成18年7月1日（当初）、平成27年8月1日（増設） 開館時間：午前6時から午後10時まで 敷地面積：91.42㎡（当初）、147.46㎡（増設） 主な施設：自転車駐車場			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業計画書 事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	基本協定書 事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	月次報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規程 特定個人情報保護規程
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	基本協定書 情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	事業報告書 月次報告書
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	基本協定書 事業報告書 月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	基本協定書 緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	財務諸表 事業報告書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	基本協定書 事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	事業報告書 月次報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業計画書 事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	基本協定書 事業報告書 月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 月次報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	—	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	D	事業報告書 月次報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	D	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	C	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、新しい生活様式やテレワークの浸透により利用者数の減少、収入の減少が顕著である。利用料金制により運営している施設であり、経費節減等努力はしているものの、収支については大きなマイナスとなっている。協定書で定める仕様書に沿って適正に業務が行われている。施設の軽微な修繕等については職員が行うなど、施設の維持管理に努めている点が評価できる。また、月次報告書や月例モニタリングでの報告、電話連絡等によって市との情報共有を行うことで事故や苦情等に迅速に対応することができている。現場職員の接遇に関する要望等については、概ね高評価を受けている中でごく一部の低評価が課題であると考えられる。		
	評価の中で特筆すべき事項	職員が常に場内を巡回して利用者を空きスペースへ迅速に案内したり、施設の清掃や軽微な修繕などに常時対応している点などが評価できる。また、利用者アンケートでは、有人管理のため、職員があいさつしてくれることもあり、防犯対策に役立っているとの意見もあり、評価できる。 また、事件や事故、苦情等の問題が発生した際には早急に市へ連絡が入り、対応等の相談や報告をしていることも評価できる点である。		
	指定管理者に次年度期待すること	新型コロナウイルスの影響により、利用者数及び収入の減少しており、経営悪化に繋がっていると思われる。そのため、団体自体の財務状況の改善が必要であると考え。この状況を打破すべく、利用者数の増加を見込める新たな取組や収支状況の見直し等を実施し、財務状況が適正なものとなるよう期待したい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	利用者は、通勤・通学者であり、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少が今後も一定程度続くと見込まれるため、引き続き、安全面に十分な配慮をしながら人員体制の見直し等を実施する。市内高校に入学する新入生へのPRのほか、民間情報誌やウェブサイトにも広告を掲載するなどして新たな利用者の獲得に努める。また、接遇研修を継続的に実施し、職員の接遇能力を向上させ、対面方式である利点を生かしながら、きめ細やかな対応を心がけリピーターの獲得に努め収入の確保を行う。 新たな社会システムについては、利用者アンケート等を実施し、貴市と協議しながら検討していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	継続的に施設の業務職員及び非常勤の嘱託職員に対し、外部講師を招いて接遇研修を行い、業務職員等を通してシルバー会員にも当センターで作成した接遇マニュアルに基づく指導を継続して行い、接遇面での質の向上を図っている。 定期券の販売について、市内の高校の新入生を対象としたPRのチラシを作成し配布したほか、年度末に民間情報誌やWebマガジン（＃ちがすき）を活用した広報活動実施し、市内の新社会人などの利用者の確保に努めている。		

【施設番号 4-8】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：市民安全部安全対策課（内線：2351）		
		施設区分：非公募施設		
施設名	本宿町自転車駐車場			
指定管理者名	公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センター			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	自転車駐車場を確保することにより、市民の利便に資するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市本宿町11番59号 開設年月日：平成9年10月1日 開館時間：午前6時から午後10時まで 敷地面積：1,315㎡ 延床面積：2,297.40㎡ 主な施設：自転車駐車場			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業計画書 事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	基本協定書 事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	月次報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規程 特定個人情報保護規程
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	基本協定書 情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	事業報告書 月次報告書
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	基本協定書 事業報告書 月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	基本協定書 緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	財務諸表 事業報告書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	基本協定書 事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	事業報告書 月次報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
	言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B		

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業計画書 事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	基本協定書 事業報告書 月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 月次報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	—	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	D	事業報告書 月次報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	D	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	C	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、新しい生活様式やテレワークの浸透により利用者数の減少、収入の減少が顕著である。利用料金制により運営している施設であり、経費節減等努力はしているものの、収支については大きなマイナスとなっている。協定書で定める仕様書に沿って適正に業務が行われている。施設の軽微な修繕等については職員が行うなど、施設の維持管理に努めている点が評価できる。また、月次報告書や月例モニタリングでの報告、電話連絡等によって市との情報共有を行うことで事故や苦情等に迅速に対応することができている。現場職員の接遇に関する要望等については、概ね高評価を受けている中でごく一部の低評価が課題であると考えられる。		
	評価の中で特筆すべき事項	職員が常に場内を巡回して利用者を空きスペースへ迅速に案内したり、施設の清掃や軽微な修繕などに常時対応している点などが評価できる。また、利用者アンケートでは、有人管理のため、職員があいさつしてくれることもあり、防犯対策に役立っているとの意見もあり、評価できる。 また、事件や事故、苦情等の問題が発生した際には早急に市へ連絡が入り、対応等の相談や報告をしていることも評価できる点である。		
	指定管理者に次年度期待すること	新型コロナウイルスの影響により、利用者数及び収入の減少しており、経営悪化に繋がっていると思われる。そのため、団体自体の財務状況の改善が必要であると考え。この状況を打破すべく、利用者数の増加を見込める新たな取組や収支状況の見直し等を実施し、財務状況が適正なものとなるよう期待したい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	利用者は、通勤・通学者であり、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少が今後も一定程度続くと見込まれるため、引き続き、安全面に十分な配慮をしながら人員体制の見直し等を実施する。市内高校に入学する新入生へのPRのほか、民間情報誌やウェブサイトにも広告を掲載するなどして新たな利用者の獲得に努める。また、接遇研修を継続的に実施し、職員の接遇能力を向上させ、対面方式である利点を生かしながら、きめ細やかな対応を心がけリピーターの獲得に努め収入の確保を行う。 新たな社会システムについては、利用者アンケート等を実施し、貴市と協議しながら検討していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	安全安心対策として高機能の防犯カメラを28台設置。 継続的に施設の業務職員及び非常勤の嘱託職員に対し、外部講師を招いて接遇研修を行い、業務職員等を通してシルバー会員にも当センターで作成した接遇マニュアルに基づく指導を継続して行い、接遇面での質の向上を図った。 定期券の販売について、市内の高校の新入生を対象としたPRのチラシを作成し配布したほか、年度末に民間情報誌やWebマガジン（＃ちがすぎ）を活用した広報活動実施し、市内の新社会人などの利用者の確保に努めている。		

【施設番号 4-9】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：市民安全部安全対策課（内線：2351）		
		施設区分： 非公募施設		
施設名	幸町第二自転車駐車場			
指定管理者名	公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センター			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	自転車駐車場を確保することにより、市民の利便に資するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市幸町3番24号 開設年月日：平成27年12月1日 開館時間：午前6時から午後10時まで 敷地面積：102.24㎡ 主な施設：自転車駐車場			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業計画書 事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	基本協定書 事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	月次報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規程 特定個人情報保護規程
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	基本協定書 情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	事業報告書 月次報告書
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	基本協定書 事業報告書 月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	基本協定書 緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	財務諸表 事業報告書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	基本協定書 事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	事業報告書 月次報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業計画書 事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	基本協定書 事業報告書 月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 月次報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	—	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	D	事業報告書 月次報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	D	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	C	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、新しい生活様式やテレワークの浸透により利用者数の減少、収入の減少が顕著である。利用料金制により運営している施設であり、経費節減等努力はしているものの、収支については大きなマイナスとなっている。協定書で定める仕様書に沿って適正に業務が行われている。施設の軽微な修繕等については職員が行うなど、施設の維持管理に努めている点が評価できる。また、月次報告書や月例モニタリングでの報告、電話連絡等によって市との情報共有を行うことで事故や苦情等に迅速に対応することができている。現場職員の接遇に関する要望等については、概ね高評価を受けている中でごく一部の低評価が課題であると考えられる。		
	評価の中で特筆すべき事項	職員が常に場内を巡回して利用者を空きスペースへ迅速に案内したり、施設の清掃や軽微な修繕などに常時対応している点などが評価できる。また、利用者アンケートでは、有人管理のため、職員があいさつしてくれることもあり、防犯対策に役立っているとの意見もあり、評価できる。 また、事件や事故、苦情等の問題が発生した際には早急に市へ連絡が入り、対応等の相談や報告をしていることも評価できる点である。		
	指定管理者に次年度期待すること	新型コロナウイルスの影響により、利用者数及び収入の減少しており、経営悪化に繋がっていると思われる。そのため、団体自体の財務状況の改善が必要であると考え。この状況を打破すべく、利用者数の増加を見込める新たな取組や収支状況の見直し等を実施し、財務状況が適正なものとなるよう期待したい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	利用者は、通勤・通学者であり、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少が今後も一定程度続くと見込まれるため、引き続き、安全面に十分な配慮をしながら人管理体制の見直し等を実施する。市内高校に入学する新入生へのPRのほか、民間情報誌やウェブサイトにも広告を掲載するなどして新たな利用者の獲得に努める。また、接遇研修を継続的に実施し、職員の接遇能力を向上させ、対面方式である利点を生かしながら、きめ細やかな対応を心がけリピーターの獲得に努め収入の確保を行う。 新たな社会システムについては、利用者アンケート等を実施し、貴市と協議しながら検討していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	安全安心対策として高機能の防犯カメラを2台設置済。 施設の業務職員及び非常勤の嘱託職員に対し、外部講師を招いて接遇研修を行うとともに、業務職員等を通してシルバー会員にも当センターで作成した接遇マニュアルに基づく指導を行い、接遇面での質の向上を図った。 年度末に民間情報誌を活用した広報活動実施し、市内の新社会人などの利用者の確保に努めている。		

【施設番号 5-1】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：市民安全部安全対策課（内線：2352）		
		施設区分： 非公募施設		
施設名	茅ヶ崎第2駐車場			
指定管理者名	タイムズ24株式会社連合体			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	市街地における自動車駐車場を確保することにより、道路交通の円滑化を図り、もって市民の利便に資するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号 開設年月日：平成28年1月1日 開館時間：8時から23時まで 敷地面積：2,432㎡ 主な施設：自動車駐車場			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業計画書 事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	基本協定書 事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書 月次報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	基本協定書 個人情報保護マニュアル
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	基本協定書 情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	事業報告書 月次報告書
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	基本協定書 事業報告書 月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	基本協定書 緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	財務諸表 事業報告書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	基本協定書 事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	事業報告書 月次報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業計画書 事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	基本協定書 事業報告書 月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 月次報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	—	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書 月次報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	D	
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	昨年度に引き続き慢性的な入庫待ちによる渋滞が見受けられた。市役所庁舎に併設していることから市役所専用の駐車場であると認識している利用者も多く、行政拠点地区駐車場の中では最も認知度が高い駐車場となっている。来庁者の増加が見込まれる繁忙期には駐車台数を増加させるなど臨機応変な対応ができていた。現場でのトラブル等の対応に關しても、警備員あるいはエンジニアスタッフが即座に対応し、市、指定管理者及び現場にて連携し、取り組むことができていた。		
	評価の中で特筆すべき事項	茅ヶ崎第1駐車場が令和3年3月31日で運営終了となり、令和3年度以降については茅ヶ崎第2駐車場を中心として行政拠点地区駐車場への利用者の流動が予測されたが、コロナウイルスの影響もあり大きな利用者の変動はなく、大きな混乱等も発生せず、通常通り指定管理業務を全うすることができていた。		
	指定管理者に来年度期待すること	茅ヶ崎第2駐車場は、市役所庁舎を利用する方が多く、稼働率は良いが慢性的に入庫待ちによる渋滞が発生している状況である。そのため、茅ヶ崎第2駐車場利用者に対して、比較的稼働率に余裕がある茅ヶ崎第3駐車場の利用を促すなどとして、入庫待ちが発生しなく、茅ヶ崎第2駐車場、茅ヶ崎第3駐車場及び茅ヶ崎第4駐車場利用者が均一化し、全体として稼働率の向上、ひいては財務状況の改善に繋がることを期待する。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	令和2年度で第1駐車場の営業が終了し、本駐車場での利用増加が予想されたため、従前からの課題であった入庫待ちによる渋滞には特に注意をするように指導を行なった。また、文化会館や庁舎別館でのワクチン接種が実施されたため、安全対策課様とも協議の上で、公用車区画を一般用に転用するなど、スムーズな運営を行うように配慮をした。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が断続的に発令されたため、事前に予想していたほどには第1駐車場からの流入は見られなかったように思われるが、今後も引き続き稼働状況については注視をしていきたい。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	コロナ禍で低迷している収入の拡大が課題であるが、隣接地でビジネスホテルが建設中であるため、ホテルオープン後の提携利用など閉庁時間帯の有効活用について提案を行ってきたい。		

【施設番号 5-2】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：市民安全部安全対策課（内線：2352）		
		施設区分：非公募施設		
施設名	茅ヶ崎第3駐車場			
指定管理者名	タイムズ24株式会社連合体			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	市街地における自動車駐車場を確保することにより、道路交通の円滑化を図り、もって市民の利便に資するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目9番63号 開設年月日：平成28年1月1日 開館時間：8時から23時 敷地面積：3,615㎡ 主な施設：自動車駐車場			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業計画書 事業報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	基本協定書 事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書 月次報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	基本協定書 個人情報保護マニュアル
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	基本協定書 情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	事業報告書 月次報告書
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	基本協定書 事業報告書 月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	基本協定書 緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	財務諸表 事業報告書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	基本協定書 事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	事業報告書 月次報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業計画書 事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	基本協定書 事業報告書 月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 月次報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	—	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	C	事業報告書 月次報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	D	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	茅ヶ崎第3駐車場については、令和3年10月7日に発生した地震の影響により併設する総合体育館が閉鎖したことにより、従来から総合体育館利用者が大半を占めていた影響から11月以降の利用者数及び売上が大きく減少した。総合体育館利用者の使用が多くなっているが、茅ヶ崎第2駐車場への入庫待ちによる渋滞が慢性化していることから茅ヶ崎第2駐車場利用者を茅ヶ崎第3駐車場へ誘導できるような周知及び現場での取組を実施する必要があると考える。連携面については、指定管理者及び市がこまめに連絡を取り、都度迅速に対応できていた。		
	評価の中で特筆すべき事項	総合体育館が通常通り開館していた際には、総合体育館でのイベント状況を把握した上での対応ができていた。現場でのトラブル等の対応に関しても、警備員あるいはエンジニアスタッフが即座に対応し、市、指定管理者及び現場にて連携し、取り組むことができていた。		
	指定管理者に来年度期待すること	総合体育館の閉鎖に伴って、大きく利用者数及び収入が減少したが、茅ヶ崎第2駐車場への入庫待ちによる渋滞緩和のため、茅ヶ崎第3駐車場へ呼び込むなどとして利用者数の増加に繋げてもらいたい。行政拠点地区駐車場は本来、茅ヶ崎市役所周辺公共施設利用者が一体的に利用できる駐車場として位置付けているため、その意味合いも含めて併設している施設利用者だけでなく、幅広い方に利用していただくことで、利用者数及び収入の改善に踏み切っていただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	第1駐車場の閉鎖に伴い収入額は大幅に増加したものの、まん延防止等重点措置の発令や施設の一部閉鎖に伴って年度後半は失速してしまった。閉鎖施設は令和4年7月には復旧予定であるため、需要の回復をうまく取り込めるよう努力したい。また、消火設備の修繕などで区画閉鎖対応などを行う必要があったが、工事業者とは安全対策課様を通じて緊密に協議をおこない、大きなトラブルもなく終えることができた。令和4年度は体育館の空調設備修繕が実施される予定であるため、令和3年度と同様に業者も交えた事前協議を充分におこない、利用者トラブルを発生させないよう注意したい。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	台数に余裕がある状況が多いため、他の駐車場が混雑している際には積極的に誘導する必要があると認識している。コロナ禍の感染状況を注視しながら、施策を検討していきたい。		

【施設番号 5-3】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：市民安全部安全対策課（内線：2352）		
		施設区分：非公募施設		
施設名	茅ヶ崎第4駐車場			
指定管理者名	タイムズ24株式会社連合体			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	市街地における自動車駐車場を確保することにより、道路交通の円滑化を図り、もって市民の利便に資するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目11番1号 開設年月日：平成28年1月1日（平成29年度から市民文化会館の耐震改修工事に伴い、平成30年10月1日に再オープン） 開館時間：8時から23時 敷地面積：1,341㎡ 主な施設：自動車駐車場			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業計画書 事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	基本協定書 事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書 月次報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	基本協定書 個人情報保護マニュアル
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	基本協定書 情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	事業報告書 月次報告書
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	基本協定書 事業報告書 月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	基本協定書 緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	財務諸表 事業報告書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	基本協定書 事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	事業報告書 月次報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
	言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B		

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業計画書 事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	基本協定書 事業報告書 月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 月次報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	—	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書 月次報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	D	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	茅ヶ崎第4駐車場については、併設する市民文化会館利用者の使用が多く、イベント等開催時には駐車可能台数が少ないことも相まって、満車になることが多かった。茅ヶ崎第1駐車場があったため、周辺状況が異なるが単純に令和2年度と比較した際には売上及び利用台数が大きく伸びている。		
	評価の中で特筆すべき事項	市民文化会館利用者の使用が多いため、市民文化会館でのイベント等の日程を把握した上での対応ができていた。現場でのトラブル等の対応に関しても、警備員あるいはエンジニアスタッフが即座に対応し、市、指定管理者及び現場にて連携し、取り組むことができていた。		
	指定管理者に来年度期待すること	茅ヶ崎第4駐車場については、利用者数が市民文化会館によるイベント開催に左右されている部分があるため、イベントを実施していない時に関しては、慢性的に入庫待ちによる渋滞が発生している茅ヶ崎第2駐車場利用者への効果的な誘導を行い、イベント実施時には、対照的に他の茅ヶ崎第2駐車場及び茅ヶ崎第4駐車場の稼働状況を考慮し、利用者を誘導するなどの対策を講じてほしい。この結果、稼働率が増加し、収支状況の改善につなげていただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	令和3年度からは文化会館の控え室を駐車場係員の常駐場所として提供していただいております。文化スポーツ振興財団とも緊密な協力を行うことができた。また、会館がワクチン接種の会場になったため、例年以上に混雑する状況ではあったが、関係者で協力して大きなトラブルの発生を防ぐことができた。施設の修繕なども予想されることから、財団とは引き続き緊密に協議を行っていききたい。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	完全に収束したかに考えられていたコロナ感染が再び拡大しており、令和4年度についても会館でのイベント需要は低調になる可能性があるため、引き続き稼働状況を注視していききたい。		

【施設番号 5-4】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
施設所管課：市民安全部安全対策課（内線：2352）				
施設区分： 非公募施設				
施設名	東海岸南自動車駐車場			
指定管理者名	公益社団法人茅ヶ崎市シルバー人材センター			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	市街地自動車駐車場を確保することにより、道路交通の円滑化を図り、もって市民の利便に資するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市東海岸南六丁目8955番1 開設年月日：平成11年7月1日 開館時間：午前7時から午後6時まで（7月及び8月）、午前8時30分から午後5時まで（7月及び8月以外） 敷地面積：1,895㎡ 主な施設：自動車駐車場			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業計画書 事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	基本協定書 事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	月次報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規程 特定個人情報保護規程
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	基本協定書 情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	事業報告書 月次報告書
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	基本協定書 事業報告書 月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	基本協定書 緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C	財務諸表 事業報告書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	基本協定書 事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	事業報告書 月次報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
	言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B		

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業計画書 事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	基本協定書 事業報告書 月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 月次報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	—	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	D	事業報告書 月次報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	D	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	C	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出の自粛等により利用者数の減少、収入の減少が顕著である。利用料金制により運営している施設であり、経費節減等努力はしているものの、収支については大きなマイナスとなっている。協定書で定める仕様書に沿って適正に業務が行われている。施設の軽微な修繕等については職員が行うなど、施設の維持管理に努めている点が評価できる。また、月次報告書や月例モニタリングでの報告、電話連絡等によって市との情報共有を行うことで事故や苦情等に迅速に対応することができている。現場職員の接遇に関する要望等については、概ね高評価を受けている中でごく一部の低評価が課題であると考えられる。		
	評価の中で特筆すべき事項	施設の清掃や軽微な修繕などに常時対応している点などが評価できる。また、有人管理のため、職員がいさづしてくれることもあり、防犯対策に役立っているとの話もあり、評価できる。 また、事件や事故、苦情等の問題が発生した際には早急に市へ連絡が入り、対応等の相談や報告をしていることも評価できる点である。		
	指定管理者に次年度期待すること	新型コロナウイルスの影響により、利用者数及び収入の減少しており、経営悪化に繋がっていると思われる。そのため、団体自体の財務状況の改善が必要であると考え。この状況を打破すべく、利用者数の増加を見込める新たな取組や収支状況の見直し等を実施し、財務状況が適正なものとなるよう期待したい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少が今後も一定程度続くと見込まれるため、安全面に十分な配慮をしながら人員体制の見直し等を実施し経費削減を図る。 対面方式によるサービス提供の利点を生かし、利用者気持ちよくご利用いただけるように、外部講師による研修を継続し、施設の職員の接遇面での質の向上を図ります。混雑情報の配信を踏まえ、リピーターの獲得を図る。 新たな社会システムの対応については、貴市と協議しながら検討していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	防犯カメラ2台、監視カメラ2台設置済み。また、防犯用のセンサーライトを2か所設置済み。 利便性が良く、利用料金も付近の駐車場に比べ安価なことから、令和元年度末に、開場時間の拡大と利用料金の変更を市へ提案し、貴市と協議を実施したが、駐車場機能の質や適正な利用料金の検討及び例規関係の整理が必要であることなどを踏まえて、指定管理期間中の料金の変更は認められなかったため、協議を終了している。 当センターのホームページに掲載するとともに、場内にお知らせの掲示を行い、混雑情報の配信システムや回数券販売の認知向上に努めている。 業務職員及び嘱託職員には、毎年外部講師を招いた接遇研修会を開催し、接遇の質の向上を図っている。		

【施設番号 6】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：文化生涯学習部文化生涯学習課（内線：1241） 施設区分：非公募施設		
施設名	茅ヶ崎市民文化会館			
指定管理者名	公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団			
指定期間	平成31年4月1日～令和5年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	市民の文化芸術の向上を図るとともに福祉の増進に寄与する			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目11番1号 開設年月日：昭和55年10月 開館時間：午前9時から午後10時 敷地面積：9,691.63㎡ 延床面積：10,667.36㎡ 主な施設：大ホール、小ホール、展示室、練習室、会議室、事務室、カフェ・レストラン			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	実地 事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護マニュアル
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開マニュアル ホームページ
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	実地 緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	財務諸表	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	実地 事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業計画書 事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 事業報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	A	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	広報紙等の媒体 ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 収支決算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	令和2年度に引き続きコロナ禍の利用制限と感染防止対策を徹底し、安心して来館できる環境を整えられた。自主事業については、コロナ禍において開催手法を工夫されたほか、中止せざるを得ない事業については柔軟な対応により代替事業を計画するなど、継続的に市民が文化芸術にふれる機会を提供いただいた。 また、来館者数が339,784人となり、コロナ前の令和元年度水準（340,504人）に回復させるという目標を概ね達成できた。		
	評価の中で特筆すべき事項	地域文化団体と市と連携した新規のイベント開催に向け、大変な調整をさせていただいたおかげで令和4年度は財団が主催、市は共催で開催する見込みが立った。また、子どもの居場所づくりの視点を加えて中・高校生の自習室として会議室を無料開放したほか、道の駅の建設予定地でのアーティストと地元小学生との共同制作プロジェクトの準備を進めるなど、教育や経済分野への寄与や、連携を図られた。 さらに、地域団体や企業が連携し文化会館の緑化の取組や避難訓練コンサートにおける協賛金の受入も実現するなど、文化芸術の領域を超えて新たな団体等との関係性を築くことができた。 環境配慮については、電力会社の切替を実施し電気料金の削減を行っただけでなく、調整後排出係数を0にするカーボンオフセットプランを選択するなどの取組の結果、当市のエコ管理賞を受賞された。 これらの取組に加え、緊急対応が必要な修繕などに積極的に取り組んでいただいたことや、日ごろの適切な施設管理により、利用者にとって快適にご利用いただけた。		
指定管理者に来年度期待すること	利用制限の緩和がされていることから、来館者数の増加のために積極的な取組をしていただきたい。また、施設管理業務を見直して施設管理経費を削減していただくとともに、公益性の高い事業展開をより一層強化していただきたい。 今後も、文化芸術の鑑賞や創造育成の事業はもちろん、社会的包摂の役割を意識された事業展開も期待したい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	令和2・3年度はコロナ禍の影響を受け、来館者が大幅に減少した。今後は社会経済活動が徐々に回復していくことが見込まれることから、引き続き感染防止対策を徹底しながら事業を実施し、コロナ禍以前の来館者数に戻すことを目指す。4年度から施設の直前の空き状況をHPや管内掲示板で毎週公開する等の積極的な貸館を含めた営業活動を行い、来館者増と文化芸術の振興を目的とし質の高い共催事業の誘致や自主事業の実施を更に取り組んでいる。 今後も、市から自立した組織として、柔軟かつ効率的な運営ができる公益財団である強みを活かし、市が目指すより良い地域の形成に寄与するため、従来の事業に加えて、4年度に計画している「ちがさきアートフェスティバル」の様に地域の団体と連携した市民参加型の事業や、学校や人が集まる場所等へのアウトリーチ事業の実施、さらには、子どもの居場所づくりの確保など教育や福祉等の様々な視点を取り入れた社会的包摂の役割の形成を意識した事業展開を積極的に行っていくことが必要である。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	職員の育成・研修については、産業医等による随時の研修のほかに、職員の非常時の対応力の向上と、館内の避難経路、誘導方法の検証を目的として、公演中の災害発生を想定し観覧者も参加する「避難訓練コンサート」を開催した。通常定期的に開催している消防避難訓練とは異なった施設設備や誘導方法の新たな課題が発見された。 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の中止・延期もあったが、新型コロナウイルス感染症対策を講じてワークショップ、市民参加事業、アウトリーチ事業等を行った。利用が減少した施設を活用し、中学生・高校生の自習室として会議室を無料開放した（7/22～8/31の33日間、251人）ほか、大小ホールではグランドピアノの演奏体験会を行った。 また、施設の直前の空き状況をホームページで公開し、利用率の向上、利用料金収入の増加を図った。（会館利用率は、2年度45.2%から3年度69.4%） 事業評価については、事務局の評価後に写真や映像を使って具体的な事業内容の説明を行い、理事会での評価、評議員会での報告を行った。 実施した利用者アンケート調査の結果で要望が多かったキャッシュレス支払い・ネットチケット販売等の調査研究を開始した。 収支計画の見直しについて、各部門への再配当予算と前年度の実績を明示し経費削減をするための意識啓発を行った。公共料金の自動引き落とし、ネットバンキング活用のための準備を開始した。		

【施設番号 7】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：文化生涯学習部文化生涯学習課（内線：1241） 施設区分： 非公募施設		
施設名	茅ヶ崎市美術館			
指定管理者名	公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	郷土の文化芸術を後世に伝えるとともに、市民の創作活動及び次世代を担う青少年の創造力の育成を図り、広く文化芸術の向上に寄与する			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市東海岸北一丁目4番45号 開設年月日：平成10年4月24日 開館時間：10時～17時 敷地面積：3,956.06㎡ 延床面積：1,499.67㎡ 主な施設：展示室1・2・3、アトリエ、エントランスホール、カフェ			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	実地 事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団個人情報保護規程
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団の管理する情報の公開に関する規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	茅ヶ崎市美術館における危機管理対応マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	財務諸表	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	実地 事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業計画書 事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 事業報告書 備品台帳
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	市広報紙 美術館ホームページ チラシ・ポスターなど
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地 事業報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	アンケート	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 収支決算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	令和3年度は万全の感染症対策を講じながら事業を実施した結果、観覧者・来館者とも元年度実績を3,000人前後上回った。展覧会事業においても関連催事においても、状況の変化に合わせて臨機応変に対応がなされていた。また、施設管理においては、空調や展示室の壁面など、美術品の保管や来館者の鑑賞に影響を与えるような不具合箇所について、積極的に修繕が実施された。総合的に見て適切に管理運営されていたと評価する。		
	評価の中で特筆すべき事項	緊急事態宣言発令期間中においては3DVRの活用によるオンライン展示、感染者数が減少した時期においては関連催事を開催するなど、社会環境に合わせながら適切に施設運営を実施していた。 1月には地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績があった公立施設として地域創造大賞（総務大臣賞）を受賞しており、全国的に見ても高いレベルで地域の文化芸術の振興に貢献していると評価する。		
	指定管理者に来年度期待すること	4年度は3年度の取組を踏まえ、また、変化した社会環境を前提として来館者等の増加を目指し、多くの方が文化芸術に触れられる事業展開を期待する。また、本市の文化芸術の発展や社会的包摂の観点から、幼児、児童・生徒や普段文化芸術に触れることが難しい方々を対象としたアウトリーチ事業について、今後の実施に向けた企画・計画を進めていただきたい。 そのほか、グッズ販売を含めた事業内容とそれに対する収支バランスの改善及び貸館の利用率向上のための効率的な運営方法や利用方法について、具体的な検討・提案等を期待する。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	引き続き万全な感染症対策を講じながら、本市の美術文化の発展に寄与すべく、健全かつ適正な管理運営を行う。 魅力的で有意義な展覧会の開催はもちろんのこと、施設の適切な展示・保存環境の維持のため、市の所管課と密に連絡調整を行いながら柔軟に対応していく。 令和4年度は観覧者や施設利用率の増加を図るため、広報活動に一層注力するとともに、西洋絵画の古典技法を紹介する展示から、美術と他分野の学びを結びつける展示、「新版画」のルーツとその魅力を紹介する展示、重鎮的な洋画家の新作展など、多くの方の興味を引くような魅力的で多様な内容を企画している。 また、他の文化施設や教育現場等との連携を強化し、地域に密着した事業展開を計画するとともに、教育プログラムも構想している。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	3年度は、緊急事態宣言等による来館者減少の傾向が見られたため、開催中の展覧会と美術館の建物をまるごとオンラインで楽しめる3DVRをホームページで公開するなどの取組を行った。結果的に来館者数には表れない形となり、受益者負担割合は目標値15.1%のところ決算では13.2%となったが、来館できなくても美術館に親しむことができる機会を広く提供した。 4年度は、会期中で一部展示替えを行う展覧会や過去に多く来館者が訪れた個展の作家を取り上げる展覧会を開催する。また、広報は幅広い年代層に届くよう、これまで周知効果がみられた市の広報媒体やタウン紙、SNS、ホームページのほか、WEB広告などのコンテンツと組み合わせる相乗効果を狙うなど、多種多様な媒体を活用する。 これらの取組により新規来館者の増加とリピーターの安定的な来館を図り、観覧者数は対3年度実績比で2パーセント増を目指す。あわせて適正な観覧料・参加料を設定し、受益者負担割合は指定管理期間終了時の目標値である15.8%へと繋げていく。		

【施設番号 8-1】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：総務部市民自治推進課（内線：2411・2412） 施設区分： 非公募施設		
施設名	茅ヶ崎地区コミュニティセンター			
指定管理者名	茅ヶ崎地区コミュニティセンター管理運営委員会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	地域住民の自主的活動の推進を図る			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市元町10番33号 開設年月日：平成14年1月5日 開館時間：午前9時から午後9時（7月から9月は午後9時30分まで） 敷地面積：771.89㎡ 延床面積：1,159.97㎡ 主な施設：会議室、調理室、多目的ホール、和室			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書 仕様書・契約書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	事業報告書 月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	A	緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳 実施報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	A	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	広報紙
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地 月次報告書 事業報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	A	実施 事業報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	A	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響はあったものの、施設等の管理運営に関する業務、地域住民の交流や自主的活動推進に関する業務について、市が求める水準を満たしている。また、定期的に役員会や事務局員会議を開催し、情報共有・意思統一・課題対策を図ることで、利用者の安全性・利便性・快適性の向上のための運営体制が整っている。</p> <p>施設の維持管理について、軽微な修繕は業者委託せずに事務局員や役員で対応するなど、経費縮減の取り組みが実践されている。一方、業者に委託するものについては、委託業者に任せきりにするのではなく、業者と連携しながらしっかりと状況を把握している。</p> <p>前年に施設開館20周年を迎え、6月に実施予定であった「20周年記念式典」はコロナ禍により実施できなかったものの、式典の代わりに事業として記念誌及び記念品を作成し、関係団体等へ配布している。</p> <p>広報活動については、施設の利用案内やサークル紹介などを掲載した広報紙「かや」を発行するなど、利用促進に向けた情報発信に努めている。</p>		
	評価の中で特筆すべき事項	<p>環境配慮については、照明のLED化の推進や消灯の徹底、空調設備の温度管理等、省エネ・節電に積極的に努めるなど非常に環境配慮に対する意識が高く、前年比15%以上の電力使用量の削減につながっている。</p> <p>コロナ禍での緊急対応について、複合施設の元町ケアセンターや市担当課とも連携しながら対応フローや連絡体制を調整するなど、利用者の安全確保に資する管理運営に努めている。防災訓練についても、火災や津波を想定し、非常階段を使用して車椅子の方を避難誘導するなど、元町ケアセンターと連携しながら様々な事態を想定して取り組んでいる。その中で、非常階段に手すりを追加で設置するなど、さらなる利用者の安全確保に努めている。</p> <p>また、2年ぶりの利用者懇談会の開催や、日々の業務の中で利用者からの意見聴取を積極的に行っており、様々な利用制限をした中で調理室の利用再開や、利用団体の希望する備品を整備するなど、利用者の気持ちに寄り添った施設の管理運営に努めている。</p>		
	指定管理者に来年度期待すること	<p>令和3年度より新たな指定管理期間となったため、さらなる施設の価値向上に繋がるよう地域一体となって管理運営を進めていただきたい。</p> <p>令和3年度はほとんどの事業が実施できなかったため、引き続き感染防止対策を徹底しながら、元町ケアセンターや茅ヶ崎地区まちぢから協議会と連携しながら、既存の企画事業だけでなく地域住民のニーズを幅広く把握し、ニーズに応じた新たな企画事業の立案や、昨年度末で閉店となってしまったカフェ「ぼんじゅー」の跡地活用についても検討をしていただきたい。併せて、広報活動についても、「かや」の発行に加え、HP等も活用しながら、積極的な情報発信の強化に努めていただきたい。</p> <p>環境配慮については、引き続き省資源化・省エネルギー化の取り組みを進めていただきたい。</p>		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	<p>企画事業については、新型コロナウイルスの影響により実施できない場合も考慮し、「コミセンまつり」に代わって利用者団体での「発表会」を企画立案し推進することで、利用者にとっての発表の場を提供していく。また、広報活動については、コミセン広報紙「かや」発行に加えて、まちぢから協議会と連携し、茅ヶ崎地区コミュニティセンターのホームページを立ち上げる検討を始める。さらに、今後に向けて、茅ヶ崎地区まちぢから協議会及び他団体との協力体制づくりを行い、管理及び事務の効率化を図っていく。</p>		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	<p>企画事業については、コロナ感染防止を最優先とした上で、人数削減又は分散化し実施可能な新たな事業を模索して行く。また、上記のとおり「コミセンまつり」の代替案として、利用者団体による「発表会」の企画検討を行うことで、利用者増に向けた取り組みを行っていく。さらに、本施設は開設から20年を経過しており、建物・設備の老朽化が進んでいるため、適切な維持管理を行い、必要な修繕については、市と協議しながら、効果的・効率的に実施するよう努めていく。</p>		

【施設番号 8-2】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：総務部市民自治推進課（内線：2411・2412） 施設区分：非公募施設		
施設名	南湖会館			
指定管理者名	南湖地区まちぢから協議会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	地域住民の自主的活動の推進を図る			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市南湖四丁目6番1号 開設年月日：平成14年4月2日 開館時間：午前9時から午後9時（7月から9月は午後9時30分まで） 敷地面積：194.76㎡ 延床面積：426.16㎡ 主な施設：会議室、ホール			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	A	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	A	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書 仕様書・契約書等
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳 月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	A	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	A	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	ホームページ 広報紙・チラシ等
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地 事業報告書 月次報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	実施（意見箱） 事業報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書 月次報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響はあったものの、施設等の管理運営に関する業務、地域住民の交流や自主的活動推進に関する業務について、市が求める水準を満たしている。 今年度より「南湖地区まちぢから協議会」が指定管理者となったため、地域全体で施設を運営していく体制を整備し、委託業者等への指定管理者名変更の手続きを早期に着手することで、事務の効率化を図っている。管理運営体制については、毎月定期的に管理運営委員会と事務局会議を開催し、利用者からの意見・要望やその他施設管理について検証し、利用者の利便性向上に努めている。その中で、感染防止対策を徹底しながら利用制限の緩和、特に施設内での飲食を可能とするなど、利用者の声を反映した施設の管理運営に努めたことにより、2区分の時間帯を通して利用する団体が増え、利用促進につながった。 また、施設の維持管理について、定期的な屋上点検や修繕による雨漏り対策や、様々な自主努力による経費縮減により自動ドアや換気扇の修繕を実施している。		
	評価の中で特筆すべき事項	採用年数や定年等による事務局員の大幅な入れ替えのタイミングとなったが、段階的に採用することで円滑な事務引継ぎができる体制づくりや、採用前に事前研修を行ったことで、令和3年度末までに3名の事務局員の交代を行っている。 また、コロナ禍により例年通りの企画事業は実施できなかったものの、「創立20周年記念式典」の実施や「20周年記念誌」の作成、「南湖サロンふれあい」の再開など、感染防止対策を講じながらの事業展開に努めている。さらに、情報発信の強化に努め、広報紙「なんご」の年2回発行だけでなく、まちぢから協議会HPのリニューアルに伴う施設情報の掲載の充実及び定期的な事業案内や情報更新により、サロンの参加者が増加するなど利用促進を図っている。 環境配慮については、照明のLED化の推進に加え、神奈川県が実施する「かながわ再エネアクション」に参加し、再生可能エネルギー率100%の電力を調達する取り組みを行い、省エネルギー化及び脱炭素社会の実現に寄与した管理運営に努めている。		
	指定管理者に来年度期待すること	コロナ禍において、感染対策の徹底を最優先としながらも、引き続き、地域の拠点として施設の価値向上に繋がるような管理運営を進めていただきたい。 また、今年度より「南湖地区まちぢから協議会」が指定管理者となったことにより、今まで以上に地域内の各団体が連携した管理運営につながった。来年度も引き続き、まちぢから協議会の構成団体を中心に地域一体となった新たな事業展開を期待したい。特に企画事業については、コロナ禍でも継続的な実施に努めている「南湖ふれあいサロン」、コロナ禍で実施できていない「南湖ふれあいまつり」や「子ども映画会」だけでなく、新たな世代（30～50代の中間層）向けの事業展開など、関係団体や利用団体を含め、地域の様々な視点から事業を企画・実施し、地域住民の自主的活動の推進に努めていただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	今年度より南湖地区まちぢから協議会が指定管理者となったことに伴い、より多くの団体、地域全体の連携で管理運営を進めてきたが、地域の婦人会の解散による女性委員の減少が懸念されるため、推薦枠により補充していきたい。コロナ禍においても20周年記念式典を規模を縮小して実施したように、従来の事業も感染防止対策を徹底し、形式を変更するなどして実施していきたい。また、現状課題はあるものの、新規の事業についても、企画も考えていきたい。 照明のLED化も部分的ではあるが進捗しており、現指定管理期間内には館内全てのLED化を目指したい。修繕については市との連絡を密に行い、確認をしながら緊急性の高いものから取り組んでいきたい。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	今年度より南湖地区まちぢから協議会が指定管理者になったことに伴い、組織図を作成して管理運営に関わる団体との共有認識や利用者への案内ができる体制を整えることができた。また、組織図を作成することで、改めて地域の連携を確認することができ、管理運営を地域で担う機運の情勢に繋がった。さらに、事業計画と予算の整合性については、事業計画の段階で積算を綿密に行うことにより、予算との整合性を高めることができた。このことにより、適切な予算配分によって、管理運営を行うことができています。		

【施設番号 8-3】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
施設所管課：総務部市民自治推進課（内線：2411・2412） 施設区分： 非公募施設				
施設名	高砂コミュニティセンター			
指定管理者名	茅ヶ崎南地区まちぢから協議会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	地域住民の自主的活動の推進を図る			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市中海岸一丁目2番42号 開設年月日：平成24年4月1日 開館時間：午前9時から午後9時（7月から9月は午後9時30分まで） 敷地面積：698.11㎡ 延床面積：1,355.41㎡ 主な施設：キッズスペース、フリースペース、会議室、調理室、和室			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	A	事業報告書 実施
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書 仕様書・契約書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定 諸規程
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	A	実地 事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳 事業報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	A	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ 広報紙
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地 月次報告書 事業報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	A	利用者アンケート結果報告書 実施 事業報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	A	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大による影響はあったものの、施設等の管理運営に関する業務、地域住民の交流や自主的活動推進に関する業務について市が求める水準を満たしている。今年度より「茅ヶ崎南地区まちから協議会」が指定管理者となったことで、地域全体で施設を運営していく体制を整備していただいた。コロナ禍による新しい生活様式が浸透する中でも、利用者のニーズを的確に捉え、フロア毎にコンセプトを設けることで、目的に応じて利用できる形態のレイアウトを整える等、地域の憩いの場を提供している。</p> <p>利用者が当該施設に足を運ぶ理由の一つとして、整備された環境が挙げられると分析する。こうした環境は役員はじめ、事務員各人がきめ細かな対応を積極的に取り組んだ結果である。また、こうした思いが利用者側にも伝わり、「自分のコミセン」としての意識が芽生えている。</p>		
	評価の中で特筆すべき事項	<p>花壇の整備や自主的な建物の修繕（ペンキ塗り等）を行う等、職員一人一人が積極的にコミセンの事を考えて行動しており、地域の拠点としての自負を持って活動している。特に花壇の整備については、茅ヶ崎南地区の景観やイメージアップ等、環境面への配慮以上の対応を実施している。こうした前向きな組織の風土づくりは、兼ねてより実施しているセルフチェックや役員との面談等、経営側の事務員に対してのサポート体制が充実しており、働きやすい環境を整備している結果である。また、災害等の緊急時には速やかに市に報告すると共に、対応策を講じている。具体的には、大雨の際には入口付近に浸水の恐れがあったため、土嚢やブルーシートを設置し、被害を最小限に留めることができた。また、雨水の排水機能に疑義が生じた箇所については、周辺環境への配慮も鑑みた結果、雨水枿を増設する等して対応した。こうした迅速な対応は常に施設の事を考えている指定管理者の目線によって、発見、解決できた事象である。</p> <p>加えて、周年事業にあたっては、当該施設だけでなく地域の歴史に着目した、記録・記憶に残る記念誌を作成した。記念誌作成にあたっては、市の関連部署や地元商店街等とも連携し、過去の写真や記録等の情報収集に努める等、地域を巻き込んだ積極的な活動を展開した。</p>		
	指定管理者に来年度期待すること	引き続き、人に寄り添った運営を継続していくと共に、10周年記念イベントを中心とした利用者懇談会や一般の利用者からの「フリースペースご利用カード」を活用した意見聴取で得た課題や要望等の反映に努めていただきたい。立地上、当該施設にはサークル活動・勉強・テレワーク等の様々な属性の利用者がおり、今後の社会情勢を鑑みても利用者の属性に変化はないと思われる。こうした各属性のニーズに合わせた一層の環境整備を期待する。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	利用者目線で、そして利用者とともに安心して使いやすい施設を維持し続けることを心懸けていく。コロナ対策については、「これだけの対応をしてくれるので高砂コミセンを利用する」、との意見が利用者からもあったため、制限解除と感染防止対策の両立を一層徹底していく。また、これらを実行するには、事務局員の臨機応変な自主的活動が支えであり、役員とのコミュニケーションをより密にした運営を図っていく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	利用者懇談会にフリースペース利用者の方も参加し、フリースペースの利用者側からの要望意見、部屋利用者側からの要望意見の交換が図られ、互いに相手への理解や配慮が高まる仕組みを構築した。さらに、年末に企画している10周年コミセン祭りを、利用者、地域、子どもたち織出の楽しい運営ができるよう検討していく。こうした取り組みを通して、新たな利用者数の増加に努めていく。		
		また、アフターコロナ・ウィズコロナに向けて、自主事業の企画を進め、コミセンからの情報発信を強化する。		

【施設番号 8-4】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
施設所管課：総務部市民自治推進課（内線：2411・2412） 施設区分：非公募施設				
施設名	海岸地区コミュニティセンター			
指定管理者名	海岸地区まちぢから協議会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	地域住民の自主的活動の推進を図る			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市東海岸北5丁目16番20号 開設年月日：昭和61年4月24日 開館時間：午前9時から午後9時（7月から9月は午後9時30分まで） 敷地面積：436.13㎡ 延床面積：300.00㎡ 主な施設：会議室、大ホール、小ホール、和室			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書 仕様書・契約書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	A	実地 事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳 事業報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	A	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	広報紙等
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地 月次報告書 事業報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	実施 事業報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	<p>新型コロナウイルス感染拡大による影響はあったものの、施設等の管理運営に関する業務、地域住民の交流や自主的活動推進に関する業務について市が求める水準を満たしている。</p> <p>管理運営体制については、役員及び事務局員による会議を毎月開催し、これまでの記録や今後の予定、利用者からの意見・要望への対応を協議し、課題解決に迅速に努めている。コロナ禍において、感染対策を講じながらも事業を展開する等、積上げた経験を積極的に生かしている。また、事務員の高い接遇力を活かし、日頃より利用者とのコミュニケーションを図り、利用者が気持ちよく施設を利用できるよう、地域との関係性のなかで相互に協力し合いながら施設づくりを行っている。</p> <p>施設の維持管理については、建物の定期的な点検による予防保全、必要に応じた小規模修繕の実施に加え、接触を避けるために全トイレを人感センサーに改修する等、社会情勢も加味した利用者のニーズに応えながら利便性向上に努めている。</p> <p>企画事業については、感染対策を講じながらも事業を展開する等、積上げた経験を積極的に生かしながら事業運営を行っている。また、今年度より指定管理者が「海岸地区まちちから協議会」に移行したことに伴い、参画する団体に対して周知を行うなど、積極的な連携に努めている。</p>		
	評価の中で特筆すべき事項	<p>地域に密着した施設であるからこそ、高い水準の接遇力を持つ事務員の対応の良さが際立っている。引き続き、新型コロナウイルス感染症がまん延するなかでも、ガイドラインの改定など、情勢に合わせた感染対策を講じた。また、こうした状況の中でも、本施設が掲げている『学習、集会、レクリエーションの場を提供し、自治意識の高揚を図り、心の豊かさやふれあいのある地域社会を形成する』を達成するために、「わくわくイベント」と冠付けた企画事業を年に4回も実施する等、コロナ禍でもできることを模索しながら実施できたことは、非常に評価できる点である。また、ソフト面だけに限らず、大ホールのカーテンクリーニング、1階女子トイレの改修や感染対策や省エネルギー化のため全トイレに人感センサー付きLEDを設置する等、経年劣化に伴う不具合に対しても限られた財源の中で、利用者の視線をもって多方面に渡る配慮を施している。さらに警報センサーの修繕や落書き・不審火等の事案から防犯カメラを設置する等、安全配慮の観点からも対策を講じている。</p> <p>加えて、「かながわ再エネ共同オークション」に参加し、再エネ率100%の電力を調達する取り組みを行い、省エネルギー化及び脱炭素社会に向けた動きを推進した。</p>		
指定管理者に来年度期待すること	<p>今年度より『海岸地区まちちから協議会』が指定管理者となったことにより、積極的な利用案内や参画団体に事業周知を行う等、メリットを生かした展開ができた。来年度も引き続き、まちちから協議会の仕組みを活かしつつ取り組みを展開していただきたい。</p> <p>また、受付窓口での対話などにより利用者ニーズの把握から利便性向上に繋げているため、引き続き、利用者一体となった地域の拠点づくりに努めていただきたい。</p>			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	<p>海岸コミセンの建設から36年が経過し設備の老朽化が進んでいる中、限られた予算の範囲内で経費削減に努めながら、利用者が快適に使用できる様に、定期点検や必要に応じ修繕を実施し適切な建物の維持管理を行う。</p> <p>また、コロナ対応として、コロナに感染しない感染させないことを最優先し、基本的な感染対策の徹底に加え、スタッフミーティングを通し現場の声を反映した、きめ細やかな対策を講じながら皆が安全安心に利用できる施設運営に努めていく。更に、海岸地区まちちから協議会を主体とした事業の協力体制づくり、掲示板やホームページを活用した情報発信など、新たな目標を設定し利用者の拡大に繋げていく。</p>		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	<p>今年度より海岸地区まちちから協議会が指定管理者になったことに伴い、組織図を作成した。管理運営に関わる人達への共有認識や利用者への案内をできる体制を整えることができた。また、組織図を作成することで、改めて地域の連携を確認することができ、管理運営を地域で担う機運の情勢に繋がった。利用者数向上に向けた取り組みとしては、上記評価の中で特筆すべき事項にも記載の「わくわくイベント」と冠付けた企画事業を年4回実施することにより、新規利用者増に繋げることができている。加えて、事業実施の際には、基本的な感染対策や行政の情報提供を参考にした時節に応じた感染防止策を講じている。このような取り組みを前提に、企画内容を検討する等、コロナ禍でも事業を展開できるよう、スタッフミーティング等において意見交換を行っている。</p>		

【施設番号 8-5】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：総務部市民自治推進課（内線：2411・2412） 施設区分： 非公営施設		
施設名	鶴嶺西コミュニティセンター			
指定管理者名	鶴嶺西地区まちぢから協議会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	地域住民の自主的活動の推進を図る			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市萩園2360番地1 開設年月日：平成23年4月1日 開館時間：午前9時から午後9時（7月から9月は午後9時30分まで） 敷地面積：1105.86㎡ 延床面積：1054.87㎡ 主な施設：会議室、調理室			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書 仕様書・契約書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌	
	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B		
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	実地 備品台帳 事業報告書
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	ホームページ 広報紙等	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地 月次報告書 事業報告書
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	A	実施 事業報告書		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	新型コロナウイルス感染症拡大のなかにおいても、施設等の管理運営に関する業務、地域住民の交流や自主的活動推進に関する業務について市が求める水準を満たしている。 実施体制について、令和3年度より新たに「鶴嶺西地区まちぢから協議会」が指定管理者として管理運営を担うなか、急遽の役員交代や委員の変更などもあったが、施設の管理運営は役員会やスタッフミーティングを中心に、組織の安定化及び持続可能な体制づくりをはかった。 事業実施について、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響に悩まされながらも、地元農家の協賛による「コミセンあさ市」や「ラジオ体操」「ツボ押し講座」、その他各地域団体等との共催事業を実施するとともに、地域包括支援センターと共催の「みどりカフェ」といった新たな企画事業にチャレンジした。 施設の特性上、1階のフリースペースやテラス、運動ができる多目的室、プレイルームがあり、若い世代の利用が多くあることから、コロナ感染者数や傾向を適切に分析しながら、施設の利用について都度ガイドラインの見直しを図り、入口に非接触型体温計を導入するなど必要な感染対策を講じた。			
	評価の中で特筆すべき事項	令和3年度は、引き続き新型コロナウイルスの影響は大きかったが、可能な限りの利用者サービスを提供し、できることは実施していく前向きな体制は評価すべき点である。 特に、「鶴嶺西地区まちぢから協議会」の認定コミュニティとしての活動で地域全体に対しアンケートを実施し、施設として問い合わせ対応や集約事務に加え、コミセンについての調査項目も設け、利用者ニーズの把握とコミュニティセンターの地域における活動拠点としての発信に努めている。 情報発信という点では、ホームページへコミセンだけの掲載と利用案内のタイムリーな更新、10周年記念事業とした調理室設備リニューアルに伴う紹介動画を配信するなど新たな試みも実施している。さらに、四季折々の館内装飾、事務局員の手作りによる折り紙展示などに加え、花壇の整備により施設に彩を加え、利用者が楽しい雰囲気をもって来館できるよう工夫した。 また、今後の利用拡大に向けて、茅ヶ崎中央病院とタイアップした健康相談会、萩園中学校の文科系部活とのコラボレーション企画、茅ヶ崎交響楽団による演奏会など、様々な機関や団体と面談をしながら、事業化に向けた取り組みを進めている。			
	指定管理者に次年度期待すること	来年度は、今年度同様の種が実を結ぶような新しい取り組みへの挑戦や一層の利用拡大に期待したい。 依然として新型コロナウイルスが猛威を振るうなかではあるが、基本的な感染対策を講じたなかで、中止ありきではなく何ができるのかを模索しながら、コミュニティセンターを地域活動の拠点とした交流の創出、多世代のふれあいの場となるような事業展開や積極的な情報発信に努めていただきたい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	令和3年度から「鶴嶺西地区まちぢから協議会」が指定管理者として管理を担っているが、従来、指定管理者として管理を担っていた「鶴嶺西コミュニティセンター管理運営委員会」の組織が形骸化し、その立ち位置が不明瞭となり、組織改編時の検討が不十分であったと反省点がある。管理運営上、資金管理等の専門性、独立性等の特性があり、まちぢからの「部会」とは若干違うところがあるが、ほぼ同じメンバーで構成される「管理運営委員会」が「まちぢから」と「コミセン」にあることなど、丁寧な組織改編の検討が必要であり、規約・規則・運営要領等の整備と併せ、整理することが喫緊のテーマと考えている。 このように組織の見直しを検討することで、地域の力がより発揮できるような体制を整え、利用者ニーズに応えられるより良い管理運営に繋げていきたい。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	茅ヶ崎市指定管理者選定等委員会から「コロナ禍においても、実施可能な自主事業も検討した方が良い。」との意見に対しては、令和4年度事業計画書の中で、守るべき事項、積極的に事業展開をする事項等を作成しており、特にそれらを一覧表示した「令和4年度会議・施設保守・自主事業予定表」で事業について整理している。中でも、令和4年度の新規事業として、中央病院とタイアップして行う「健康相談会」、萩園中学校の文科系等の部活の発表の場を提供する事業等を計画し、コロナが落ち着いたところで実施すべく関係団体等と交渉を継続している。			

【施設番号 8-6】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：総務部市民自治推進課（内線：2411・2412） 施設区分：非公募施設		
施設名	鶴嶺東コミュニティセンター			
指定管理者名	鶴嶺東地区まちぢから協議会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	地域住民の自主的活動の推進を図る			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市西久保180番地 開設年月日：平成16年4月1日 開館時間：午前9時から午後9時（7月から9月は午後9時30分まで） 敷地面積：1,164.40㎡ 延床面積：934.81㎡ 主な施設：大会議室、会議室、調理室、和室、多目的ホール			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書 仕様書・契約書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書 連絡ノート	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳 事業報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	A	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	ホームページ 広報紙等
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地 月次報告書 事業報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	実施 事業報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響はあったものの、施設等の管理運営に関する業務、地域住民の交流や自主的活動推進に関する業務について、市が求める水準を満たしている。</p> <p>様々な制限がある中で、利用しやすい環境づくりに向けて長期的な視点を持った施設の維持管理に努めている。経費削減に努めながら修繕費を捻出し、屋上塗装や非常口の雨漏り修繕、トイレのウォシュレット化、施設西側の劣化した木柵をスチール製に取り替えるなど、利用者に安心して利用してもらえるような改修を行った。</p> <p>今年度より「鶴嶺東地区まちぢから協議会」が指定管理者となり、前指定管理者の管理運営委員会と連携しながら施設の管理運営に努めている。その中で、情報発信の強化としてまちぢから協議会HPのコミセンのページへの事業開催案内ページの追加や、「コミセンだより」を積極的に活用することにより、利用促進に努めている。また、施設内にまちぢから協議会の各団体のメールボックスを設置することにより、各団体との連携強化や今まで以上に施設へ集う機会を創出した。</p>		
	評価の中で特筆すべき事項	<p>役員や事務局員を中心に、地域と協力しながら、生垣の刈込や植込みの剪定、草取りなどの美化活動による施設内の植栽の維持管理を通じた「花いっぱい運動」を継続的に実施し、利用者が憩いの場として快適に利用できるような努めている。</p> <p>事業については、「名画座」や「料理シジビ回覧」の継続実施や、「日曜午後のコンサート」や「楽しく体操」などを新たに企画立案・実施するなど、コロナ禍でも感染防止対策を徹底し、利用者ニーズに対応しながら徐々に事業を再開している。また、七夕飾りやクリスマスツリー、雛飾りなど、季節のイベントに合わせて施設内を装飾し、来館者を楽しませている。さらに、「万華鏡工作キット」や「七夕飾りの短冊」、「スノードームプレート工作セット」、「クリスマスオーナメント作り」など、コロナ禍で多くの人が集まるイベントが実施できない中でも、子ども達が楽しめる参加型のイベントを展開している点は特筆すべき事項である。</p>		
	指定管理者に来年度期待すること	<p>「鶴嶺東地区まちぢから協議会」が指定管理者となったことにより、今まで以上に地域内の各団体が連携した管理運営体制を構築しているが、引き続き、地域の活動拠点として施設の価値向上に繋がるような管理運営を進めていただきたい。</p> <p>また、令和5年度には開館20周年を迎えることから、式典や記念冊子作成、コミセンまつりを含む各種記念事業の実施に向けて、鶴嶺東地区まちぢから協議会を中心に地域一体となって、新たな発想でこれからの時代にあった事業実施に向けた展開を期待したい。</p> <p>さらに、コロナ禍でも工夫をしながら様々な事業実施や広報活動を行っていただいているため、引き続き、地域住民のニーズを把握しながら利用率向上に向けた事業や広報活動を行っていただき、継続的に取り組んでいる環境配慮についても、関係団体や近隣施設と連携しながら、省資源化・省エネルギー化の取り組みを進めていただきたい。</p>		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	<p>事業については、コロナ感染対策を考慮してやむなく中止した場合でも代替イベントの実施に努める。</p> <p>利用者が気持ち良く利用できる環境整備の一環として構内の植栽・生垣選定、草取り、草花の植え込みや手入れなど美化活動に努める。また、美化活動効率化のために、薬剤散布も併せて行うことで、事務局員の負担を減らしつつも、美観の維持に配慮した活動を行っていく。</p> <p>省資源・省エネルギー化の一環として、グリーンカーテンを設置する。</p> <p>利用しやすい施設環境の維持のための保守管理、修繕に努める。</p>		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	<p>令和5年度の開館20周年記念事業に向けて、鶴嶺東地区まちぢから協議会を中心に、地域の方々や諸団体の協力を得て将来につながる記念事業の準備を開始する。加えて、利用率向上のため、広報は広報紙発行回数を増やして年6回とし、まちぢから協議会HPで適時・適切な情報発信を行う。</p> <p>利用者ニーズをさらに把握するため書面によるアンケート調査を実施する。</p>		

【施設番号 8-7】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
施設所管課：総務部市民自治推進課（内線：2412・2413）				
施設区分：非公募施設				
施設名	コミュニティセンター湘南			
指定管理者名	湘南地区まちぢから協議会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	地域住民の自主的活動の推進を図る			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市中島1670 開設年月日：平成10年6月9日 開館時間：午前9時から午後9時（7月から9月は午後9時30分まで） 敷地面積：887.63㎡ 延床面積：835.48㎡ 主な施設：大会議室、会議室、調理室、和室			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	A	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書 仕様書・契約書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	A	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳 事業報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	A	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	ホームページ 広報紙等
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地 月次報告書 事業報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	A	連絡帳 実施 事業報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	A	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響はあったものの、施設等の管理運営に関する業務、地域住民の交流や自主的活動推進に関する業務について、市が求める水準を満たしている。また、適宜感染防止対策の徹底を図りながら、市内等の感染状況に応じて、ガイドラインの見直しや利用制限の緩和により、利用者の利便性向上に向けた施設管理に努めている。ハード面でも施設内トイレに人感センサーを取り付けることによって、感染防止の対策に加え、省エネルギーにも寄与する対策も行っている。</p> <p>又、部屋の有効利用を図る為、和室のリニューアル化（テーブル、椅子設置）がなされ、小人数の会議に利用できるよう改善され利用増加に繋がっている。</p> <p>管理運営の体制については、引き続き、役員と事務局員による会議等を毎月実施することで組織的な情報の共有化が図られている。さらに、今年度より指定管理者が『湘南地区まちぢから協議会』に移行したことに伴い、情報発信や事業等でも積極的に連携を図る等、更なる飛躍を目指した取り組みを行っている。</p>		
	評価の中で特筆すべき事項	<p>事業については、人数制限や感染防止対策を徹底しながら初の試みである「コミセン朝市」を地域農家と連携して実施する等、地域を巻き込んだ取り組みを行っている。また、「地域（中島地区）の歴史を学ぶ講座」では、湘南地区まちぢから協議会として実施している外出支援事業と連携することで、新たな組織体制を活かした活動を展開している。</p> <p>また、事務員一人一人が役割を持ち、自ら考え行動する仕組みが構築されており、積極的な事務・環境等改善に努めている。このような日々の積み重ねがコロナ禍であっても、利用者が着実に戻ってきている要因の一つであると考えられる。</p> <p>さらに、情報発信力の高さは目を見張るものがある。地域の情報はもちろんのこと、コロナの発生状況等市全体に関する情報も積極的に発信することで、地域に対する情報のワンストップ化を図っている。経年劣化による不具合が出ている中でも、適切な修繕等を実施し、アンケート等を用いた意見交換を行うことで、双方のコミュニケーションを充実させ、誰もが利用しやすい施設の運営に努めている。</p> <p>広報紙に関しては、従来年4回発行している「瓦版（利用団体の紹介、トピックス）」と令和3年度より新たに「しょうなんコミセンだより（館内の案内、コミセン活動状況及び今後の予定等）」を年4回発行し、情報発信がなされている。</p>		
	指定管理者に来年度期待すること	先進的な取り組みをスピード感をもって取り組んでいただけており、他の施設も参考にできるケースがある。このような新たな取り組みは、引き続き実施し、他館に影響を与える存在であっていただきたい。また、社会情勢を鑑みながら、引き続き、地域の力を最大限に活用した、世代を超えて楽しめる様々な事業の実施や広報活動に加え、細かいところまで配慮した点検や修繕、備品の管理といった適切な維持管理を行い、利用者の安全確保と利便性向上に資する管理運営を期待したい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	<p>経費削減に向けた取り組みとして、過去2年連続で「エコ管理賞」を受賞しているが、更なる省エネ活動を図っていく（部屋の電気やエアコンの節約、燃やせるゴミの減量化等）。また、行政との連携（人件費、経費の削減）をし、現在、月曜日が祝日の場合、開館となっているが利用者が少ない為、今後の開館時間等について情報交換及び協議をしていきたい。</p> <p>事務員の業務標準化として、業務手順書の作成を行い、手順書を見れば、誰でも作業が出来るようにする。</p> <p>企画事業として、高齢化に伴う、健康、文化に関する事業を企画する。また、IT社会の到来によるスマホユーザーが多くなっており、高齢者向けのスマホ教室も継続的に実施する。</p>		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	<p>これまでの活動実績等について、写真等の具体的な取り組み内容がわかるよう資料の作り方に特色を出して欲しいとの点については、行政へ提出している施設の修繕・改善報告書について、改善前と改善後の写真を掲載し報告している。</p> <p>自主事業に多く取り組んでいる点は評価できるが、コロナ禍でも開催可能な事業も検討して欲しいとの点については、令和2年度からの新型コロナ感染者拡大による緊急事態宣言、まん延防止等重点措置等の発令により、令和3年度も企画事業は殆ど実施できなかったが、それでも、解除された期間で、人数制限、感染対策等工夫しながら実施した。特に、初試みとして6月に実施した「コミセン朝市」は、当日、小雨だったが盛況で、約100名の方が来場された。実施した企画事業としては、①「KEEP LEFT」プレート作り、②コミセン朝市、③大人の折り花教室、④料理講習会、⑤歌体操教室、⑥大人のパン作り教室、⑦地域（中島地区）の歴史を学ぶ講座が挙げられる。</p>		

【施設番号 8-8】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
施設所管課：総務部市民自治推進課（内線：2411・2412） 施設区分：非公募施設				
施設名	小和田地区コミュニティセンター			
指定管理者名	小和田地区コミュニティセンター管理運営委員会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	地域住民の自主的活動の推進を図る			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市小和田一丁目2番60号 開設年月日：昭和63年4月26日 開館時間：午前9時から午後9時（7月から9月は午後9時30分まで） 敷地面積：703.60㎡ 延床面積：597.69㎡ 主な施設：大広間、図書コーナー、会議室、調理室、エントランスホール			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書 仕様書・契約書等
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳 事業報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	A	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	広報紙
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地 月次報告書 事業報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	A	実施 事業報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	<p>新型コロナウイルスの影響はあったものの、施設等の管理運営に関する業務、地域住民の交流や自主的活動推進に関する業務について、市が求める水準を満たしている。</p> <p>基本的な感染対策に加え、利用者へも感染対策について協力を得ながら、今年度については非接触型の体温測定機や手指消毒オートディスペンサーの導入、高機能空気清浄機を設置し、利便性の向上と感染対策を強化している。</p> <p>事業実施については、「スマホ教室（基礎編、応用編）」を2回、第16回となる「包丁研ぎ講習会」を開催し、コロナ禍でも工夫しながら実施した。対面での利用者懇談会を行うとともに、日頃利用者とのコミュニケーションのなかで利用者から意見聴取しながら、可能な限り施設の運営に反映している。</p> <p>施設の維持管理について、老朽化した施設内の各部位を細かく点検し、躯体あるいは附属設備の修繕を必要に応じて実施しており、利用者が安全安心に利用できるよう努めている。</p>		
	評価の中で特筆すべき事項	<p>上述した企画事業に加え、地域が一体となって作り上げるコミセンまつりがコロナの影響で実施できなかったが、代替事業として、小和田の歴史を遺し次世代へ伝えていけるよう、コミセンだよりで昔の写真や資料の提供を広く募集し、施設内で展示や紹介を行う「写真展」を実施した。コロナ禍でも中止ありきではなく、どうすればできるかを前提に、コミセンを拠点とした文化や歴史を発信することで、地域への愛着の深化と施設の価値向上に繋がる取り組みとなっている。</p> <p>そうした事業面に関連し、事務局員が手作りで折り紙などを使った四季折々の館内装飾を施し、来館者を迎え入れるとともに、コミセン・図書コーナー・子どもの家銀河の詳細な利用方法や事業案内などを、年3回発行の広報紙で分かりやすく発信している。</p> <p>施設の維持管理では、きめ細やかな点検を行い、対応可能な箇所については業者に委託せず自前で修繕するなど、常にアンテナを張りながら大事に至る前に予防保全している。その他、大広間舞台上の雨漏り修繕、各部屋のドアクローザー交換、会議室鏡扉修繕、空調機器部品交換などを実施し、利用者が安全安心に利用できるよう常に気を配っている。さらに、環境配慮の部分では、駐輪場外灯のLED化に加え、神奈川県が実施する「かながわ再エネ共同オークション」に参加し、再生可能エネルギー率100%の電力を調達する取り組みを行い、省エネルギー化及び脱炭素社会の実現に寄与した管理運営に努めている。</p>		
指定管理者に来年度期待すること	<p>引き続き、基本的なコロナ感染対策を講じつつ、コミセンまつりをはじめとする魅力的な事業の企画・立案と、積極的な実施に期待したい。</p> <p>また、利用者の声に耳を傾け、利用者ニーズを捉えた管理運営を行っていただくとともに、実施した様々な取り組みについては、広報紙やホームページ等で広く情報発信し、一層の利用拡大と稼働率向上に努めていただきたい。</p>			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	<p>コミセンまつりの代替事業として「写真展」を実施したように、コロナの感染状況を見極めながら事業の実施方法等を検討していく。加えて、基本的なコロナ対策として、マスクの着用・手の消毒・検温・換気・館内の消毒等を徹底していくことで、引き続き、利用者が安心して利用できる環境を整備していきたい。</p>		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	<p>新規事業の「スマホ教室」で新規利用者増に繋がった。そうしたことをきっかけに、初めて当館を訪れた方が数名いらっしゃったので、今後も新規利用者増に向けた取り組みとして、スマホ教室等の事業実施を継続していきたい。また、子ども対象のズンパダンスや外出の機会が少なくなった高齢者対象に「椅子体操」の開催も検討している。</p> <p>また、地域の皆様に当館の活動を知ってもらうため、既存のコミセンだよりに加え、小和田地区まちから協議会のホームページや広報紙に開催事業の様子を掲載し、情報発信の強化を行っている。</p>		

【施設番号 8-9】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
施設所管課： 総務部市民自治推進課（内線：2411・2412） 施設区分： 非公募施設				
施設名	松浪コミュニティセンター			
指定管理者名	松浪地区まちぢから協議会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	地域住民の自主的活動の推進を図る			
施設の概要	所在地：常盤町2番2号 開設年月日：平成27年4月1日 開館時間：午前9時から午後9時（7月から9月は午後9時30分まで） 敷地面積：1,401.75㎡ 延床面積：1,329.36㎡ 主な施設：会議室、調理室、ホール、和室、音楽室、フリースペース、コミカフェ			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	A	事業報告書 勤務日数・時間一覧表
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書 仕様書・契約書等
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳 事業報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	A	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	ホームページ 広報紙等
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地 事業報告書 月次報告書 利用団体アンケート
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果報告書 実施 事業報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書 月次報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	A	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響はあったものの、施設等の管理運営に関する業務、地域住民の交流や自主的活動推進に関する業務について、市が求める水準を満たしている。施設のコロナ対策については、基本的な感染対策の徹底に加えて、入口に自動検温機を導入した。</p> <p>より良い管理運営に向けて、引継ぎノートによる事務局同士の情報共有を図り、翌日のスムーズな業務につなげている。また、利用者対応や施設運営の向上のため、利用報告書の裏面にアンケート欄を設けることにより、利用者ニーズの把握から利便性向上に努めている。さらに、併設施設の管理者と連携しながら安全・安心なサービス提供や利用者の利便性にも配慮し、緊急時の各自の役割を明確にしている。</p> <p>コミカフェについては、コロナの影響に伴い営業休止期間（8～9月、1～3月）があったものの、コロナ禍でも地域住民の交流の場としての機能を維持するため、感染防止対策を最優先としながら常に感染動向を注視し、利用者ニーズに対応しながら可能な範囲で営業を行っている。</p> <p>6～8月にかけては市保健所のワクチン接種に協力し、ワクチン接種会場として施設を提供していただくなど、「地域の拠点」という部分を最大限に活かし、地域住民のために施設の有効活用に努めた。</p>		
	評価の中で特筆すべき事項	<p>コロナ禍でコミセンまつりをはじめほとんどの企画事業が開催直前で中止となるなか、人数制限や感染防止対策を徹底しながら、月2回の朝市や小和公民館との共催事業として小学生を対象に『日本を学ぼう！ゆかた講座』を開催している。また、事務局員作成の「私浪コミセンだより」の定期的な発行や自治会回覧、ホームページを活用した積極的な情報発信により、コロナ禍でも利用促進が図られ、新規利用団体の申込や若い世代の利用増加につながっている。さらに、地域の小学校の社会見学・総合学習に協力してコミセンへの見学を受け入れることにより、今まで利用していなかった子ども達へのコミセンの周知及び利用促進に繋がっている。</p> <p>施設の維持管理や環境配慮については、コロナ禍で約2年間使用していなかった調理室の利用再開に向けて事務局員総出での大掃除や、植栽の剪定や美化活動（草取り・苗植え・土壌整備等）を業者委託だけでなく役員や事務局員を中心に行うなど、積極的な経費削減に努めている。特に、事務局員や地域団体が手作りで作成している四季折々の作品等を施設内に装飾・展示し、施設全体の雰囲気明るくなり来館者を楽しませている。</p>		
	指定管理者に来年度期待すること	<p>コロナ禍において、感染対策を徹底しながら、引き続き、施設の価値向上に繋がるような管理運営を進めていただきたい。また、令和3年度より新たな指定管理期間となったため、改めてこれからの時代にあった管理運営や事業計画の展開を期待したい。</p> <p>今年度実施できなかった企画事業については、感染対策を徹底しながら、事務局員をはじめ、関係団体が丸となって開催に向けて準備を進めていただき、引き続き地域住民のニーズの把握のため利用者アンケート等を実施しながら、コミセンまつりを含めたさらなる企画事業の計画・実施や、地域住民の自主的活動の推進に努めていただきたい。</p> <p>また、事務局員を中心にコロナ禍でも工夫をしながら情報発信を行っていただいているため、引き続き利用促進に向けて、動画等の媒体を活用しながらホームページのさらなる充実や広報紙の発行、企画事業の案内など、情報発信の強化に努めていただきたい。</p>		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	<p>今春まで中止していた卓球開放を再開するなど、コロナ禍で見合わせていた事業を再スタートさせており、今後も感染防止対策の徹底を図りながら、事業の再開・利用制限の緩和を進めていきたい。</p> <p>コミセンまつりについては、10月の開催に向けて、施設管理者や事務局員で構成された実行委員による会議を重ねている。利用者の活動発表を通じて、地域の活性化につながるイベントとなるよう、スタッフ丸となって取り組みたい。</p> <p>昨年度、近隣の小学校2校より小学生の社会科・総合学習の見学を受け入れたことで、施設を知ってもらうとうとにも、地域の子どもたちとの交流を図る機会となった。今後も積極的に地域からの見学を受け入れていきたい。</p> <p>ホームページには動画を交え内容の充実を図るとともに、コミセンだよりを地域に回覧するなど情報発信の強化に努め、さらなる利用率の向上につなげていきたい。</p>		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	<p>コミセン開館10周年の際には、周年記念コミセンまつりの開催や記念誌の発行等を予定している。既に記念誌発行に向けて、開館からのイベントや時事の記録を始めている。また、利用報告書に意見を記載できる欄を設けたり、日常においても利用者や交流する際に、ニーズを聞き取ることで、利用者数向上に向けた意見聴取に努めている。さらに、組織体制についても、組織図を作成することで、改めて地域の連携を確認することができ、管理運営を地域で担う機運の醸成に繋がっている。</p>		

【施設番号 8-10】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：総務部市民自治推進課（内線：2411・2412） 施設区分：非公募施設		
施設名	浜須賀会館			
指定管理者名	浜須賀会館管理運営委員会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	地域住民の自主的活動の推進を図る			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市松が丘二丁目8番63号 開設年月日：昭和59年5月2日 開館時間：午前9時から午後9時（7月から9月は午後9時30分まで） 敷地面積：1,321.50㎡ 延床面積：764.80㎡ 主な施設：会議室、集会室、調理室、図書館分室			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書 仕様書・契約書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳 事業報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	A	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	広報紙等
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地 月次報告書 事業報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	A	実地 事業報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	<p>新型コロナウイルス感染拡大による影響はあったものの、施設等の管理運営に関する業務、地域住民の交流や自主的活動推進に関する業務について市が求める水準を満たしている。施設のコロナ対策については、基本的な感染対策の徹底に加えて、今年度は入口に自動検温機及び手指消毒オートディスペンサーを導入した。</p> <p>管理運営について、役員会や運営委員会において情報の共有化及び全体の方針を協議し、事業面は事業部会を中心に、管理運営委員会構成員かつ利用団体でもある各地域団体とともに、意見交換を重ねながら取り組んでいる。また、年間を通じて窓口などにより収集した利用者からの意見・要望については、全体で協議しながら柔軟に対応している。その結果、実施したアンケート調査の回答では施設に対する評価が高いことから、地域との繋がりの深さや充実した利用者サービスを提供していることが分かる。</p> <p>事業実施では、当初の計画通りとはいかなかったが、「味噌づくり教室」「麻雀教室」、複合施設である老人憩の家では「シニアヨガ」や「シニアエアロビク教室」を実施し、感染対策を講じながらも集う場を提供することで、コロナ禍においても地域住民のいれあいの場や交流の機会を創出している。</p> <p>また、浜須賀地区まちのちから協議会と連携するなかで、同協議会が発行する広報紙へ本施設のトピックス掲載や同協議会が実施する事業「すこやか赤ちゃんサポート」の場の提供等を行っている。</p>		
	評価の中で特筆すべき事項	<p>令和3年度より新たな指定管理期間となり、同時に管理運営体制も変わりつつあるなか、施設を利用する地域住民への安全配慮及び事故防止対策に関して意識が高い。例えば、これまで実施していた館内の一部土足化について、これを完全に土足化とし、スリッパへの履き替え等がなくスムーズな移動を実現した。それに関連し、不要となった入口の下駄箱を全て撤去し、市と連絡調整を行いながら、広い空間の確保及びチラシの配架により充実した情報発信を行うとともに、入口段差解消のためスロープ化工事を行うにつきや転倒防止策を講じた。</p> <p>また、地域集会施設のなかで最も古い施設であることから、経年劣化した机や椅子等の備品を更新し、利用者が安全安心に利用できるよう設備・備品の充実を図っている。限られた指定管理料のなかで、自分たちでできる補修等は自前で行い、経費の削減を行いながら、余剰部分を利用サービスの向上あるいは施設の長寿命化のための修繕費等に充てている点は、特筆すべき事項である。</p>		
	指定管理者に来年度期待すること	<p>新型コロナウイルス感染症について、いまだ終息の兆しが見えない状況ではあるが、基本的な感染対策を行いながら、引き続き、利用者ニーズを捉えた管理運営やコロナ禍でも実施可能な事業展開に努めていただきたい。加えて、コロナをひとつの契機とし、新たな発想や視点を持ちながら、地域の拠点として施設の価値向上に繋がるような工夫や取り組みに期待したい。</p> <p>また、定期的な施設の点検や必要な修繕を行い、事故防止や安全確保のための対策を講じながら、利用者が安全安心に利用できるよう施設の維持管理に努めていただきたい。</p>		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	<p>昭和59年（1984年）4月、当会館は開設した。以来、各自治会、地域団体代表者からなる管理委員会によって運営されている。地域のニーズを把握し、年々かわる利用者の声を的確に把握して運営される地域からの代表者が運営に関わる地域集会施設である。令和3年度評価事項「安全配慮及び事故防止」は、高齢利用者が、玄関入口で履き物を替えるのは、危険であると館内土足化に踏み切った。令和4年度は、入りやすい入口の整備につなげ、玄関エントランス・ホールの一層の整備に繋げたい。</p> <p>ホールに各自治会・団体の配布物、資料を置く小さなロッカーを整備し、コミュニティ施設として工夫を施していく。</p> <p>昨今、自治会や関連団体の構成員、役員の担い手不足となり、コミュニティを中心とした再構築が必要となっており、そのためにも当会館が、その中心となって地域から利用される「場」になるよう努めていく。</p> <p>ハード面の点検はもとより、ソフト面においてもホームページの活用等の広報活動を通じて事業内容に工夫していく。築40年となり、設備面での点検に加え、不具合な面の早期発見と事故のないよう施設管理に努めていく。</p>		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	<p>未だ続くコロナ禍だが、利用者の安全・安心な利用を最優先に可能なことから取り組んでいく。利用者から積極的な声かけがあるような明るく分かりやすいコミュニティを目指して管理運営委員会、職員が一丸となって運営していく。また、浜須賀会館が、老人憩の家や図書分室を併設していることを地域の皆さんに知っていただくためにも事業計画や予算等に反映していく。</p>		

【施設番号 8-11】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
施設所管課：総務部市民自治推進課（内線：2411・2412） 施設区分：非公募施設				
施設名	小出地区コミュニティセンター			
指定管理者名	小出地区コミュニティセンター管理運営委員会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	地域住民の自主的活動の推進を図る			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市堤1948番地1 開設年月日：平成5年8月1日 開館時間：午前9時から午後9時（7月から9月は午後9時30分まで） 敷地面積：1654.34㎡ 延床面積：909.54㎡ 主な施設：会議室、調理室、エントランスホール、和室			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	A	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書 仕様書・契約書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳 事業報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	ホームページ 広報紙
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地 月次報告書 事業報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	A	実施 事業報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	新型コロナウイルス感染拡大の影響はあったものの、施設等の管理運営に関する業務、地域住民の交流や自主的活動の推進に関する業務について、市が求める水準を満たしている。 管理運営委員会に企画部会、広報部会、児童青少年部会、利用者部会、福祉部会、事務局を設け、それぞれ役割を担い活動している。企画事業については、年間を通じて多世代が楽しめる魅力的な事業を数多く開催しており、参加者も多い。広報では、リニューアルしたホームページや分かりやすく親しみのある広報紙により積極的に情報発信している。利用団体により構成された利用者部会が管理運営に携わっている点は特徴的であり、それら事務手続き等を集約する事務局が安定していることから、組織全体が運動し様々な活動が活発に行われている。 新型コロナウイルス感染対策では、感染状況や社会の動向を分析し、ガイドラインの策定及び施設の基本的な感染対策を行い、利用者の協力も得ながら、コロナ禍でも利用者が安全安心に利用できるよう努めている。		
	評価の中で特筆すべき事項	高齢化等に併いこれまで募集してもなかなか応募者がいなかった事務局員の3名の採用に至った。人員の入れ替わりも多くあったため、計画的なOJT研修の実施や役員会及び事務局員の懇談会を開催し、体制の安定化及び円滑な情報共有化を図っている。 企画事業は、開催回数が非常に多く、講師に地元で活躍している著名人を招くなど、一つ一つの事業がユニークで惹きつけられる。「子ども演劇」「おはなし会」「新成人のつどい」「1/2成人式」といった若年層向けのものから、「スマホ教室」「映画上映会（サロン）」「米のとぎ汁漬け教室」などの事業に加え、「木工教室」「リュートの世界へ」「クリスマスコンサート」「オンラインプラネタリウム」といったオンラインを活用した新規企画も立案し、子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しめるよう工夫している点は特筆すべき事項である。 コミセンに集う機会の創出と同時に、施設を安全安心に利用できるようエレベーターやトイレの修繕、館内案内板表示改善に加え、小規模な設備修理及び敷地内の草木の手入れ等は事務局員が自前で行い、適切なメンテナンスと施設の美化活動に取り組んでいる。 こうした施設の利用サービス向上については、アンケートの実施や常日頃事務局員が利用者とはコミュニケーションを図るなかでニーズを把握し改善に繋げたものであり、常に利用者の視点に立った管理運営を心掛けているからこそである。		
	指定管理者に来年度期待すること	令和3年度から、5年間の新たな指定管理期間が始まったこともあり、改めて協定書や仕様書等に則った適切な管理運営を行い、今後の長期的な展望や計画を踏まえ、利用者ニーズを捉えたさらなる利用拡大や新しい発想を持った管理運営に努めていただきたい。 特に、令和4年度は小出コミセンが30周年を迎えることから、コロナ禍のみならず、現在行っている様々な事業に加え「コミセンまつり」の開催の検討など、引き続き、魅力的な企画事業の実施をきっかけにさらに地域が一体となり、コミセンに人が集い、地域活動の拠点として施設の価値向上に繋がる取り組みに期待したい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	令和3年度の利用団体数、利用者数は令和2年度に引き続きコロナ禍の影響を受け、平時よりも減少したが、令和2年度と比較すると増加傾向であった。令和4年度は、小出コミセン30周年を迎えるため、まずはコミセンまつりをコロナの影響を受けないよう工夫して実施し、茅ヶ崎市内におけるコミセンまつり開催の機運を高めていきたい。又、その他の企画事業も利用者の満足度向上に結び付くような企画を検討、実施したい。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	毎月実施している運営委員会では利用者部会の代表4名が参加しているので、今後ともタイムリーな要望事項を吸収するとともに、利用者アンケートも継続して実施していく。また、昨年度リニューアルしたホームページの更新をきめ細かく継続し、最新の情報を利用者に情報発信していきたい。		

【施設番号 9】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：総務部市民自治推進課（内線：2415）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市民活動サポートセンター			
指定管理者名	特定非営利活動法人NPOサポートちがさき			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	市民活動を支援するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市茅ヶ崎三丁目2番7号 開設年月日：平成14年4月1日 開館時間：午前9時30分から午後9時30分 敷地面積：932.56㎡ 延床面積：306.18㎡ 主な施設：事務室 作業コーナー フリースペース プレイルーム 情報コーナー			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	茅ヶ崎市民活動サポートセンター 危機発生時対応マニュアル
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	茅ヶ崎市民活動サポートセンター 危機発生時対応マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌	
	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B		
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	業務報告書（毎月）	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	茅ヶ崎市民活動サポートセンター 危機発生時対応マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	財務諸表	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	実施
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	業務報告書（毎月） 事業報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	A	事業報告書
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	業務報告書（毎月）
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	業務報告書（毎月）	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	市民活動を支援する拠点として、フリースペースや作業コーナーなどの場の提供や情報の収集・提供、相談や講座の実施、市の事業への協力など市の求める水準を満たしている。 新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえ、利用時間の短縮やコロナウイルス感染拡大対策マニュアルの作成、館内消毒の徹底、利用者への周知啓発などの対応を迅速に行った。 また、コロナ禍での新たな市民活動団体のニーズに対応すべく、会議や講座のオンライン実施やオンライン会議に関する講座やPCサポート事業など利用者ニーズを意識し事業を展開したことは評価できる。		
	評価の中で特筆すべき事項	市民活動団体の交流のためのイベントとして実施した「こどもたん+2022」では、新たなコンテンツとして「SDGsクイズ」や「遊びアンケート」が展開されるなど身近な地域課題の認識や世代を超えた交流の場として機能していた。また、コロナ禍によって活動の成果の発表の場を失った市民活動団体や行政などの周知啓発ができるイベントとなったと言える。 コロナ禍で対面での市民活動が思うように活動できない中、市民活動を支援する交流イベントを企画・実施したとともに、オンライン化について支援したことにより、オンラインが苦手な団体が参加できたことは評価できる。		
	指定管理者に来年度期待すること	新型コロナウイルス感染症の影響が収まらない中ではあるが、市民活動を支援する拠点として施設運営に努めていただきたい。今後も多くの人に周知啓発を行い、市民活動の底上げを期待する。 コロナ禍で新しい生活様式への対応が進む中、アンケートやヒアリング、相談業務を通じて現場の声を集約し、新しいニーズに柔軟に対応しながら市民活動団体の支援に役立てていただきたい。 「地域の居場所づくり交流会」や「SDGsカフェ」、「こどもたん+」等のイベントにより多様な主体の交流や協働のきっかけにつながることを期待する。 市としても財政健全化緊急対策の中、新型コロナウイルスへの対応により、依然として厳しい財政状況が続き、より一層効率的な事業実施が求められている。市民活動の支援や協働の推進のため、中間支援組織として今後も中立的な立場からの連携、協力を期待する。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	2022年はサボセン開設20年の節目であり、年間を通して様々な記念的事業を行い、サボセン・市民活動のPRに力を入れていく。コロナ禍でニーズの高まったオンライン活動の支援に関しては、引き続きNPO法人バソボラ湘南の協力のもと、ITスキルアップミニ講座を実施する。その他、ホームページ制作など団体の基盤強化支援にも取り組む。市民活動支援や推進のための事業については、市民の声や市民活動団体アンケート、様々な社会情勢、現代的な課題も踏まえて、ニーズに沿った形でテーマを設定し企画内容を検討する。また、当事者性の高い小規模精鋭NPOの団体運営の難しさ等には必要に応じて伴走支援を行う。連携・協働促進を目的とした交流イベントに関しては、できるだけ対面での機会を増やし、市民活動団体や関連機関、行政、その他様々な主体同士がよい意味で巻き込まれながら関係性が深まり、つながりのきっかけを得られるよう、場をデザインしていく。 20年を経て、施設設備の老朽化も散見される。早めの点検、整備をこころがけ、早期劣化を防ぎ、また省エネ省資源やリサイクルなど環境にも一段と配慮し、コスト削減にも取り組みながら、安心安全な施設運営に努める。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	2021年度から5年間の新たな指定管理期間初年度は、新型コロナウイルス感染症の影響下での運営となった。利用時間の短縮や、事前予約を受け付け館内人数を半分程度に制限したが、利用人数は12,665名（前年度比161%増）で、活動を徐々に再開する団体も増えてきた。コロナや高齢化を理由に登録を取り消す団体が13あったが、一方で新規登録団体も22あった。新たな登録団体に加え、主催イベントをほぼオンラインでの実施に切り替えたことで、対面時とは異なる、新たな活動者層の開拓につながった。 夏のユースボランティアをきっかけに学生ボランティアチームの結成を促し、「こどもたん+プラス」の独自企画や20周年記念アート作品の制作、Instagramの発信など、若い世代へのアピールにも力を入れた。SNSで個人が発信できる社会になったこともあり、大きな組織として動くのではなく、オンラインツールを駆使して少人数でスピーディに意思決定をし、仲間を集めて行動を具体化していく若い世代の新しい市民活動スタイルが目立つようになってきた。サボセンとしてもSNS等で新しい感覚を持った世代ともつながり、できるだけ現場を訪れ、事業の組み立て方のアドバイスや行政への橋渡しなど、個別に伴走支援していくことが増えてきている。		

【施設番号 10】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：文化生涯学習部文化生涯学習課（内線：1241） 施設区分：非公募施設		
施設名	茶室・書院 松籟庵			
指定管理者名	公益財団法人 茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	市民の文化及び教養の向上を図る			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市東海岸北一丁目4番50号 開設年月日：平成3年11月開館 開館時間：午前9時から午後4時30分 敷地面積：2,017㎡ 延床面積：125,575㎡ 主な施設：茶室（4.5畳）、書院（8畳・8畳）			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	実地 事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護マニュアル
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開マニュアル ホームページ
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C	事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	実地 緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	財務諸表	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	実地 事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業計画書 事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 事業報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	A	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	広報紙等の媒体 ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 収支決算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	事業の実施回数は少なかったものの、開館30周年事業では、バリアフリーの視点を取り入れたことで、様々な特性の方が一緒に楽しめる事業になった。このことは団体に共有し、今後の事業展開にも活かしていただきたい。 利用者アンケートの結果から、利用者と良好な関係を築きながら高いサービス水準を保っていること、利用者への対応が良いことが伺える。また、市で実施した庭園整備事業や、利用サービス向上のための運営改善の検討にあたっては、長期的視点を持った的確な課題認識と助言など、多大なる協力をいただいたことを評価する。		
	評価の中で特筆すべき事項	昨年度から準備を進め、令和4年4月からの電気契約をカーボンオフセットプランで契約し、経費削減と環境負荷低減を図ることができた。		
	指定管理者に次年度期待すること	多くの市民が日本文化に触れられるよう、自主事業の開催回数を増やしていくこと、新規の方の参加増加を期待する。また、施設のもつ専門性を活かしながら、市民文化会館や美術館同様、教育や福祉、経済等の分野にも寄与する事業展開を期待する。そのほか、業務日報や利用状況に関する管理の電子化をお願いしたい。 なお、月次報告書の提出遅延については、改善を求める。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	松籟庵開館30周年の記念事業は、コロナ禍の中感染症対策を徹底しつつ、文化会館との連携や美術館からの応援など、財団が指定管理者として複数の文化施設を運営管理する強みを発揮することができたイベントになった。今後も、こうした連携など財団だからこそ実施可能となる事業に積極的に取り組んでいく。 また、電力会社の契約についても、財団他施設も含めた財団全体でのスケールメリットを活かした見直しを行い、より効果的な経費縮減に努めた。 日常事務の見直しや各種報告書の提出については、より効率的な作業の推進を進めることにより改善を図っていく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	コロナ禍や夏の猛暑が長く続いていることもあり、利用件数および利用者数の落ち込みが続いていたが、令和3年度は復調の兆しが見えつつある。一方、施設の維持管理費の節減に努めるなどして受益者負担割合は35.3%となり、コロナ禍前の平成30年度決算時の32.7%を上回る結果となった。今後は、茶道をはじめとする伝統文化の活動の場以外にも、より市民に利用していただける施設として幅広い世代の利用者層の獲得を目指し、利用件数増に結びつけていきたい。 また、夏季の利用件数の落ち込みについては、学校向けの施設開放などを実施し、長期的な観点から若い世代からの継続的利用につながるきっかけ作りとなる自主事業を検討していく。 さらに、今年度の文化会館小ホールを会場とした記念事業の開催により、組織の強みを活かした事業を実現し、これまでとは異なる規模の事業収益を得たことは、今後の事業展開について意義あるものとなった。今回の経験も考慮しながら指定管理期間の最終年度となる次年度も、受益者負担割合の目標値に届くよう施設利用率の向上と採算性を意識した事業展開を行う。		

【施設番号 11-1】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：教育推進部青少年課（内線：3352）		
		施設区分： 非公募施設		
施設名	子どもの家茅っ子（かやっこ）			
指定管理者名	茅ヶ崎地区コミュニティセンター管理運営委員会			
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	子どもに遊び場を提供し、もって心身の健全な発達を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市元町10番33号 開設年月日：平成14年1月5日 開館時間：午前9時から午後5時（11月から1月は午後4時30分まで） 敷地面積：1126.00㎡ 延床面積：127.54㎡ 主な施設：大型室内遊具、冷水器、子ども用トイレ			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書 仕様書・契約書等
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳 事業報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	広報誌
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地 月次報告書 事業報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響を受け、予定していた事業の中止等があったものの、指定管理者管理運営基準に求める施設の管理運営に関する業務、施設及び附属設備の維持管理に関する業務、経営管理に関する業務について、市が求める水準に達している。		
	評価の中で特筆すべき事項	新型コロナウイルスにより事業等は実施できなかったが、利用者数は令和2年度の1,000人から2,597人に増えている。令和3年2月中旬の地震によって外壁のタイルが落下するなどの被害が生じたが、施設所管課に速やかに報告したことで令和4年1月上旬に修復工事が完了し、安全管理に努めることができた。定期的に役員会や事務局員会議を行い、常に利用者の利便性や安全性について検討がされている。2月には非常時に子どもやお年寄りが安全に避難できるよう、1階から3階の非常階段に手すりを設置するなど利用者が安全安心に利用できるよう努めた。感染症に対する業務では、閉館後の消毒だけでなく、お昼の時間帯にも一斉に消毒を行う時間を設けるなどし、感染者の発生を防ぐ対策を常に講じていた。		
	指定管理者に来年度期待すること	引き続き、消毒や検温、人数制限等、感染症対策を徹底し、感染状況を注視しつつ事業の再開に向けて検討を進めていただきたい。環境配慮については、引き続き周辺施設や近隣住民、学校等と連携し省エネルギー化に努めていただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	企画事業については、コロナ感染防止を最優先とした上で人数制限又は分散化し実施可能な新たな事業を展開していく。引き続き近隣の中学校に通う中学生を講師に招き事業を実施する等、地域に密着した施設運営に努めるとともに、子ども達が安全・安心に利用できる子どもの家としての運営に努めていく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	危機管理の対応は事務員が常駐し事故防止に努める。事故発生時は併設する元町ケアセンターとの連携により対応する。子どもの家の利用者増加対応については、企画事業の案内等コミセン広報誌「かや」で全戸配布しているが、若い世代の家族同士の繋がりを広げるため、まちから協議会と協業しホームページを立ち上げるべく検討を始める。		

【施設番号 11-2】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：教育推進部青少年課（内線：3352）		
		施設区分： 非公募施設		
施設名	子どもの家さんぼみち			
指定管理者名	鶴嶺東地区まちぢから協議会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	子どもに遊び場を提供し、もって心身の健全な発達を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市西久保180番地 開設年月日：平成16年4月1日 開館時間：午前9時から午後5時（11月から1月は午後4時30分まで） 敷地面積：1164.40㎡ 延床面積：119.02㎡ 主な施設：大型室内遊具、冷水器、子ども用トイレ			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書 仕様書・契約書等
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書 連絡ノート	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳 事業報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ 広報誌
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地 月次報告書 事業報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	実地 事業報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	今年度より「鶴嶺東地区まちぢから協議会」が指定管理者となり、新たな体制となる中、子どもの家の管理運営に努めている。昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響を受け予定していた事業の中止等があったものの、指定管理者管理運営基準に求める施設の管理運営に関する業務、施設及び附属設備の維持管理に関する業務、経営管理に関する業務について、市が求める水準に達している。		
	評価の中で特筆すべき事項	新型コロナウイルスにより事業等は実施できなかったが、利用者数は令和2年度の1,946人から3,193人に増えている。例年夏休みに開催している「みんなで遊ぼうHappy Day」は中止となったが、小学生・未就学児を対象に「光の万華鏡工作セット」を、12月には「雪が舞うスノードームプレート」をいずれも100組を無料配布した。地域の農家の協力により田植えから収穫までの様子を写真やイラストでわかりやすく紹介したほか、地元の民話「かっぱ徳利」を壁面を使って紹介するなど地域と子どもたちを結び取り組みを行った。また、職員一人ひとりが、子どもの家が子どもにとって大切な居場所となっていることを理解し、日頃から子どもの気持ちに寄り添った対応をしていることについて評価できる。感染症に対する業務では、消毒や換気を積極的に行うことで感染者の発生を防ぐ対策を常に講じていた。		
	指定管理者に来年度期待すること	コロナ禍においても子どもが楽しむことのできる壁面装飾や工作等を引き続き実施していただきたい。事業実施にあたっては、消毒や検温、人数制限等、感染症対策を徹底し、感染状況を注視しつつ再開に向けて検討を進めていただきたい。環境配慮については、引き続き周辺施設や近隣住民、学校等と連携し「花いっぱい活動」への取り組みを行うなど、省エネルギー化に努めていただきたい。また、引き続き地域の大人に見守られた子どもの居場所として、子どもに寄り添った対応ができるよう心掛けていただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	事業については、新型コロナウイルスの感染症対策を考慮して止む無く中止と判断した場合でも、滞りなく代替イベントの実施ができるよう努める。令和5年度に迎える開館20周年記念事業に向け、子どもたちも楽しんで参加できる企画となるよう準備に努める。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	ワークキット、クイズの提供、壁面装飾、季節に応じた手作りの五月人形などの展示を行い、体験や目で見て楽しめるような取組を行うことで利用者増に努める。現在は、本などの消毒が難しい遊具の貸し出しを行っていないが、感染状況によっては工夫しつつ貸し出しの実施を検討し、子ども達が安全・安心に子どもの家を利用できるよう改善を図る。利用者が気持ちよく利用していただける環境整備の一環として、構内の植栽・生垣剪定、草取り、草花の植え込み、手入れなど美化活動に努める。また、美化活動効率化のために、薬剤散布も併せて行うことで、事務員の負担を減らしつつも、周辺環境に配慮した活動を行っていく。省資源・省エネルギー化の一環として、グリーンカーテンを設置する。		

【施設番号 11-3】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：教育推進部青少年課（内線：3352）		
		施設区分： 非公募施設		
施設名	子どもの家わくわくらんど			
指定管理者名	湘南地区まちぢから協議会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	子どもに遊び場を提供し、もって心身の健全な発達を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市中島1670番地 開設年月日：平成10年6月1日 開館時間：午前9時から午後5時（11月から1月は午後4時30分まで） 敷地面積：887.63㎡ 延床面積：117.32㎡ 主な施設：大型室内遊具、冷水器、子ども用トイレ			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書 仕様書・契約書等
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳 事業報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ 広報誌
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地 月次報告書 事業報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	連絡帳 実地 事業報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	今年度より「湘南地区まちから協議会」が指定管理者となり、新たな体制となる中、子どもの家の管理運営に努めている。昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響を受け、予定していた事業の中止等があったものの、指定管理者管理運営基準に求める施設の管理運営に関する業務、施設及び附属設備の維持管理に関する業務、経営管理に関する業務について市が求める水準に達している。		
	評価の中で特筆すべき事項	新型コロナウイルスにより事業等は実施できなかったが、利用者数は令和2年度の861人から1,552人に増えている。6月より豊コーナーにフォトコーナーを設け、季節ごとに壁面の装飾を変えることで親子で楽しめるよう工夫を凝らしており、コミセンだよりでも周知に努めた。消毒や体温測定など感染予防対策を徹底するとともに、きめ細やかな消毒作業を繰り返すことで玩具や絵本等の提供を続けることができた。		
	指定管理者に次年度期待すること	地域の子どもたちは減少傾向にあるが、引き続き小学生向けのイベントの開催や壁面装飾、未就学児親子をターゲットとした事業の充実等により、利用者数の増に努めていただきたい。事業実施にあたっては、消毒や検温、人数制限等、感染症対策を徹底し、感染状況を注視しつつ再開に向けて検討を進めていただきたい。環境配慮については、引き続き周辺施設や近隣住民、学校等と連携し省エネルギー化に努めていただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	コロナ感染対策を徹底し、利用増加を図る為、定期的にわくわくらんどのPR(広報紙、HP等)を行っていく。企画事業については、学校と連携し、夏休み期間に小学生向けに特化した事業を企画、実施していく。フォトコーナーについては、今後も継続的に季節毎リニューアルし利用増を図っていく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	最新の玩具(遊び道具)を導入・PR(掲示)及び季節毎のフォトコーナー(事務員が壁に飾りつけ)を設置し、親子で来館した記念として、写真撮影したカードをプレゼントし利用増を図った。令和3年度は、子ども対象に特化した事業を計画していたが、コロナ禍で中止せざるをえなかった。中止した事業：「生糸に関する講座」「物作り教室」「子ども映画会」「子ども向け講座(南湖公民館と共催)」		

【施設番号 11-4】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：教育推進部青少年課（内線：3352）		
		施設区分：非公募施設		
施設名	子どもの家銀河（ぎんが）			
指定管理者名	小和田地区コミュニティセンター管理運営委員会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	子どもに遊び場を提供し、もって心身の健全な発達を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市小和田一丁目22番60号 開設年月日：昭和63年4月26日 開館時間：午前9時から午後5時（11月から1月は午後4時30分まで） 敷地面積：703.60㎡ 延床面積：101.93㎡ 主な施設：大型室内遊具、冷水器、子ども用トイレ			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書 仕様書・契約書等
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳 事業報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内等を適切に行っている。	B	広報誌
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地 月次報告書 事業報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	月次報告書 事業報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響を受け予定していた事業の中止等があったものの、指定管理者管理運営基準に求める施設の管理運営に関する業務、施設及び附属設備の維持管理に関する業務、経営管理に関する業務について、市が求める水準に達している。		
	評価の中で特筆すべき事項	新型コロナウイルスにより事業等は実施できなかったが、利用者数は令和2年度の2,954人から4,863人に増えている。人数制限や消毒等感染症対策を徹底し運営を行ったことで、感染の拡大を防ぐ取組を積極的に行った点について評価できる。老朽化した冷水器の撤去等、青少年課と連携しながら安全安心な管理運営に努めた。また、空気清浄機を購入し設置をすることで、環境整備及び感染対策を強化している。壁面に天使の羽根を飾り付けたフォトスポットを設け、コミセンだよりで紹介することができた。		
	指定管理者に来年度期待すること	引き続き、消毒や検温、人数制限等、感染症対策を徹底し、感染状況を注視しつつ事業の再開に向けて検討を進めていただきたい。環境配慮については、引き続き周辺施設や近隣住民、学校等と連携し省エネルギー化に努めていただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	これからも、換気・消毒・検温・人数制限等を行いながらコロナ対策を行い、保護者の方々に「銀河は安全で安心して遊べる場」と認識していただけるよう努める。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	折り紙等を使って、四季を感じてもらえるように館内を飾り、その様子を広報紙で紹介している。また、子ども向けのダンス（スンパダンス）を開催し、銀河に遊びに来るきっかけとなるよう努め、新たな利用者の獲得につなげていく。		

【施設番号 11-5】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：教育推進部青少年課（内線：3352）		
		施設区分： 非公募施設		
施設名	子どもの家なみっこ			
指定管理者名	松浪地区まちぢから協議会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	子どもに遊び場を提供し、もって心身の健全な発達を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市常盤町2番2号 開設年月日：平成27年4月1日 開館時間：午前9時から午後5時（11月から1月は午後4時30分まで） 敷地面積：1401.75㎡ 延床面積：84.93㎡ 主な施設：大型室内遊具、冷水器、子ども用トイレ			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書 仕様書・契約書等
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳 事業報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ 広報誌等
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地 月次報告書 事業報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	実地 事業報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響を受け予定していた事業の中止等があったものの、指定管理者管理運営基準に求める施設の管理運営に関する業務、施設及び附属設備の維持管理に関する業務、経営管理に関する業務について、市が求める水準に達している。		
	評価の中で特筆すべき事項	新型コロナウイルスにより事業等は実施できなかったが、利用者数は令和2年度の925人から2,611人に増えている。壁面装飾に力を入れていて、東京オリンピック特集では、ホストタウンの北マケドニアを紹介したほか、七夕の天の川やハロウィーン、凧の展示などを職員が自主的に発案し毎回工夫を凝らして作成している。「なみっこじゆうちょう」を活用し、子どもの意見の吸い上げを積極的に行うなど子どもに寄り添い、成長を支える場所となっていた点について十分に評価できる。		
	指定管理者に来年度期待すること	引き続き感染症対策を徹底しつつ、コロナ禍においても実施可能な取り組みを模索し、地域全体として子どもの成長を支え、寄り添う役割を維持した管理運営に努めていただきたい。 今後の新型コロナウイルスの感染症の動向を注視しつつ、感染状況に応じた事業の実施やなみっこを用いた新たな取組等も期待する。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	感染状況により提供できる遊具は少ないが、壁には季節感と日本の伝統や文化に触れられるような装飾、利用者が塗った絵を合わせて一つの作品を作る参加型の装飾などをしていきたいと考えている。感染状況が落ち着いた頃に開始できるよう、読み聞かせやカンガルー演奏会の協力者には連絡が取れるようにしている。引き続き感染症対策を徹底しながら子どもにとって居心地の良い場所になるように努める。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	SNSについては効率的に利用できるよう検討を進めるとともに、引き続きコミセンだよりにて発信していく。 【身長計＋季節の飾り】を作り、フォトスポットとし子どもたちの成長の記録の一つとして利用していただけるようにしている。スタッフが撮影するのではなく、利用者自身のカメラ等で記録してもらうことで、利用者のSNSによる情報発信をとおして利用促進につながるよう取り組んでいる。		

【施設番号 11-6】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：教育推進部青少年課（内線：3352）		
		施設区分： 非公募施設		
施設名	子どもの家わいわいハウス			
指定管理者名	小出地区コミュニティセンター管理運営委員会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	子どもに遊び場を提供し、もって心身の健全な発達を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市堤1948番地1 開設年月日：平成5年8月1日 開館時間：午前9時から午後5時（11月から1月は午後4時30分まで） 敷地面積：1654.34㎡ 延床面積：130.0㎡ 主な施設：大型室内遊具、冷水器、子ども用トイレ			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書 仕様書・契約書等
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業報告書 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳 事業報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ 広報誌
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実地 月次報告書 事業報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	実地 事業報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響を受け予定していた事業の中止等があったものの、指定管理者管理運営基準に求める施設の管理運営に関する業務、施設及び附属設備の維持管理に関する業務、経営管理に関する業務について、市が求める水準に達している。		
	評価の中で特筆すべき事項	新型コロナウイルスにより事業等は実施できなかったが、利用者数は令和2年度の658人から1,098人に増えている。子どもの家としての事業は中止となったが、「演劇で遊ぶ」や「クリスマスコンサート～ヴァイオリン&ピアノで奏でる愛のデュエット」など、子どもたちが参加できる事業を積極的に実施したほか、緊急事態宣言が9月末に解除されたことに伴い、卓球とバドミントンを再開した。		
	指定管理者に来年度期待すること	引き続き感染症対策を徹底しつつ、コロナ禍においても実施可能な取り組みを模索し、地域全体として子どもの成長を支え、寄り添う役割を維持した管理運営に努めていただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	引き続き学校や地域の方々との交流を図り、地域の子どもたちが安全安心に過ごせる楽しい居場所づくりに取り組んでいく。特に、毎月実施している子ども演劇、子どものおはなし会を継続するとともに、夏、冬、春のおたのしみ会も充実させていきたい。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	子どもの家の利用案内や、問い合わせに関して適切な対応を行うとともに、適宜利用者のニーズに沿った運営を行うよう努めた。引き続き、月例の運営委員会にて小学校PTAの代表、児童青少年部会の代表、青少年育成推進協議会の代表を交え、意見を交換するとともに、アンケート調査を実施し、利用者の利便性向上を図る。		

【施設番号 12-1】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：福祉部障がい福祉課（内線：3212）		
		施設区分：非公募施設		
施設名	つつじ学園			
指定管理者名	社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉事業団			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	障害児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援する			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市松が丘二丁目8番51号 開設年月日：昭和50年4月1日 開所時間：午前8時30分～午後6時 敷地面積：1,815.00㎡ 延床面積：1,081.25㎡ 主な施設：指導室、集会室、調理室、相談室、医務室、事務室、会議室等			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	A	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	A	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	月次報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	月次報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団特定個人情報取扱規程
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団個人情報保護規程
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団の管理する情報の公開に関する規程
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	月次報告書 事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	A	防災計画 非常災害対策計画 事業継続計画	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	会計決算報告	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	事業報告書 実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	月次報告書 事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	-	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	広報紙、ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	月次報告書 実地
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	A	利用者アンケート	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	会計決算報告
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	指定管理者は、指定管理業務全般において市と綿密に連絡調整を行いながら、適切に業務を遂行している。		
	評価の中で特筆すべき事項	厚生労働省「児童発達支援ガイドライン」に基づく保護者等の事業所評価が、80%以上の高い満足度を得た。 実利用人数、専門性の高い療育的支援を維持した中で児童発達支援事業の定員変更を行った。これにより障害福祉サービス等事業収入が前年度比増となり、ひいては指定管理料の圧縮につながった。 職員や利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者・濃厚接触者に特定されることもあったが、令和2年度に体系化した対応フローに基づき、迅速な対応を講じたことで感染拡大を防ぐことができた。 また、学園全体で行う事業（学園祭）等は中止を余儀なくされたものの、クラスごとに運動会やクリスマス会を実施したり、園庭や近隣の公園で身体を動かしたりするなどカリキュラムを工夫し、利用児の健やかな成長を促した。		
	指定管理者に来年度期待すること	次期指定管理期間の事業者選定を令和5年度に控える中で、法人の「第3期中期経営改善計画」（令和元～5年度）に掲げるアクションプランの取組を今後も着実に進めることでより一層、自主的・自立的な経営を目指していただきたい。 福祉人材不足は全国的な課題ではあるが、処遇やワークライフバランスなどの働きやすさの改善、「つつじ学園」に勤務するメリット（魅力）の発信等に継続的に取り組むことで必要な人員の確保に努めて欲しい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	今後もつつじ学園の療育が継承していくよう、クラス間での支援方法の共有や専門指導職による研修など職員の職務知識の獲得や資質向上を図る体系的な研修を充実させていく。 現場のワークフローに基づき、ICT活用による業務効率化を推進しながら職員が働きやすい職場環境作りを実施していく。 利用者の安全、安心を第一に、引き続き新型コロナウイルス感染症への感染予防、拡大防止対策に全力で取り組みつつ、今後も福祉サービスの事業継続とサービスの充実に向けた事業所の整備、人材の確保及び職員の雇用継続を推進していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	第3期中期経営改善計画は、地域の福祉に責務を有する市が設立した法人としての責務が果たせるよう、持続可能な事業経営の内容となるサービスの質、組織・職員、財務・コストに関する重点計画を抽出し、時系列で示したロードマップ上のアクションプランを位置付け、適切な進行管理のもとで課題の解決に取り組んでいる。 令和3年度も新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年ではあったが、感染予防対策を徹底しつつ、可能な限りの行事の実施やカリキュラムを工夫しながら福祉サービスを継続提供してきた。特に事業運営に関する市への提言、独立採算性を意識した事業展開や業務の効率化を実行するとともに、職員が将来にわたって職務へのモチベーションを持てるよう職位の整理を行った。また、正規職員への登用制度の活用を主に人材の確保・育成の取り組みを行った。		

【施設番号 12-2】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：福祉部障がい福祉課（内線：3212）		
		施設区分：非公募施設		
施設名	かめっこくらぶ			
指定管理者名	社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉事業団			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	障害児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援する			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市東海岸北三丁目7番44号 開設年月日：平成21年9月1日 開館時間：午前8時30分～午後6時 敷地面積：177.68㎡ 延床面積：66.10㎡ 主な施設：事務室、指導室等			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	A	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	月次報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	月次報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団特定個人情報取扱規程
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団個人情報保護規程
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団の管理する情報の公開に関する規程
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	月次報告書 事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	防災計画 非常災害対策計画 事業継続計画	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	会計決算報告	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	事業報告書 実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	-	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	-	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	広報紙、ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	月次報告書 実地
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	A	利用者アンケート	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	C	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	会計決算報告
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	指定管理者は、指定管理業務全般において市と綿密に連絡調整を行いながら、適切に業務を遂行している。		
	評価の中で特筆すべき事項	日中一時支援事業ではあるが、療育的な配慮を行うなど利用児に寄り添った支援を行った。		
	指定管理者に来年度期待すること	次期指定管理期間の事業者選定を令和5年度に控える中で、法人の「第3期中期経営改善計画」（令和元～5年度）に掲げるアクションプランの取組を今後も着実に進めることでより一層、自主的・自立的な経営を目指していただきたい。 人員不足や新型コロナウイルス感染症の感染拡大等もあり、新たな契約者の獲得につなげていない状況にある。一方で、保護者の就労による預かりニーズは常に一定数あることから、利用したい方が利用できるような環境や体制づくりを期待したい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	児童発達支援事業所や相談支援事業所との連携をより一層強化し、新規契約者を確保していく。 身体機能や衝動的な行動により個別的な支援が必要な利用児は、定期的な利用児全体の約4割となっている。また、学校や関係機関等とのケース会議が必要な利用児もあり、預かりとする日中一時支援事業の域を超えた支援が必要とされているため、引き続き療育的視点を持った途切れのない支援を提供していく。 利用者の安全、安心を第一に、引き続き新型コロナウイルス感染症への感染予防、拡大防止対策に全力で取り組みつつ、今後も福祉サービスの事業継続とサービスの充実に向けた事業所の整備、人材の確保及び職員の雇用継続を推進していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	第3期中期経営改善計画は、地域の福祉に責務を有する市が設立した法人としての責務が果たせるよう、持続可能な事業経営の内容となるサービスの質、組織・職員、財務・コストに関する重点計画を抽出し、時系列で示したロードマップ上のアクションプランを位置付け、適切な進行管理のもとで課題の解決に取り組んでいる。 令和3年度も新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年ではあったが、感染予防対策を徹底しつつ福祉サービスを継続提供してきた。特に事業運営に関する市への提言、独立採算性を意識した事業展開や業務の効率化を実行するとともに、職員が将来にわたって職務へのモチベーションを持てるよう職位の整理を行った。また、正規職員への登用制度の活用を主に人材の確保・育成の取り組みを行った。		

【施設番号 13-1】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：福祉部障がい福祉課（内線：3212）		
		施設区分：非公募施設		
施設名	ふれあい活動ホーム赤羽根			
指定管理者名	社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉事業団			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	障害者福祉の向上を図る			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市赤羽根338番地1 開設年月日：平成5年4月1日 開館時間：午前8時30分～午後5時 敷地面積：1,229.54㎡ 延床面積：542.33㎡ 主な施設：作業訓練室、印刷室、調理室、食堂、医務室、事務室等			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	A	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	月次報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	月次報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団特定個人情報取扱規程
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団個人情報保護規程
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団の管理する情報の公開に関する規程
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	月次報告書 事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	A	防災計画 非常災害対策計画 事業継続計画	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	会計決算報告	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	事業報告書 実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	-	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	広報紙、ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	月次報告書 実地
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	A	利用者アンケート	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	A	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	会計決算報告
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	指定管理者は、指定管理業務全般において市と綿密に連絡調整を行いながら、適切に業務を遂行している。		
	評価の中で特筆すべき事項	令和2年度に「利用料金制」（給付費と利用料金が指定管理者の収入となる制度）に移行し、指定管理料に頼らない収入体系となったが、徹底した感染症対策、障がい特性に応じたきめ細やかな対応、工賃アップの取組等により日々の利用者数を維持し、令和3年度も安定した経営を実現した。 様々な障がい特性のある方が通所しており、支援の方法も異なる中で、作業量の調整や作業スペースの区割りなどを工夫し、利用者に向けた対応に心掛けた。 職員や利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者・濃厚接触者に特定されることもあったが、令和2年度に体系化した対応フローに基づき、迅速な対応を講じたことで感染拡大を防ぐことができた。		
	指定管理者に来年度期待すること	効率的かつ効果的な事業運営を目指した取組のひとつとして、本施設の指定管理者への事業移管の提言がなされていることから、法人の「第3期中期経営改善計画」（令和元～5年度）に掲げるアクションプランの取組を今後も着実に進めることでより一層、自主的・自立的な経営を目指していただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	これまでに構築した関係機関との連携体制を活かしながら、新規の利用契約者を確保するとともに、安定した利用者数の維持確保に努めていく。 コロナ禍において、企業からの受注作業量の確保に少なからず課題もあるが、ふれあい活動ホーム間での連携を軸に作業提供量の確保に努めつつ一定した工賃水準を維持する。また、利用者個々の特性と希望に応じた就労並びに生活面での支援を充実させていく。 利用者の安全、安心を第一に、引き続き新型コロナウイルス感染症への感染予防、拡大防止対策に全力で取り組みつつ、今後も福祉サービスの事業継続とサービスの充実に向けた事業所の整備、人材の確保及び職員の雇用継続を推進していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	第3期中期経営改善計画は、地域の福祉に責務を有する市が設立した法人としての責務が果たせるよう、持続可能な事業経営の内容となるサービスの質、組織・職員、財務・コストに関する重点計画を抽出し、時系列で示したロードマップ上のアクションプランを位置付け、適切な進捗管理のもとで課題の解決に取り組んでいる。 令和3年度も新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年ではあったが、利用者の高齢化や障害程度の重度化への課題に対応しつつ福祉サービスを継続提供してきた。特に事業運営に関する市への提言、独立採算性を意識した事業展開や業務の効率化を実行するとともに、職員が将来にわたって職務へのモチベーションを持てるよう職位の整理を行った。また、正規職員への登用制度の活用を主に人材の確保・育成の取り組みを行った。		

【施設番号 13-2】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：福祉部障がい福祉課（内線：3212）		
		施設区分：非公募施設		
施設名	ふれあい活動ホームあかしあ			
指定管理者名	社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉事業団			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	障害者福祉の向上を図る			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市松浪一丁目10番4号 開設年月日：令和元年10月1日 開館時間：午前8時30分～午後5時 敷地面積：654.00㎡ 延床面積：278.38㎡ 主な施設：作業室、食堂、事務室等			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	月次報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	月次報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団特定個人情報取扱規程
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団個人情報保護規程
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団の管理する情報の公開に関する規程
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	月次報告書 事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	A	防災計画 非常災害対策計画 事業継続計画	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	会計決算報告	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	事業報告書 実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
	言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B		

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	—	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	広報紙、ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	月次報告書 実地
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	A	利用者アンケート	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	会計決算報告
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	指定管理者は、指定管理業務全般において市と綿密に連絡調整を行いながら、適切に業務を遂行している。		
	評価の中で特筆すべき事項	令和2年度に「利用料金制」（給付費と利用料金が指定管理者の収入となる制度）に移行し、指定管理料に頼らない収入体系となったが、徹底した感染症対策、障がい特性に応じたきめ細やかな対応、工夫をこらした日中活動の取組等により日々の利用者数を維持し、令和3年度も安定した経営を実現した。 職員や利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者・濃厚接触者に特定されることもあったが、令和2年度に体系化した対応フローに基づき、迅速な対応を講じたことで感染拡大を防ぐことができた。		
	指定管理者に来年度期待すること	効率的かつ効果的な事業運営を目指した取組のひとつとして、本施設の指定管理者への事業移管の提言がなされていることから、法人の「第3期中期経営改善計画」（令和元～5年度）に掲げるアクションプランの取組を今後も着実に進めることでより一層、自主的・自立的な経営を目指していただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	これまでに構築した関係機関との連携体制を活かしながら、新規の利用契約者を確保するとともに、安定した利用者数の維持確保に努めていく。 利用者個々の特性と希望に応じた活動及び生活面での支援を充実させつつ、状況に応じた環境設定や活動ができるよう、より深く利用者を理解し職員間で共通した支援にあたる。 利用者の安全、安心を第一に、引き続き新型コロナウイルス感染症への感染予防、拡大防止対策に全力で取り組みつつ、今後も福祉サービスの事業継続とサービスの充実に向けた事業所の整備、人材の確保及び職員の雇用継続を推進していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	第3期中期経営改善計画は、地域の福祉に責務を有する市が設立した法人としての責務が果たせるよう、持続可能な事業経営の内容となるサービスの質、組織・職員、財務・コストに関する重点計画を抽出し、時系列で示したロードマップ上のアクションプランを位置付け、適切な進行管理のもとで課題の解決に取り組んでいる。 令和3年度も新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年ではあったが、利用者の高齢化や障害程度の重度化への課題に対応しつつ福祉サービスを継続提供してきた。特に事業運営に関する市への提言、独立採算性を意識した事業展開や業務の効率化を実施するとともに、職員が将来にわたって職務へのモチベーションを持てるよう職位の整理を行った。また、正規職員への登用制度の活用を主に人材の確保・育成の取り組みを行った。		

【施設番号 13-3】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：福祉部障がい福祉課（内線：3212）		
		施設区分：非公募施設		
施設名	ふれあい活動ホーム第2あかしあ			
指定管理者名	社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉事業団			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	障害者福祉の向上を図る			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市十間坂一丁目4番8号 開設年月日：昭和38年10月1日 開館時間：午前8時30分～午後5時 敷地面積：1,219.88㎡ 延床面積：378.45㎡ 主な施設：活動室、食堂、事務室等			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	A	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	月次報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	月次報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団特定個人情報取扱規程
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団個人情報保護規程
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉事業団の管理する情報の公開に関する規程
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	月次報告書 事業報告書
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	防災計画 非常災害対策計画 事業継続計画	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	会計決算報告	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	事業報告書 実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	-	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	広報紙、ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	月次報告書 実地
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	A	利用者アンケート	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	会計決算報告
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	指定管理者は、指定管理業務全般において市と綿密に連絡調整を行いながら、適切に業務を遂行している。		
	評価の中で特筆すべき事項	令和2年度に「利用料金制」（給付費と利用料金が指定管理者の収入となる制度）に移行し、指定管理料に頼らない収入体系となったが、徹底した感染症対策、障がい特性に応じたきめ細やかな対応、工賃アップの取組等により日々の利用者数を維持し、令和3年度も安定した経営を実現した。 職員や利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者・濃厚接触者に特定されることもあったが、令和2年度に体系化した対応フローに基づき、迅速な対応を講じたことで感染拡大を防ぐことができた。		
	指定管理者に来年度期待すること	効率的かつ効果的な事業運営を目指した取組のひとつとして、本施設の指定管理者への事業移管の提言がなされていることから、法人の「第3期中期経営改善計画」（令和元～5年度）に掲げるアクションプランの取組を今後も着実に進めることでより一層、自主的・自立的な経営を目指していただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	これまでに構築した関係機関との連携体制を活かしながら、新規の利用契約者を確保するとともに、安定した利用者数の維持確保に努めていく。 コロナ禍において、企業からの受注作業量の確保に少なからず課題もあるが、ふれあい活動ホーム間での連携を軸に作業提供量の確保に努めつつ一定した工賃水準を維持する。また、利用者個々の特性と希望に応じた就労並びに生活面での支援を充実させていく。 利用者の安全、安心を第一に、引き続き新型コロナウイルス感染症への感染予防、拡大防止対策に全力で取り組みつつ、今後も福祉サービスの事業継続とサービスの充実に向けた事業所の整備、人材の確保及び職員の雇用継続を推進していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	第3期中期経営改善計画は、地域の福祉に責務を有する市が設立した法人としての責務が果たせるよう、持続可能な事業経営の内容となるサービスの質、組織・職員、財務・コストに関する重点計画を抽出し、時系列で示したロードマップ上のアクションプランを位置付け、適切な進行管理のもとで課題の解決に取り組んでいる。 令和3年度も新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年ではあったが、利用者の高齢化や障害程度の重度化への課題に対応しつつ福祉サービスを継続提供してきた。特に事業運営に関する市への提言、独立採算性を意識した事業展開や業務の効率化を実行するとともに、職員が将来にわたって職務へのモチベーションを持てるよう職位の整理を行った。また、正規職員への登用制度の活用を主に人材の確保・育成の取り組みを行った。		

【施設番号 14-1】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市小出児童クラブ			
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市堤1967 開設年月日：平成18年1月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：82.50㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	実績報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	令和3年度より新規で指定管理者に選定されたにも関わらず3ブロックを統括し、管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。市内どの児童クラブを利用して同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。		
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に保育中の児童の様子について丁寧に記載されている。室内は整理整頓されている。アレルギー児への対応について、職員で共有できている。1日のスケジュールについて、子どもたちに分かりやすいよう掲示されている。		
	指定管理者に来年度期待すること	これまで他市の児童クラブの運営において培ってきたノウハウ等を十分に発揮し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。また、児童クラブ運営における市側への提出書類の内容や期限については今一度、会社内で共有し仕組み化していただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	今回いただいた評価が今後さらに良くなる様、クラブと連携し運営を行う。提出書類においては内容、期限を社内全体で共有し、迅速に対応をする。また、学校とクラブ間でも日々の出来事等共有し、児童の安全安心な環境作りを行う。児童ひとりひとりにとって第二の家という大切な居場所として放課後児童クラブが在り続けられる様、運営を行う。児童が少しでも過ごしやすい環境にできるよう皆で取り組んでいく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	コロナ禍ということもありなかなかイベント等の実施は厳しい状況が続くが、少しずつ地域の実情に応じた運営を実施できるよう取り組んでいる状況である。		

【施設番号 14-2】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市香川児童クラブ			
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市香川1-30-59（令和2年4月1日より移転） 開設年月日：平成20年4月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：229.16㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	実績報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	令和3年度より新規で指定管理者に選定されたにも関わらず計3ブロックを統括し、管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。市内どの児童クラブを利用しても同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。			
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に児童1人1人に対する気づきを日々記録しており、個人の特性等の把握に積極的に努めており評価できる。 室内は整理整頓されている。 アレルギー児への対応について、職員で共有できている。 1日のスケジュールが児童に分かりやすいよう掲示されている。			
	指定管理者に来年度期待すること	これまで他市の児童クラブの運営において培ってきたノウハウ等を十分に発揮し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。また、児童クラブ運営における市側への提出書類の内容や期限については今一度、会社内で共有し仕組み化していただきたい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	今回いただいた評価が今後さらに良くなる様、クラブと連携し運営を行う。 提出書類においては内容、期限を社内全体で共有し、迅速に対応する。 また、学校とクラブ間でも日々の出来事等共有し、児童の安全安心な環境作りを行う。 児童ひとりひとりにとって第二の家という大切な居場所として放課後児童クラブが在り続けられる様、運営を行う。 児童が少しでも過ごしやすい環境にできるよう皆で取り組んでいく。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	コロナ禍ということもありなかなかイベント等の実施は厳しい状況が続くが、少しずつ地域の実情に応じた運営を実施できるよう取り組んでいる状況。香川第2児童クラブとの合同イベントを考えていきたい。			

【施設番号 14-3】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市香川第2児童クラブ			
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社			
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市香川1-30-51 開設年月日：平成23年11月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：98.12㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	実績報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	令和3年度より新規で指定管理者に選定されたにも関わらず計3ブロックを統括し、管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。市内での児童クラブを利用して同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。			
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に保育中の児童の様子について丁寧に記載されている。室内は整理整頓されている。アレルギー児への対応について、職員で共有できている。			
	指定管理者に来年度期待すること	これまで他市の児童クラブの運営において培ってきたノウハウ等を十分に発揮し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。また、児童クラブ運営における市側への提出書類の内容や期限については今一度、会社内で共有し仕組み化していただきたい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	今回いただいた評価が今後さらに良くなる様、クラブと連携し運営を行う。提出書類においては内容、期限を社内全体で共有し、迅速に対応をする。また、学校とクラブ間でも日々の出来事等共有し、児童の安全安心な環境作りを行う。児童ひとりひとりにとって第二の家という大切な居場所として放課後児童クラブが在り続けられる様、運営を行う。児童が少しでも過ごしやすい環境にできるよう皆で取り組んでいく。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	コロナ禍ということもありなかなかイベント等の実施は厳しい状況が続くが、少しずつ地域の実情に応じた運営を実施できるよう取り組んでいる状況。香川児童クラブとの合同イベントを企画していきたい。			

【施設番号 14-4】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市円蔵児童クラブ			
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市茅ヶ崎551-9 開設年月日：平成21年9月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：98.69㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	実績報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	令和3年度より新規で指定管理者に選定されたにも関わらず計3ブロックを統括し、管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。市内どの児童クラブを利用して同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。			
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に子どもたちの様子について丁寧に記載されている。クラブのルール等について、子どもたちに見やすいよう掲示されている。手洗いの注意喚起について、子どもたちに伝わりやすい工夫がされている。室内は整理整頓されている。			
	指定管理者に来年度期待すること	これまで他市の児童クラブの運営において培ってきたノウハウ等を十分に発揮し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。また、児童クラブ運営における市側への提出書類の内容や期限については今一度、会社内で共有し仕組み化していただきたい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	今回いただいた評価が今後さらに良くなる様、クラブと連携し運営を行う。提出書類においては内容、期限を社内全体で共有し、迅速に対応をする。また、学校とクラブ間でも日々の出来事等共有し、児童の安全安心な環境作りを行う。児童ひとりひとりにとって第二の家という大切な居場所として放課後児童クラブが在り続けられる様、運営を行う。昨年度の反省として未登所児童の問題があった為、改善に努める。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	コロナ禍ということもありなかなかイベント等の実施は厳しい状況が続くが、少しずつ地域の実情に応じた運営を実施できるよう取り組んでいる状況である。			

【施設番号 14-5】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156） 施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市松林児童クラブ			
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市松林2-16-32 開設年月日：平成22年11月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：115.93㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	実績報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	令和3年度より新規で指定管理者に選定されたにも関わらず計3ブロックを統括し、管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。市内どの児童クラブを利用して同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。			
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に保育中の実施事項について丁寧に記載されている。部屋は整理整頓されている。アレルギー児への対応について、職員間で共有出来ている。学校との関係が良好に見受けられる。			
	指定管理者に来年度期待すること	これまで他市の児童クラブの運営において培ってきたノウハウ等を十分に発揮し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。また、児童クラブ運営における市側への提出書類の内容や期限については今一度、会社内で共有し仕組み化していただきたい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	今回いただいた評価が今後さらに良くなる様、クラブと連携をし運営を行う。提出書類においては内容、期限を社内全体で共有し、迅速に対応をする。また、学校とクラブ間でも日々の出来事等共有し、児童の安全安心な環境作りを行う。児童ひとりひとりにとって第二の家という大切な居場所として放課後児童クラブが在り続けられる様、運営を行う。近隣の方達との交流を少しずつ増やし、よりよい環境を目指す。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	コロナ禍ということもありなかなかイベント等の実施は厳しい状況が続くが、少しずつ地域の実情に応じた運営を実施できるよう取り組んでいる状況。近隣の方達も巻き込んだイベント等の開催を考えていきたい。			

【施設番号 14-6】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市小和田児童クラブ			
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社			
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市小和田3-10-1 開設年月日：平成18年7月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：200.37㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	実績報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	令和3年度より新規で指定管理者に選定されたにも関わらず計3ブロックを統括し、管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。どの児童クラブを利用しても同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。			
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に他の支援員と共有すべき事項について丁寧に記載されている。部屋は整理整頓されている。アレルギー児への対応について、職員間で共有出来ている。1日の予定が児童に分かりやすく掲示されている。他の施設との関係が良好に見受けられる。			
	指定管理者に来年度期待すること	これまで他市の児童クラブの運営において培ってきたノウハウ等を十分に発揮し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。また、児童クラブ運営における市側への提出書類の内容や期限については今一度、会社内で共有し仕組み化していただきたい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	今回いただいた評価が今後さらに良くなる様、クラブと連携し運営を行う。提出書類においては内容、期限を社内全体で共有し、迅速に対応をする。また、学校とクラブ間でも日々の出来事等共有し、児童の安全安心な環境作りを行う。児童ひとりひとりにとって第二の家という大切な居場所として放課後児童クラブが在り続けられる様、運営を行う。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	唯一地域の方達とのイベント等を取り入れられているクラブである。継続してイベント開催等を目指す。			

【施設番号 14-7】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市室田児童クラブ			
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社			
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市松林3-5-33 開設年月日：平成22年11月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：103.29㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	実績報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	令和3年度より新規で指定管理者に選定されたにも関わらず計3ブロックを統括し、管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。市内どの児童クラブを利用して同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。			
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に保育中の実施事項について丁寧に記載されている。部屋は整理整頓されている。クラブのルールが子どもたちに分かりやすく掲示されている。アレルギー児への対応について、職員間で共有出来ている。			
	指定管理者に来年度期待すること	これまで他市の児童クラブの運営において培ってきたノウハウ等を十分に発揮し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。また、児童クラブ運営における市側への提出書類の内容や期限については今一度、会社内で共有し仕組み化していただきたい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	今回いただいた評価が今後さらに良くなる様、クラブと連携し運営を行う。提出書類においては内容、期限を社内全体で共有し、迅速に対応をする。また、学校とクラブ間でも日々の出来事等共有し、児童の安全安心な環境作りを行う。児童ひとりひとりにとって第二の家という大切な居場所として放課後児童クラブが在り続けられる様、運営を行う。加配児童と思われる児童が多い為学校からの帰り、外遊びに難がありますが事故にならないよう努めていく。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	コロナ禍ということもありなかなかイベント等の実施は厳しい状況が続くが、少しずつ地域の実情に応じた運営を実施できるよう取り組んでいる状況である。			

【施設番号 14-8】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市鶴嶺児童クラブ			
指定管理者名	特定非営利活動法人ちがさき学童保育の会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市浜之郷603 開設年月日：平成20年4月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：103.54㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	実績報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	A	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。どの児童クラブを利用していても同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。		
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に保育中の児童の様子について丁寧に記載されている。アレルギー児への対応について、職員で共有出来ている。室内は整理整頓されている。おやつ提供時の注意事項について、職員で共有できるよう工夫されている。		
	指定管理者に来年度期待すること	これまでの指定管理者としての経験を活かし、各種の法令や条例等を遵守し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	クラブ・ブロック毎で行っている行事等、良い点や課題、次回実施へ向けての改善点等、毎月の会議や全体会議で共有し、それぞれのクラブで活かすことが出来た。依然、新型コロナウイルス感染症が終息しない状況であるため、実施の仕方に工夫が必要な行事等も多くあるが、今後も引き続き児童が安全に楽しく過ごすことができるようクラブ運営に努めていく。 研修で学んだ3S(整理・整頓・清掃)をもとに、施設の衛生面、安全面を職員同士で確認し合う取り組みを行ってきた。児童が生活を送る公共の施設であることを意識し、今後も3S活動を徹底していく。 「安全管理マニュアル」をもとに年1回のリスクマネジメント研修を職員全員が受講し、緊急時にはマニュアルに則り迅速に対応できるよう確認と意識合わせを徹底してきた。今後も事故の再発・未然防止の為に事例検討を行い、更なる事故防止と発生後の迅速な判断・対応に努めていく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	法人の経済的な自立性が脆弱で、本部経費や予備費等の経費精算も不明瞭であるとの点について、管理部門の拠点が市内2箇所にあったが、費用や人力の効率的な運用のため1箇所に統合した。また、本部経費は、年間経費を各ブロックの規模に合わせた負担割合を按分している。 収支計画において、より一層の経費削減に努め、予備費の金額を抑えることでの、指定管理料の減額の提案も検討していただきたいとの点については、児童の出席予定に則した人員配置や複数の施設を合同で保育する等で、適切な運営を行い結果、指定管理料の精算に努めた。 年間の収支で利益が生じた場合に、法人としての社会貢献の一環として、施設や、児童、市民等への利益還元策の提案が欲しいとの点について、支援員については、市内在住者を優遇し、補助員については、シルバー人材センターを活用した。保育環境の整備には、市内の業者に発注する等、地元企業との繋がりを大事にした。また、児童の体験活動等に、サーフ90茅ヶ崎ライフセービングクラブ等地域の活動団体と積極的に交流を持ち、子どもたち自身が地域の一人として参加する機会を設けた。さらに、茅ヶ崎市で令和4年度4月開所の「放課後児童健全育成事業実施者募集」に応募・選定され、待機児童対策に貢献した。 コロナ禍や大規模災害等の緊急事態への対応力の強化が必要であるとの点については、感染症対策は、保護者・学校・担当課と情報共有を密にし、感染症が発生した際には速やかに情報収集し濃厚接触者の調査や施設の消毒を迅速に行った。職員の罹患に伴う不足が生じた時も、職員一丸となってサポートする体制を整えている。また、大規模災害等の備え、地震・火災の他、河川の氾濫・津波を想定した避難訓練を実施し、児童・職員共に災害発生時の心構えや動きを確認した。		

【施設番号 14-9】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）				
施設区分： 公募施設				
施設名	茅ヶ崎市梅田児童クラブ			
指定管理者名	特定非営利活動法人ちがさき学童保育の会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市茅ヶ崎1-5-46 開設年月日：平成17年4月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：97.44㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準		評価	確認資料等
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	実績報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	A	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。どの児童クラブを利用していても同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。		
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に保育中の子どもたちの様子について丁寧に記載されている。部屋は整理整頓されている。外遊びのルールや1日の流れ等が、子どもたちに分かりやすいよう掲示されている。		
	指定管理者に来年度期待すること	これまでの指定管理者としての経験を活かし、各種の法令や条例等を遵守し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	クラブ・ブロック毎で行っている行事等、良い点や課題、次回実施へ向けての改善点等、毎月の会議や全体会議で共有し、それぞれのクラブで活かすことが出来た。依然、新型コロナウイルス感染症が終息しない状況であるため、実施の仕方に工夫が必要な行事等も多くあるが、今後も引き続き児童が安全に楽しく過ごすことができるようクラブ運営に努めていく。 研修で学んだ3S(整理・整頓・清掃)をもとに、施設の衛生面、安全面を職員同士で確認し合う取り組みを行ってきた。児童が生活を送る公共の施設であることを意識し、今後も3S活動を徹底していく。 「安全管理マニュアル」をもとに年1回のリスクマネジメント研修を職員全員が受講し、緊急時にはマニュアルに則り迅速に対応できるよう確認と意識合わせを徹底してきた。今後も事故の再発・未然防止の為に事例検討を行い、更なる事故防止と発生後の迅速な判断・対応に努めていく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	法人の経済的な自立性が脆弱で、本部経費や予備費等の経費精算も不明瞭であるとの点について、管理部門の拠点が市内2箇所にあったが、費用や人力の効率的な運用のため1箇所に統合した。また、本部経費は、年間経費を各ブロックの規模に合わせた負担割合を按分している。 収支計画において、より一層の経費削減に努め、予備費の金額を抑えることでの、指定管理料の減額の提案も検討していただきたいとの点について、児童の出席予定に則した人員配置や複数の施設を合同で保育する等で、適切な運営を行い結果、指定管理料の精算に努めた。 年間の収支で利益が生じた場合に、法人としての社会貢献の一環として、施設や、児童、市民等への利益還元策の提案が欲しいとの点について、支援員については、市内在住者を優遇し、補助員については、シルバー人材センターを活用した。保育環境の整備には、市内の業者に発注する等、地元企業との繋がりを大事にした。また、児童の体験活動等に、サーフ90茅ヶ崎ライフセービングクラブ等地域の活動団体と積極的に交流を持ち、子どもたち自身が地域の一人として参加する機会を設けた。さらに、茅ヶ崎市で令和4年度4月開所の「放課後児童健全育成事業実施者募集」に応募・選定され、待機児童対策に貢献した。 コロナ禍や大規模災害等の緊急事態への対応力の強化が必要であるとの点について、感染症対策は、保護者・学校・担当課と情報共有を密にし、感染症が発生した際には速やかに情報収集し濃厚接触者の調査や施設の消毒を迅速に行った。職員の罹患に伴う不足が生じた時も、職員一丸となってサポートする体制を整えている。また、大規模災害の備え、地震・火災の他、河川の氾濫・津波を想定した避難訓練を実施し、児童・職員共に災害発生時の心構えや動きを確認した。		

【施設番号 14-10】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市梅田第2児童クラブ			
指定管理者名	特定非営利活動法人ちがさき学童保育の会			
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市茅ヶ崎1-5-32 開設年月日：平成22年4月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：104.84㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	実績報告書
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	A	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。どの児童クラブを利用しても同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。			
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に保育中の子どもたちの様子について丁寧に記載されている。部屋は整理整頓されている。			
	指定管理者に来年度期待すること	これまでの指定管理者としての経験を活かし、各種の法令や条例等を遵守し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	クラブ・ブロック毎で行っている行事等、良い点や課題、次回実施へ向けての改善点等、毎月の会議や全体会議で共有し、それぞれのクラブで活かすことが出来た。依然、新型コロナウイルス感染症が終息しない状況であるため、実施の仕方に工夫が必要な行事等も多くあるが、今後も引き続き児童が安全に楽しく過ごすことができるようクラブ運営に努めていく。 研修で学んだ3S(整理・整頓・清掃)をもとに、施設の衛生面、安全面を職員同士で確認し合う取り組みを行ってきた。児童が生活を送る公共の施設であることを意識し、今後も3S活動を徹底していく。 「安全管理マニュアル」をもとに年1回のリスクマネジメント研修を職員全員が受講し、緊急時にはマニュアルに則り迅速に対応できるよう確認と意識合わせを徹底してきた。今後も事故の再発・未然防止の為に事例検討を行い、更なる事故防止と発生後の迅速な判断・対応に努めていく。			
	指定管理者の意見	法人の経済的な自立性が脆弱で、本部経費や予備費等の経費精算も不明瞭であるとの点について、管理部門の拠点が市内2箇所にあったが、費用や人力の効率的な運用のため1箇所に統合した。また、本部経費は、年間経費を各ブロックの規模に合わせた負担割合を按分している。 収支計画において、より一層の経費削減に努め、予備費の金額を抑えることでの、指定管理料の減額の提案も検討していただきたいとの点について、児童の出席予定に則した人員配置や複数の施設を合同で保育する等で、適切な運営を行い結果、指定管理料の精算に努めた。 年間の収支で利益が生じた場合に、法人としての社会貢献の一環として、施設や、児童、市民等への利益還元策の提案が欲しいとの点について、支援員については、市内在住者を優遇し、補助員については、シルバー人材センターを活用した。保育環境の整備には、市内の業者に発注する等、地元企業との繋がりを大事にした。また、児童の体験活動等に、サーフ90茅ヶ崎ライフセイビングクラブ等地域の活動団体と積極的に交流を持ち、子どもたち自身が地域の一員として参加する機会を設けた。さらに、茅ヶ崎市で令和4年度4月開所の「放課後児童健全育成事業実施者募集」に応募・選定され、待機児童対策に貢献した。 コロナ禍や大規模災害等の緊急事態への対応力の強化が必要であるとの点について、感染症対策は、保護者・学校・担当課と情報共有を密にし、感染症が発生した際には速やかに情報収集し濃厚接触者の調査や施設の消毒を迅速に行った。職員の罹患に伴う不足が生じた時も、職員一丸となってサポートする体制を整えている。また、大規模災害の備え、地震・火災の他、河川の氾濫・津波を想定した避難訓練を実施し、児童・職員共に災害発生時の心構えや動きを確認した。			

【施設番号 14-11】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市今宿児童クラブ			
指定管理者名	特定非営利活動法人ちがさき学童保育の会			
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市今宿1225-1 開設年月日：平成17年4月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：56.70㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	実績報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	A	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。どの児童クラブを利用しても同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。			
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に保育中の児童の様子について丁寧に記載されている。クラブのルールについて、子どもたちに分かりやすく掲示されている。室内は整理整頓されている。			
	指定管理者に次年度期待すること	これまでの指定管理者としての経験を活かし、各種の法令や条例等を遵守し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	クラブ・ブロック毎で行っている行事等、良い点や課題、次回実施へ向けての改善点等、毎月の会議や全体会議で共有し、それぞれのクラブで活かすことが出来た。依然、新型コロナウイルス感染症が終息しない状況であるため、実施の仕方に工夫が必要な行事等も多くあるが、今後も引き続き児童が安全に楽しく過ごすことができるようクラブ運営に努めていく。 研修で学んだ3S(整理・整頓・清掃)をもとに、施設の衛生面、安全面を職員同士で確認し合う取り組みを行ってきた。児童が生活を送る公共の施設であることを意識し、今後も3S活動を徹底していく。 「安全管理マニュアル」をもとに年1回のリスクマネジメント研修を職員全員が受講し、緊急時にはマニュアルに則り迅速に対応できるよう確認と意識合わせを徹底してきた。今後も事故の再発・未然防止の為に事例検討を行い、更なる事故防止と発生後の迅速な判断・対応に努めていく。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	法人の経済的な自立性が脆弱で、本部経費や予備費等の経費精算も不明瞭であるとの点について、管理部門の拠点が市内2箇所にあったが、費用や人力の効率的な運用のため1箇所に統合した。また、本部経費は、年間経費を各ブロックの規模に合わせた負担割合を按分している。 収支計画において、より一層の経費削減に努め、予備費の金額を抑えることでの、指定管理料の減額の提案も検討していただきたいとの点について、児童の出席予定に則した人員配置や複数の施設を合同で保育する等で、適切な運営を行い結果、指定管理料の精算に努めた。 年間の収支で利益が生じた場合に、法人としての社会貢献の一環として、施設や、児童、市民等への利益還元策の提案が欲しいとの点について、支援員については、市内在住者を優遇し、補助員については、シルバー人材センターを活用した。保育環境の整備には、市内の業者に発注する等、地元企業との繋がりを大事にした。また、児童の体験活動等に、サーブ90茅ヶ崎ライフセンタークラブ等地域の活動団体と積極的に交流を持ち、子どもたち自身が地域の一員として参加する機会を設けた。さらに、茅ヶ崎市で令和4年度4月開所の「放課後児童健全育成事業実施者募集」に応募・選定され、待機児童対策に貢献した。 コロナ禍や大規模災害等の緊急事態への対応力の強化が必要であるとの点について、感染症対策は、保護者・学校・担当課と情報共有を密にし、感染症が発生した際には速やかに情報収集し濃厚接触者の調査や施設の消毒を迅速に行った。職員の罹患に伴う不足が生じた時も、職員一丸となってサポートする体制を整えている。また、大規模災害の備え、地震・火災の他、河川の氾濫・津波を想定した避難訓練を実施し、児童・職員共に災害発生時の心構えや動きを確認した。			

【施設番号 14-12】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市今宿鶴嶺児童クラブ			
指定管理者名	特定非営利活動法人ちがさき学童保育の会			
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市今宿1224-1 開設年月日：平成25年4月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：196.67㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準		評価	確認資料等
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	実績報告書
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	A	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。どの児童クラブを利用して同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。			
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に保育中の児童の様子について丁寧に記載されている。子どもたち自身で遊び方のルールを決め、周知を図るなど、工夫がなされている。室内は整理整頓されている。アレルギー児への対応について、職員間で共有出来ている。			
	指定管理者に来年度期待すること	これまでの指定管理者としての経験を活かし、各種の法令や条例等を遵守し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	クラブ・ブロック毎で行っている行事等、良い点や課題、次回実施へ向けての改善点等、毎月の会議や全体会議で共有し、それぞれのクラブで活かすことが出来た。依然、新型コロナウイルス感染症が終息しない状況であるため、実施の仕方に工夫が必要な行事等も多くあるが、今後も引き続き児童が安全に楽しく過ごすことができるようクラブ運営に努めていく。 研修で学んだ3S(整理・整頓・清掃)をもとに、施設の衛生面、安全面を職員同士で確認し合う取り組みを行ってきた。児童が生活を送る公共の施設であることを意識し、今後も3S活動を徹底していく。 「安全管理マニュアル」をもとに年1回のリスクマネジメント研修を職員全員が受講し、緊急時にはマニュアルに則り迅速に対応できるよう確認と意識合わせを徹底してきた。今後も事故の再発・未然防止の為に事例検討を行い、更なる事故防止と発生後の迅速な判断・対応に努めていく。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	法人の経済的な自立性が脆弱で、本部経費や予備費等の経費精算も不明瞭であるとの点について、管理部門の拠点が市内2箇所にあったが、費用や人力の効率的な運用のため1箇所に統合した。また、本部経費は、年間経費を各ブロックの規模に合わせた負担割合を按分している。 収支計画において、より一層の経費削減に努め、予備費の金額を抑えることでの、指定管理料の減額の提案も検討していただきたいとの点について、児童の出席予定に則した人員配置や複数の施設を合同で保育する等で、適切な運営を行い結果、指定管理料の精算に努めた。 年間の収支で利益が生じた場合に、法人としての社会貢献の一環として、施設や、児童、市民等への利益還元策の提案が欲しいとの点について、支援員については、市内在住者を優遇し、補助員については、シルバー人材センターを活用した。保育環境の整備には、市内の業者に発注する等、地元企業との繋がりを大事にした。また、児童の体験活動等に、サーフ90茅ヶ崎ライフセイビングクラブ等地域の活動団体と積極的に交流を持ち、子どもたち自身が地域の一員として参加する機会を設けた。さらに、茅ヶ崎市で令和4年度4月開所の「放課後児童健全育成事業実施者募集」に応募・選定され、待機児童対策に貢献した。 コロナ禍や大規模災害等の緊急事態への対応力の強化が必要であるとの点について、感染症対策は、保護者・学校・担当課と情報共有を密にし、感染症が発生した際には速やかに情報収集し濃厚接触者の調査や施設の消毒を迅速に行った。職員の罹患に伴う不足が生じた時も、職員一丸となってサポートする体制を整えている。また、大規模災害の備え、地震・火災の他、河川の氾濫・津波を想定した避難訓練を実施し、児童・職員共に災害発生時の心構えや動きを確認した。			

【施設番号 14-13】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市浜之郷児童クラブ			
指定管理者名	特定非営利活動法人ちがさき学童保育の会			
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市西久保180 開設年月日：平成16年4月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：99.97㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	実績報告書
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	A	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。どの児童クラブを利用して同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。		
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に加配児童の様子や引継ぎ事項等について丁寧に記載されている。1日のスケジュールが子どもたちに分かりやすいように掲示されている。室内は整理整頓されている。		
	指定管理者に来年度期待すること	これまでの指定管理者としての経験を活かし、各種の法令や条例等を遵守し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	クラブ・ブロック毎で行っている行事等、良い点や課題、次回実施へ向けての改善点等、毎月の会議や全体会議で共有し、それぞれのクラブで活かすことが出来た。依然、新型コロナウイルス感染症が終息しない状況であるため、実施の仕方に工夫が必要な行事等も多くあるが、今後も引き続き児童が安全に楽しく過ごすことができるようクラブ運営に努めていく。研修で学んだ3S(整理・整頓・清掃)をもとに、施設の衛生面、安全面を職員同士で確認し合う取り組みを行ってきた。児童が生活を送る公共の施設であることを意識し、今後も3S活動を徹底していく。「安全管理マニュアル」をもとに年1回のリスクマネジメント研修を職員全員が受講し、緊急時にはマニュアルに則り迅速に対応できるよう確認と意識合わせを徹底してきた。今後も事故の再発・未然防止の為に事例検討を行い、更なる事故防止と発生後の迅速な判断・対応に努めていく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	法人の経済的な自立性が脆弱で、本部経費や予備費等の経費精算も不明瞭であるとの点について、管理部門の拠点が市内2箇所にあったが、費用や人力の効率的な運用のため1箇所に統合した。また、本部経費は、年間経費を各ブロックの規模に合わせた負担割合を按分している。収支計画において、より一層の経費削減に努め、予備費の金額を抑えることでの、指定管理料の減額の提案も検討していただきたいとの点について、児童の出席予定に則した人員配置や複数の施設を合同で保育する等で、適切な運営を行い結果、指定管理料の精算に努めた。年間の収支で利益が生じた場合に、法人としての社会貢献の一環として、施設や、児童、市民等への利益還元策の提案が欲しいとの点について、支援員については、市内在住者を優遇し、補助員については、シルバー人材センターを活用した。保育環境の整備には、市内の業者に発注する等、地元企業との繋がりを大事にした。また、児童の体験活動等に、サーフ90茅ヶ崎ライフセイビングクラブ等地域の活動団体と積極的に交流を持ち、子どもたち自身が地域の一員として参加する機会を設けた。さらに、茅ヶ崎市で令和4年度4月開所の「放課後児童健全育成事業実施者募集」に応募・選定され、待機児童対策に貢献した。コロナ禍や大規模災害等の緊急事態への対応力の強化が必要であるとの点について、感染症対策は、保護者・学校・担当課と情報共有を密にし、感染症が発生した際には速やかに情報収集し濃厚接触者の調査や施設の消毒を迅速に行った。職員の罹患に伴う不足が生じた時も、職員一丸となってサポートする体制を整えている。また、大規模災害の備え、地震・火災の他、河川の氾濫・津波を想定した避難訓練を実施し、児童・職員共に災害発生時の心構えや動きを確認した。		

【施設番号 14-14】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156） 施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市茅ヶ崎児童クラブ			
指定管理者名	特定非営利活動法人ちがさき学童保育の会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市共恵1-10-70 開設年月日：平成19年4月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：99.37㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	実績報告書
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	A	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。どの児童クラブを利用して同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。		
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に加配児童の様子や保護者への申し送り事項など丁寧に記載されている。室内は整理整頓されている。クラブのルールが子どもたちに分かりやすく掲示されている。アレルギー児への対応について、職員間で共有出来ている。		
	指定管理者に次年度期待すること	これまでの指定管理者としての経験を活かし、各種の法令や条例等を遵守し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	クラブ・ブロック毎で行っている行事等、良い点や課題、次回実施へ向けての改善点等、毎月の会議や全体会議で共有し、それぞれのクラブで活かすことが出来た。依然、新型コロナウイルス感染症が終息しない状況であるため、実施の仕方に工夫が必要な行事等も多くあるが、今後も引き続き児童が安全に楽しく過ごすことができるようクラブ運営に努めていく。 研修で学んだ3S(整理・整頓・清掃)をもとに、施設の衛生面、安全面を職員同士で確認し合う取り組みを行ってきた。児童が生活を営む公共の施設であることを意識し、今後も3S活動を徹底していく。 「安全管理マニュアル」をもとに年1回のリスクマネジメント研修を職員全員が受講し、緊急時にはマニュアルに則り迅速に対応できるように確認と意識合わせを徹底してきた。今後も事故の再発・未然防止の為に事例検討を行い、更なる事故防止と発生後の迅速な判断・対応に努めていく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	法人の経済的な自立性が脆弱で、本部経費や予備費等の経費精算も不明瞭であるとの点について、管理部門の拠点が市内2箇所にあったが、費用や人力の効率的な運用のため1箇所に統合した。また、本部経費は、年間経費を各ブロックの規模に合わせた負担割合を按分している。 収支計画において、より一層の経費削減に努め、予備費の金額を抑えることでの、指定管理料の減額の提案も検討していただきたいとの点について、児童の出席予定に則した人員配置や複数の施設を合同で保育する等で、適切な運営を行い結果、指定管理料の精算に努めた。 年間の収支で利益が生じた場合に、法人としての社会貢献の一環として、施設や、児童、市民等への利益還元策の提案が欲しいとの点について、支援員については、市内在住者を優遇し、補助員については、シルバー人材センターを活用した。保育環境の整備には、市内の業者に発注する等、地元企業との繋がりを大事にした。また、児童の体験活動等に、サーフ90茅ヶ崎ライフセービングクラブ等地域の活動団体と積極的に交流を持ち、子どもたち自身が地域の一員として参加する機会を設けた。さらに、茅ヶ崎市で令和4年度4月開所の「放課後児童健全育成事業実施者募集」に応募・選定され、待機児童対策に貢献した。 コロナ禍や大規模災害等の緊急事態への対応力の強化が必要であるとの点について、感染症対策は、保護者・学校・担当課と情報共有を密にし、感染症が発生した際には速やかに情報収集し濃厚接触者の調査や施設の消毒を迅速に行った。職員の罹患に伴う不足が生じた時も、職員一丸となってサポートする体制を整えている。また、大規模災害の備え、地震・火災の他、河川の氾濫・津波を想定した避難訓練を実施し、児童・職員共に災害発生時の心構えや動きを確認した。		

【施設番号 14-15】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市西浜児童クラブ			
指定管理者名	特定非営利活動法人ちがさき学童保育の会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市南湖6-15-13 開設年月日：平成22年4月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：112.54㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	実績報告書
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	A	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。どの児童クラブを利用して同水準のサービスを提供していただけだと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。		
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に申し送り事項について、他の職員が見ても分かりやすいよう記載されている。室内は整理整頓されている。アレルギー児への対応について、提供する食器の色を変えるなど、職員間で共有出来ている。		
	指定管理者に次年度期待すること	これまでの指定管理者としての経験を活かし、各種の法令や条例等を遵守し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	クラブ・ブロック毎で行っている行事等、良い点や課題、次回実施へ向けての改善点等、毎月の会議や全体会議で共有し、それぞれのクラブで活かすことが出来た。依然、新型コロナウイルス感染症が終息しない状況であるため、実施の仕方に工夫が必要な行事等も多くあるが、今後も引き続き児童が安全に楽しく過ごすことができるようクラブ運営に努めていく。 研修で学んだ3S(整理・整頓・清掃)をもとに、施設の衛生面、安全面を職員同士で確認し合う取り組みを行ってきた。児童が生活を送る公共の施設であることを意識し、今後も3S活動を徹底していく。 「安全管理マニュアル」をもとに年1回のリスクマネジメント研修を職員全員が受講し、緊急時にはマニュアルに則り迅速に対応できるように確認と意識合わせを徹底してきた。今後も事故の再発・未然防止の為に事例検討を行い、更なる事故防止と発生後の迅速な判断・対応に努めていく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	法人の経済的な自立性が脆弱で、本部経費や予備費等の経費精算も不明瞭であるとの点について、管理部門の拠点が市内2箇所にあったが、費用や人力の効率的な運用のため1箇所に統合した。また、本部経費は、年間経費を各ブロックの規模に合わせた負担割合を按分している。 収支計画において、より一層の経費削減に努め、予備費の金額を抑えることでの、指定管理料の減額の提案も検討していただきたいとの点について、児童の出席予定に則した人員配置や複数の施設を合同で保育する等で、適切な運営を行い結果、指定管理料の精算に努めた。 年間の収支で利益が生じた場合に、法人としての社会貢献の一環として、施設や、児童、市民等への利益還元策の提案が欲しいとの点について、支援員については、市内在住者を優遇し、補助員については、シルバー人材センターを活用した。保育環境の整備には、市内の業者に発注する等、地元企業との繋がりを大事にした。また、児童の体験活動等に、サーフ90茅ヶ崎ライフセービングクラブ等地域の活動団体と積極的に交流を持ち、子どもたち自身が地域の一員として参加する機会を設けた。さらに、茅ヶ崎市で令和4年度4月開所の「放課後児童健全育成事業実施者募集」に応募・選定され、待機児童対策に貢献した。 コロナ禍や大規模災害等の緊急事態への対応力の強化が必要であるとの点について、感染症対策は、保護者・学校・担当課と情報共有を密にし、感染症が発生した際には速やかに情報収集し濃厚接触者の調査や施設の消毒を迅速に行った。職員の罹患に伴う不足が生じた時も、職員一丸となってサポートする体制を整えている。また大規模災害の備え、地震・火災の他、河川の氾濫・津波を想定した避難訓練を実施し、児童・職員共に災害発生時の心構えや動きを確認した。		

【施設番号 14-16】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分：公募施設		
施設名	茅ヶ崎市柳島児童クラブ			
指定管理者名	特定非営利活動法人ちがさき学童保育の会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市柳島2-6-54 開設年月日：平成21年4月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：99.37㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	実績報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	A	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。どの児童クラブを利用して同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。		
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に加配児童の保育中の様子について丁寧に記載されている。室内は整理整頓されている。アレルギー児への対応について、職員間で共有出来ている。学童のルールが子どもたちに分かりやすいよう掲示されている。		
	指定管理者に次年度期待すること	これまでの指定管理者としての経験を活かし、各種の法令や条例等を遵守し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	クラブ・ブロック毎で行っている行事等、良い点や課題、次回実施へ向けての改善点等、毎月の会議や全体会議で共有し、それぞれのクラブで活かすことが出来た。依然、新型コロナウイルス感染症が終息しない状況であるため、実施の仕方に工夫が必要な行事等も多くあるが、今後も引き続き児童が安全に楽しく過ごすことができるようクラブ運営に努めていく。 研修で学んだ3S(整理・整頓・清掃)をもとに、施設の衛生面、安全面を職員同士で確認し合う取り組みを行ってきた。児童が生活を送る公共の施設であることを意識し、今後も3S活動を徹底していく。 「安全管理マニュアル」をもとに年1回のリスクマネジメント研修を職員全員が受講し、緊急時にはマニュアルに則り迅速に対応できるように確認と意識合わせを徹底してきた。今後も事故の再発・未然防止の為に事例検討を行い、更なる事故防止と発生後の迅速な判断・対応に努めていく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	法人の経済的な自立性が脆弱で、本部経費や予備費等の経費精算も不明瞭であるとの点について、管理部門の拠点が市内2箇所にあったが、費用や人力の効率的な運用のため1箇所に統合した。また、本部経費は、年間経費を各ブロックの規模に合わせた負担割合を按分している。 収支計画において、より一層の経費削減に努め、予備費の金額を抑えることでの、指定管理料の減額の提案も検討していただきたいとの点について、児童の出席予定に則した人員配置や複数の施設を合同で保育する等で、適切な運営を行い結果、指定管理料の精算に努めた。 年間の収支で利益が生じた場合に、法人としての社会貢献の一環として、施設や、児童、市民等への利益還元策の提案が欲しいとの点について、支援員については、市内在住者を優遇し、補助員については、シルバー人材センターを活用した。保育環境の整備には、市内の業者に発注する等、地元企業との繋がりを大事にした。また、児童の体験活動等に、サーフ90茅ヶ崎ライフセービングクラブ等地域の活動団体と積極的に交流を持ち、子どもたち自身が地域の一員として参加する機会を設けた。さらに、茅ヶ崎市で令和4年度4月開所の「放課後児童健全育成事業実施者募集」に応募・選定され、待機児童対策に貢献した。 コロナ禍や大規模災害等の緊急事態への対応力の強化が必要であるとの点について、感染症対策は、保護者・学校・担当課と情報共有を密にし、感染症が発生した際には速やかに情報収集し濃厚接触者の調査や施設の消毒を迅速に行った。職員の罹患に伴う不足が生じた時も、職員一丸となってサポートする体制を整えている。また、大規模災害の備え、地震・火災の他、河川の氾濫・津波を想定した避難訓練を実施し、児童・職員共に災害発生時の心構えや動きを確認した。		

【施設番号 14-17】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市東海岸児童クラブ			
指定管理者名	特定非営利活動法人ちがさき学童保育の会			
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市東海岸南4-10-40 開設年月日：平成19年4月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：98.54㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
	連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	実績報告書
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	A	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。どの児童クラブを利用して同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。		
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に保育中の児童の様子について、詳しく丁寧に記載されている。室内は整理整頓されている。アレルギー児への対応について、提供する食器の色を変えるなど、職員間で共有出来ている。		
	指定管理者に次年度期待すること	これまでの指定管理者としての経験を活かし、各種の法令や条例等を遵守し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	クラブ・ブロック毎で行っている行事等、良い点や課題、次回実施へ向けての改善点等、毎月の会議や全体会議で共有し、それぞれのクラブで活かすことが出来た。依然、新型コロナウイルス感染症が終息しない状況であるため、実施の仕方に工夫が必要な行事等も多くあるが、今後も引き続き児童が安全に楽しく過ごすことができるようクラブ運営に努めていく。 研修で学んだ3S(整理・整頓・清掃)をもとに、施設の衛生面、安全面を職員同士で確認し合う取り組みを行ってきた。児童が生活を送る公共の施設であることを意識し、今後も3S活動を徹底していく。 「安全管理マニュアル」をもとに年1回のリスクマネジメント研修を職員全員が受講し、緊急時にはマニュアルに則り迅速に対応できるように確認と意識合わせを徹底してきた。今後も事故の再発・未然防止の為に事例検討を行い、更なる事故防止と発生後の迅速な判断・対応に努めていく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	法人の経済的な自立性が脆弱で、本部経費や予備費等の経費精算も不明瞭であるとの点について、管理部門の拠点が市内2箇所にあったが、費用や人力の効率的な運用のため1箇所に統合した。また、本部経費は、年間経費を各ブロックの規模に合わせた負担割合を按分している。 収支計画において、より一層の経費削減に努め、予備費の金額を抑えることでの、指定管理料の減額の提案も検討していただきたいとの点について、児童の出席予定に則した人員配置や複数の施設を合同で保育する等で、適切な運営を行い結果、指定管理料の精算に努めた。 年間の収支で利益が生じた場合に、法人としての社会貢献の一環として、施設や、児童、市民等への利益還元策の提案が欲しいとの点について、支援員については、市内在住者を優遇し、補助員については、シルバー人材センターを活用した。保育環境の整備には、市内の業者に発注する等、地元企業との繋がりを大事にした。また、児童の体験活動等に、サーフ90茅ヶ崎ライフセービングクラブ等地域の活動団体と積極的に交流を持ち、子どもたち自身が地域の一員として参加する機会を設けた。さらに、茅ヶ崎市で令和4年度4月開所の「放課後児童健全育成事業実施者募集」に応募・選定され、待機児童対策に貢献した。 コロナ禍や大規模災害等の緊急事態への対応力の強化が必要であるとの点について、感染症対策は、保護者・学校・担当課と情報共有を密にし、感染症が発生した際には速やかに情報収集し濃厚接触者の調査や施設の消毒を迅速に行った。職員の罹患に伴う不足が生じた時も、職員一丸となってサポートする体制を整えている。また、大規模災害の備え、地震・火災の他、河川の氾濫・津波を想定した避難訓練を実施し、児童・職員共に災害発生時の心構えや動きを確認した。		

【施設番号 14-18】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市松浪児童クラブ			
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社			
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市富士見町2-13 開設年月日：平成18年4月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：71.21㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	実績報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	令和3年度より新規で指定管理者に選定されたにも関わらず計3ブロックを統括し、管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。市内どの児童クラブを利用して同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。			
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に保育中の実施事項について丁寧に記載されている。 部屋は整理整頓されている。 アレルギー児への対応について、職員間で共有出来ている。			
	指定管理者に来年度期待すること	これまで他市の児童クラブの運営において培ってきたノウハウ等を十分に発揮し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。また、児童クラブ運営における市側への提出書類の内容や期限については今一度、会社内で共有し仕組み化していただきたい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	今回いただいた評価が今後さらに良くなる様、クラブと連携し運営を行う。 提出書類においては内容、期限を社内全体で共有し、迅速に対応をする。 また、学校とクラブ間でも日々の出来事等共有し、児童の安全安心な環境作りを行う。 児童ひとりひとりにとって第二の家という大切な居場所として放課後児童クラブが在り続けられる様、運営を行う。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	コロナ禍ということもありなかなかイベント等の実施は厳しい状況が続くが、少しずつ地域の実情に応じた運営を実施できるよう取り組んでいる状況。緑が浜児童クラブとの合同でのイベントを開催していきたい。			

【施設番号 14-19】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市松浪第2児童クラブ			
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市出口町12-5-13 開設年月日：平成25年4月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：133.53㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	実績報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	令和3年度より新規で指定管理者に選定されたにも関わらず計3ブロックを統括し、管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。市内での児童クラブを利用して同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。			
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に保育中の児童の様子について丁寧に記載されている。室内は整理整頓されている。アレルギー児への対応について、職員間で共有出来ている。			
	指定管理者に来年度期待すること	これまで他市の児童クラブの運営において培ってきたノウハウ等を十分に発揮し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。また、児童クラブ運営における市側への提出書類の内容や期限については今一度、会社内で共有し仕組み化していただきたい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	今回いただいた評価が今後さらに良くなる様、クラブと連携し運営を行う。提出書類においては内容、期限を社内全体で共有し、迅速に対応をする。また、学校とクラブ間でも日々の出来事等共有し、児童の安全安心な環境作りを行う。児童ひとりひとりにとって第二の家という大切な居場所として放課後児童クラブが在り続けられる様、運営を行う。安定を維持できるよう、さらに高みを目指して運営していく。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	コロナ禍ということもありなかなかイベント等の実施は厳しい状況が続くが、少しずつ地域の実情に応じた運営を実施できるよう取り組んでいる状況である。			

【施設番号 14-20】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市浜須賀児童クラブ			
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社			
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日 【5年】			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市白浜町3-24 開設年月日：平成17年4月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：78.00㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	実績報告書
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	令和3年度より新規で指定管理者に選定されたにも関わらず計3ブロックを統括し、管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。市内どの児童クラブを利用して同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。			
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に保育中の児童の様子について丁寧かつ詳細に記載されている。室内は整理整頓されている。アレルギー児への対応について、職員間で共有出来ている。保育の様子について、写真を施設入口に掲示するなど、保護者に分かりやすく周知されている。			
	指定管理者に来年度期待すること	これまで他市の児童クラブの運営において培ってきたノウハウ等を十分に発揮し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。また、児童クラブ運営における市側への提出書類の内容や期限については今一度、会社内で共有し仕組み化していただきたい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	今回いただいた評価が今後さらに良くなる様、クラブと連携し運営を行う。提出書類においては内容、期限を社内全体で共有し、迅速に対応をする。また、学校とクラブ間でも日々の出来事等共有し、児童の安全安心な環境作りを行う。児童ひとりひとりとって第二の家という大切な居場所として放課後児童クラブが在り続けられる様、運営を行う。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	コロナ禍ということもありなかなかイベント等の実施は厳しい状況が続くが、少しずつ地域の実情に応じた運営を実施できるよう取り組んでいる状況である。浜須賀第2児童クラブと合同での企画等を計画していきたい。			

【施設番号 14-21】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市浜須賀第2児童クラブ			
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社			
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市松ヶ丘2-11-16 開設年月日：平成25年4月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：117.58㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	実績報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	令和3年度より新規で指定管理者に選定されたにも関わらず計3ブロックを統括し、管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。市内どの児童クラブを利用して同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。			
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に保育中の児童の様子について丁寧に記載されている。室内は整理整頓されている。アレルギー児への対応について、職員間で共有出来ている。			
	指定管理者に来年度期待すること	これまで他市の児童クラブの運営において培ってきたノウハウ等を十分に発揮し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。また、児童クラブ運営における市側への提出書類の内容や期限については今一度、会社内で共有し仕組み化していただきたい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	今回いただいた評価が今後さらに良くなる様、クラブと連携し運営を行う。提出書類においては内容、期限を社内全体で共有し、迅速に対応をする。また、学校とクラブ間でも日々の出来事等共有し、児童の安全安心な環境作りを行う。児童ひとりひとりにとって第二の家という大切な居場所として放課後児童クラブが在り続けられる様、運営を行う。新しい環境で何か新しい取り組みができればと考えている。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	コロナ禍ということもありなかなかイベント等の実施は厳しい状況が続くが、少しずつ地域の実情に応じた運営を実施できるよう取り組んでいる状況である。浜須賀児童クラブと合同での企画等を計画していきたい。			

【施設番号 14-22】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市緑が浜児童クラブ			
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社			
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市富士見町2-13 開設年月日：平成18年4月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：67.94㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	実績報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	令和3年度より新規で指定管理者に選定されたにも関わらず計3ブロックを統括し、管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。市内どの児童クラブを利用して同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。			
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に保育中の実施事項について丁寧に記載されている。 部屋は整理整頓されている。 コロナ対策に関して、児童に分かりやすいよう掲示されている。			
	指定管理者に来年度期待すること	これまで他市の児童クラブの運営において培ってきたノウハウ等を十分に発揮し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。また、児童クラブ運営における市側への提出書類の内容や期限については今一度、会社内で共有し仕組み化していただきたい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	今回いただいた評価が今後さらに良くなる様、クラブと連携し運営を行う。 提出書類においては内容、期限を社内全体で共有し、迅速に対応をする。 また、学校とクラブ間でも日々の出来事等共有し、児童の安全安心な環境作りを行う。 児童ひとりひとりにとって第二の家という大切な居場所として放課後児童クラブが在り続けられる様、運営を行う。 昨年度の児童に対してのスタッフの対応等を考えながら取り組んでいく。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	コロナ禍ということもありなかなかイベント等の実施は厳しい状況が続くが、少しずつ地域の実情に応じた運営を実施できるよう取り組んでいる状況である。松浪児童クラブとの合同イベントを開催していきたい。			

【施設番号 14-23】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2156）		
		施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市汐見台児童クラブ			
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社			
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童の健全な育成を図るため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市汐見台3-11 開設年月日：平成22年4月1日 開館時間：小学校の授業終了時～19時（学校の休業日は8時から） 延床面積：134.36㎡			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	保育日誌 実績報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	実績報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	実績報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 コンピューター利用規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	保育日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	実績報告書
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	安全管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	実績報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地確認
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実績報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地確認 実績報告書
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地確認	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業者ホームページ	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	実績報告書
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	実績報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 実績報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	令和3年度より新規で指定管理者に選定されたにも関わらず計3ブロックを統括し、管理運営について事業計画に沿って計画的に実施されている。市内どの児童クラブを利用して同水準のサービスを提供していただけたと認識している。市との連絡調整を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際には、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制が整っている。			
	評価の中で特筆すべき事項	保育日誌は概ね適切に記載されている。特に保育中の児童の様子について丁寧に記載されている。室内は整理整頓されている。小学校との連携が良好に行われている様子が伺える。			
	指定管理者に来年度期待すること	これまで他市の児童クラブの運営において培ってきたノウハウ等を十分に発揮し、引き続き児童の放課後の居場所づくりに努めて欲しい。また、児童クラブ運営における市側への提出書類の内容や期限については今一度、会社内で共有し仕組み化していただきたい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	今回いただいた評価が今後さらに良くなる様、クラブと連携し運営を行う。提出書類においては内容、期限を社内全体で共有し、迅速に対応をする。また、学校とクラブ間でも日々の出来事等共有し、児童の安全安心な環境作りを行う。児童ひとりひとりにとって第二の家という大切な居場所として放課後児童クラブが在り続けられる様、運営を行う。児童に対しての行動、言動に注意し、反省を生かし今年度に取り組みしていく。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	コロナ禍ということもありなかなかイベント等の実施は厳しい状況が続くが、少しずつ地域の実情に応じた運営を実施できるよう取り組んでいる状況である。海側の立地を活かしたイベント開催も検討中。			

【施設番号 15】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課：こども育成部保育課（内線：2155）		
		施設区分：公募施設		
施設名	茅ヶ崎市立中海岸保育園			
指定管理者名	社会福祉法人西久保福祉会			
指定期間	令和2年4月1日～令和10年3月31日〔8年〕			
施設の設置目的	保育の提供			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市中海岸一丁目2番42号 開設年月日：平成24年4月1日 開館時間：午前7時から午後8時まで 敷地面積：1545.44㎡ 延床面積：1001.25㎡ 主な施設：茅ヶ崎市立中海岸保育園、茅ヶ崎市立中海岸保育園病後児保育室			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	安全管理マニュアル
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	ホームページ
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	事業報告書 実地
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	消防計画 安全管理マニュアル 事故防止等対応要綱	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	財務諸表	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	A	事業報告書 実地
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	事業報告書 実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
	言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B		

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書 実地
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	事業報告書 備品台帳 実地
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 実地
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支予算書 決算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	新型コロナウイルス感染症の影響がある中、施設消毒等の感染症対策を適切に行いながら、児童・職員の安全を第一に通常保育及び特別保育を実施している。市との連絡調整に関しても、各種報告書の提出や定期的な連絡等を適切に実施しており、施設の修繕などの課題が発生した際にも、必要に応じて市と連携しながら迅速に対応できる体制を整えている。 また、地域子育て支援についても、ツイッターを活用し、随時最新の情報を発信するなど、感染状況に応じて臨機応変に対応している。 以上のことから、事業計画に対し適切に管理・運営されていると言える。		
	評価の中で特筆すべき事項	第5波、第6波と、たびたび感染拡大の波を迎えたが、保育課と密に情報共有を図り、入念な感染症対策や、職員及び保護者への情報の周知を図ることにより、安定した園運営をしていただいた。		
	指定管理者に来年度期待すること	中海岸保育園は、令和3年度に節目の10年目を迎え記念誌も作成いただいた。これからも末永く続いていく施設となるよう、これまでの指定管理者としての経験を活かし、各種の法令や条例等を遵守し、より一層、地域の皆様に愛される保育園として運営していただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	引き続き、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に振り回される1年であったが、社会的弱者である乳幼児をお預かりする保育所として、また、共働きの世帯を支える社会インフラとしての保育所として、責務を実感することが多かった。 行事等も縮小や中止などせざるを得ず、分かっているが行き場の無い保護者の不満が一部、保育所に向けられたこともあった。 感染症対策を出来る限り行い、保護者への説明も丁寧に行うなど行ってきたが、いつ施設内感染が起きてもお不思議でない状況であった。引き続き感染対策をしっかりと行い、所管課と連携を取りながら未来ある子ども達が安全で安心して生活できるようにしていく。 また、同様に感染症の影響により園庭の開放や独自で行っている子育て支援事業が実施出来なかったが、収束後には、引き続きしっかりと行って参りたい。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	—		

【施設番号 16】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課： 経済部雇用労働課（内線：2371）		
		施設区分： 公営施設		
施設名	茅ヶ崎市勤労市民会館			
指定管理者名	アクティオ株式会社			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	働く市民の福祉の増進と文化の振興を図るため			
施設の概要	所在地：神奈川県茅ヶ崎市新栄町13番32号 開設年月日：平成7年5月1日 開館時間：午前9時から午後10時 敷地面積：541.16㎡ 延床面積：1656.86㎡ 主な施設：事務所、貸室、ふるさとハローワーク、児童クラブ			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書 出勤状況表
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書 建物維持管理点検（報告）関係
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書 建物維持管理点検（報告）関係
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護マニュアル 施設個人情報管理台帳
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開マニュアル ホームページ
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	職員業務日報 受付スタッフ日報
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	災害対策応急マニュアル 管理業務緊急連絡表	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	財務諸表	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書 施設巡回チェック表 ヒヤリハット記録
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地 接遇マニュアル 基礎研修マニュアル
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	実地 事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地 C-EMS実施計画書
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 クレーム対応報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート結果報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	勤労市民会館利用状況表	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 収支予算書 事業計画書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置期間は閉館時間の短縮や利用の自粛を促したこともあり、貸館の利用者数・稼働率はコロナ前と比較し減少しているが、就労困難な状況下で利用者に寄り添い就労支援事業を実施していた。より就職に繋がるよう実践的な講座内容に臨機応変に変更したり、オンライン講座を開講するなど、工夫をしながら事業を実施した。 成果指標としては、指定管理者が企画実施する講座について「①受講率65%以上」、「②受講者アンケートの『大変満足』『やや満足』の割合が80%以上」を設定しているが、①は74.5%、②は85.7%であった。新型コロナウイルス感染症の影響下で、十分な成果が上がったことを評価する。		
	評価の中で特筆すべき事項	新型コロナウイルス感染症の影響下で、相談事業、利用料金還付作業等、利用者に対してスタッフ一丸となって誠心誠意対応していた。 館内の消毒・清掃・換気といった感染防止対策をしっかりとして利用者が安心して利用できる運営ができた。 また、新型コロナ対策のために市が示した様々な方針に適切・迅速に対応するとともに、市民に対して分かりやすく施設の運営方針を周知したことにより、苦情・混乱がなかった。		
	指定管理者に来年度期待すること	今後は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策とともに、制限の緩和についても対応が求められるが、引き続き市と連携を強化しながら適切な対応に努めていただきたい。 また、社会経済情勢の変化を踏まえた就職につながる実践的な講座の実施や、オンライン形式での講座の実施など、引き続きWithコロナ、Afterコロナに対応した事業内容を期待する。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	新型コロナウイルスは変異株が出現し、第7波の感染拡大のスピードが予想以上に早く危惧している。こうした中、令和3年6月以前に実施した利用制限はできるだけ控え、これまで以上に感染拡大防止に努めていきたい。 就職支援事業については、これまで講座のPRには「広報ちがさき」が中心であったが、訴求媒体を増やす意味でホームページの改編に踏み切りたい。サイトオープンから時間が経過してデザイン、内容が古くなってきたのも理由で、タイトルやタグ、コンテンツの質を向上して再構成することでユーザーファーストのホームページに仕立てることが狙いである。また、広い年代に向けてテキストや画像が小さくスマートフォンでの閲覧が不向きだったのを大幅に改善することを目標としている。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	利用者数・利用件数増加に向けた努力と具体策について、コロナ禍で施設の利用制限をしていたため、イベント等を控えていた。これからは若い世代と、仕事と子育ての両立を目指す働くママの就労を支援する事業やイベントを復活させて、感染抑制と社会経済活動の両立化の実現を目指していく。 本社と現場との連携・バックアップ体制の具現化について、7月開催予定の東日本館長会（年3回）では、「良い運営ってなんだろう？」と題した研修をオンライン形式で開催、利用者が求める理想的な施設運営をグループワークで解き、施設長間で共有する。また、各施設に持ち帰り職員・スタッフで運用の糧にする。前述のホームページ内容の充実等、DX（デジタルトランスフォーメーション）取り組みについては、施設側だけでは難しく2階ふるさとハローワークでのモニターディスプレイによる施設、事業案内も将来的にはデジタルサイネージに結実させたい。 茅ヶ崎市の個別事情を把握し、特色ある取り組みを行うことについて、藤沢の有効求人倍率0.70（1月）であるように職住近接は難しく神奈川県民と言われるまでになっている。商工会議所、シルバー人材センター等と協同したり、所管課が主催する合同企業説明会のPRを含め地域連携を図り、地元企業への就職支援を行う。		

【施設番号 17-1】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課： 福祉部高齢福祉介護課（内線：2122・2123） 施設区分： 非公募施設		
施設名	しおさい南湖			
指定管理者名	南湖地区まちぢから協議会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	老人の教養の向上及び心身の健康増進を図ること。			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市南湖六丁目15番13号 開設年月日：平成22年4月 開館時間：午前9時00分から午後9時まで（7月から9月までにあっては、午後9時30分まで） 敷地面積：1,300㎡（併設施設含む） 延床面積：459㎡（老人憩の家分） 主な施設：大広間A、大広間B、大広間C、畳スペース、エントランスホール			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	A	事業報告書 定期実地調査
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業計画書 事業報告書 定期実地調査
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書 定期実地調査
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	地域施設管理運営委員会個人情報保護要綱 定期実地調査
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	地域施設管理運営委員会情報公開要綱 定期実地調査
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	月次報告書 定期実地調査
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	防災マニュアル 定期実地調査	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書 定期実地調査	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	月次報告書 定期実地調査
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書 定期実地調査
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業報告書 定期実地調査
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	月次報告書 定期実地調査
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	A	事業報告書 定期実地調査	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	月次報告書 事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	事業報告書 収支決算書 定期実地調査
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	施設の管理運営における実施体制、管理運営の内容・水準、収支等について、各種法令等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。施設の管理運営に関する業務は、老人憩の家の設置目的である高齢者の教養の向上及び心身の健康増進を図ることの役割を果たしており、市が求める水準を満たしている。 新型コロナウイルス感染防止対策等の対応が求められるなか、市と連携して利用者ガイドラインの作成や新型コロナウイルス感染防止対策の徹底に努め、利用者や運営に影響を及ぼすことなく管理運営を行うことができた。 利用者対応として、館内に意見箱を設置した他、利用報告書に意見欄を設け、その意見について毎月定例的に運営委員会と事務局会議を開催し、意見や要望等の検証を行い、利用者の利便性向上に努めている。 ※「2内容・水準」における事業運営について、自主事業を企画事業に読み替えて評価を行った。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の防止という観点から、企画事業については感染防止対策を実施して行った場合は評価している。		
	評価の中で特筆すべき事項	新型コロナウイルス感染防止対策として、利用ガイドラインの変更を行い、麻雀卓を減らす等の工夫や、換気や消毒等の対策を継続して講じ、利用者が安心して利用できる取組を行っている。 事業運営では、しおさいサロンを開催し、創立10周年の記念誌を手作りで作成した。また、利用者が見やすいホームページの作成にも取り組んでいる。新たな取組としては、ソフトバンクから講師を招いてスマホ講座を開催し、高齢者がデジタル社会に対応できるような支援活動を行った。 人員体制に関しては、事業計画通りに採用活動を行い、研修を実施している。		
	指定管理者に来年度期待すること	新たな交流事業の検討はもちろんのこと、令和3年度に取組んだ事業（スマホ講座）の継続等、高齢者がデジタル社会に対応ができるような取組や、利用率拡大につながる取組を続けていただきたい。引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、高齢者の教養の向上及び心身の健康増進につながる取組みを期待する。 また、茅ヶ崎市の環境マネジメントシステムである「C-EMS」について、施設で実現可能な施策を検討いただき、より一層環境に配慮した管理運営を期待する。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	親子ふれあいの広場開催の検討について、南湖地区は伝統文化が豊富なため、その伝統を経験豊かな高齢者（老人会）等の皆さんが、次世代を担う親子に継承する機会を設け、家族の大切さを含め世代間の交流事業として検討する。 フレイル対策の事業取り組みの検討について、地域高齢者の体力維持の取り組みとして、フレイル対策に取り組み、定例化した事業として検討する。 スマホ講座の定例化の検討について、スマホ講座を定例化し、使い方交流によりデジタル難民を解消し、地域高齢者の社会参加の促進を図る事業として検討する。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	新たに南湖地区まちから協議会が指定管理者となり、関係各所に周知を図るため、組織図を作成した。 利用者拡大の取り組みは、コロナ感染対策で利用規制と自粛もあり具体化が難しかった中、スマホ講座を2回開催と定例化の足掛かりが出来た。他の事業は、コロナ感染の状況をみて企画事業の開催を柔軟に対応していく。 利用者へ感染対策の徹底した周知を継続していく。		

【施設番号 17-2】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課： 福祉部高齢福祉介護課（内線：2122・2123） 施設区分： 非公募施設		
施設名	萩園いこいの里			
指定管理者名	社会福祉法人翔の会			
指定期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日〔1年〕			
施設の設置目的	老人の教養の向上及び心身の健康増進を図ること。			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市萩園1215番地4 開設年月日：平成13年12月 開館時間：午前9時から午後9時まで（7月から9月までにあっては、午後9時30分まで） 敷地面積：1,199㎡ 延床面積：907㎡（老人憩の家分） 主な施設：大広間、和室、会議室			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書 定期実地調査
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	A	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	定期実地調査
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	定期実地調査 月次報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報に関する基本規程 定期実地調査
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	社会福祉法人翔の会 情報公開取扱規程 定期実地調査
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	事業報告書 定期実地調査 月次報告書
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	事業報告書 定期実地調査 月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	社会福祉法人翔の会 防災管理 規定 定期実地調査	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	事業報告書 定期実地調査	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	定期実地調査 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	事業報告書 定期実地調査 月次報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書 定期実地調査 月次報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	事業報告書 定期実地調査 月次報告書
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	定期実地調査	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	定期実地調査 刊行物、HP	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	定期実地調査 月次報告書
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	A	事業報告書 定期実地調査 ヒアリング		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書 定期実地調査 月次報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	事業報告書 定期実地調査	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	施設の管理運営における実施体制、管理運営の内容・水準、収支等について、各種法令等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。施設の管理運営に関する業務は、老人憩いの家の設置目的である高齢者の教養の向上及び心身の健康増進を図ることの役割を果たしており、市が求める水準を満たしている。 新型コロナウイルス感染防止対策等の対応が求められるなか、市と連携して利用者ガイドラインの更新や新型コロナウイルス感染防止対策の徹底に努め、利用者や運営に影響を及ぼすことなく管理運営を行うことができた。地域との関係性が出来ており、高齢者のみならず、子どもまで幅広い世代が集う場となっている。新型コロナウイルス感染拡大のため、貸し部屋の縮小や活動の自粛の影響により稼働率が減少しているが、感染状況に応じて利用者ガイドラインを見直し、活動の緩和をすることで徐々に利用者を増やすことができた。 ※「2内容・水準」における事業運営について、自主事業を企画事業に読み替えて評価を行った。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の防止という観点から、企画事業については感染防止対策を実施して行った場合は評価している。			
	評価の中で特筆すべき事項	施設の管理運営だけでなく、地域で起こる様々な相談や問題が持ち込まれるなか、適宜地域の関係者と連携・協力しながら臨機応変に対応している。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、人生100年時代に因んだ講座やボール・ウォーキングなどの事業を開催し、地域住民との関わりを深め、高齢者の教養の向上及び心身の健康増進に繋げることができた。そのなかでも「筋トレ・ストレッチ体験講座」は好評であり、開催後に2つのサークルが立ち上がり、萩園いこいの里の貸し部屋の利用につながった。 令和3年度においても、コロナ禍のため利用者懇談会は開催できなかったが、利用者アンケートを年2回郵送にて実施し、利用者の声を聞くことができた。また、利用者アンケートの結果や事業内容などを掲載した「萩園いこいの里通信」を年2回発行し、利用者に運営内容を周知することができた。			
	指定管理者に来年度期待すること	引き続き地域の関係者と連携・協力しながら、幅広い年齢層の地域住民が利用する施設の特性を踏まえ、高齢者が社会参加に繋がるような管理運営を期待する。貸し部屋についても、利用案内や広報などで周知し、利用者が気軽に利用できるような運営に努めていただきたい。引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、高齢者の教養の向上及び心身の健康増進につながる取り組みを期待する。 また、茅ヶ崎市の環境マネジメントシステムである「C-EMS」について、施設で実現可能な施策を検討いただき、より一層環境に配慮した管理運営を期待する。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	利用者のニーズを探りながら事業の充実を図っていきたいと思っている。高齢者の健康志向のみならず知的欲求や時代背景から「楽しむ」事のニーズは大きいように思える。今後これらのことを考慮して講座の開設を考えていきたい。 施設の利用案内などは、「萩園いこいの里通信」や利用者懇談会で周知していく。 「C-EMS」に関しては、節電等で利用者にも協力してもらいつつ、施設全体で努力をしていく。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	年2回の建物維持管理点検だけでなく、日常的にこまめな点検を行い職員が修理を行う。またそれ以外の故障、修理等に関しては速やかに担当課に連絡を取り対応を考える。 Withコロナ時代「新しい生活様式」を見据え、サービスや対応を行っている。今後の感染状況にもよるが、施設を利用する方が高齢者の方が多いという特性を考慮し、負担感がなく利用して頂きやすい方法を検討していきたい。			

【施設番号 17-3】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課： 福祉部高齢福祉介護課（内線：2122・2123） 施設区分： 非公募施設		
施設名	浜須賀会館			
指定管理者名	浜須賀会館管理運営委員会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	老人の教養の向上及び心身の健康増進を図ること。			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市松が丘二丁目8番63号 開設年月日：昭和59年5月2日 開館時間：午前9時から午後9時まで（7月から9月までにあつては、午後9時30分まで） 敷地面積：1,321.50㎡（併設施設含む） 延床面積：764.80㎡（併設施設含む） 主な施設：大広間、和室			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書 定期実地調査
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業計画書 事業報告書 定期実地調査
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書 定期実地調査
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	事業報告書 個人情報保護規定 定期実地調査
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定 定期実地調査
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	月次報告書 定期実地調査
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	事業報告書 緊急時マニュアル 定期実地調査	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書 定期実地調査	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	事業報告書 定期実地調査
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	A	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	定期実地調査
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	定期実地調査
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	事業報告書 定期実地調査	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 定期実地調査
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	施設の管理運営における実施体制、管理運営の内容・水準、収支等について、各種法令等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。施設の管理運営に関する業務は、老人憩の家を設置目的である高齢者の教養の向上及び心身の健康増進を図ることの役割を果たしており、市が求める水準を満たしている。 新型コロナウイルス感染防止対策等の対応が求められるなか、市と連携して利用者ガイドラインの更新や新型コロナウイルス感染防止対策の徹底に努め、利用者や運営に影響を及ぼすことなく管理運営を行うことができた。 施設の維持管理については、日常および定期点検が実施されており、適切に管理がされている。なお、令和3年4月から土足化を実施しており、よりよい運用を検討しながら利用者サービス向上に努めていただいた。 ※「2内容・水準」における事業運営について、自主事業を企画事業に読み替えて評価を行った。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の防止という観点から、企画事業については感染防止対策を実施して行った場合は評価している。		
	評価の中で特筆すべき事項	新型コロナウイルス感染防止対策として、利用ガイドラインの作成、入口での手指消毒や検温、利用した部屋における消毒の協力依頼等を実施し、施設を運営している。なお、コロナ禍においても人数制限や新型コロナウイルス感染防止対策を行い、シニアエアロビクス教室や中高齢者のためのヨガ教室を継続し、高齢者の教養の向上及び心身の健康増進を図る役割を果たした。また、入館時の対応をスムーズにするために入口に検温消毒ディスペンサーを設置したり、土足化による保守管理として玄関マットやモップをリース契約する等、利用者に対して設備、備品等を適切に提供したことは特筆すべき事項である。		
	指定管理者に来年度期待すること	高齢化により登録団体と団体内の登録者数が減少しているため、利用者の確保が課題となっている。指定管理者が実施した令和3年度のアンケート調査では女性や70歳代の利用者が多いという結果となっているため、その結果をふまえ、幅広い方が参加したくなるような企画事業や工夫を期待する。これまでに培った運営の手法や地域の輪を最大限に生かしながら、利用者のニーズを踏まえた企画事業を実施していただきたい。 そして、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、高齢者の教養の向上及び心身の健康増進につながる取り組みを期待する。 また、茅ヶ崎市の環境マネジメントシステムである「C-EMS」について、施設で実現可能な施策を検討いただき、より一層環境に配慮した管理運営を期待する。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	老人憩の家として40年になろうとしている今日、開所時の潇洒な建物にも痛みが生じている。和室大広間は、和量の和室で高齢者に優しく各種事業にマッチングした利用しやすさがある。しかし、利用者の高齢化は、畳敷座布団に座位することは困難となり簡易型の和室椅子を使用している。これも着座する際の膝・腰に負担がかかり、周囲の補助を必要としている。畳に折りたたみ椅子を使用する等の工夫を検討する。 コロナ禍においてもシニアエアロビクスやヨガ教室の評価をいただいた。畳敷を利用する場合は、履き物を保管する棚が必要となるのでコロナ禍が落ち着き多数の利用者で賑わう時迄に、整備する。和室について、健康麻雀、第二カラオケなどで利用頻度は低調である。ロビーの一角を囲碁コーナーとしているが、このコーナーを和室に移し、後にテーブルと椅子を配置した本来のロビー機能に戻すことも検討する。築40年の建物の今後についても、地域住民の声を聞き今後の方向性について検討する。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	コロナ禍においても、より効果的な事業実施手法については、高齢者の健康予防を中心に要支援1・2を中心に高齢者体操、高齢者エアロビクスやヨガ教室のメニューや回数の増加を図っていく。利用者のニーズの把握は、アンケート方式により続けていくが、広く地域の皆さんのご協力を得て高齢者が憩の家に期待することのアンケートも行っていく。また老人いこいの家と地域集会所との目的の違いを鑑み、事業計画や予算について独立性を持たせていく。		

【施設番号 17-4】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課： 福祉部高齢福祉介護課（内線：2122、2123） 施設区分： 非公募施設		
施設名	皆楽荘			
指定管理者名	小出地区コミュニティセンター管理運営委員会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	老人の教養の向上及び心身の健康増進を図ること。			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市堤1928番地1 開設年月日：昭和54年3月開館 開館時間：午前9時から午後9時まで（7月から9月までにあつては、午後9時30分まで） 敷地面積：1,311㎡（併設施設含む） 延床面積：330㎡（老人憩の家分） 主な施設：大広間、和室			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書 定期実地調査
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業計画書 事業報告書 定期実地調査
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書 定期実地調査
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	地域施設管理運営委員会個人情報保護要綱 定期実地調査
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	地域施設管理運営委員会情報公開要綱 定期実地調査
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	月次報告書 定期実地調査
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	防災マニュアル 定期実地調査	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書 定期実地調査	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	月次報告書 定期実地調査
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	-	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵庫・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書 定期実地調査
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業報告書 定期実地調査
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	月次報告書 定期実地調査
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	事業報告書 定期実地調査	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	A	月次報告書 事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	事業報告書 収支決算書 定期実地調査
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	施設の管理運営における実施体制、管理運営の内容・水準、収支等について、各種法令等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。施設の管理運営に関する業務は、老人憩の家の設置目的である高齢者の教養の向上及び心身の健康増進を図ることの役割を果たしており、市が求める水準を満たしている。 新型コロナウイルス感染防止対策等の対応が求められるなか、市と連携して利用者ガイドラインの作成や新型コロナウイルス感染防止対策の徹底に努め、利用者や運営に影響を及ぼすことなく管理運営を行うことができた。 利用者から意見を聴取して運営に反映させるため、アンケートを実施した他、毎月の抽選会時に立ち合い、利用団体の意見聴取に努めた。アンケートの結果も良好であり、特に事務員に対する感謝の言葉が多かった。 ※「2内容・水準」における事業運営について、自主事業を企画事業に読み替えて評価を行った。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の防止という観点から、企画事業については感染防止対策を実施して行った場合は評価している。		
	評価の中で特筆すべき事項	新型コロナウイルス感染防止対策として新たに自動検温器を導入し、利用に一部制限をかけるなど、感染症対策を徹底し、管理運営を行っている。 予約なしで利用できる部屋の設置が施設へ足を運ぶことにつながり、コロナ禍の状況の中、年間を通してどの部屋も稼働率が高水準である。 利用者からトイレの異臭について苦情があった際はすぐに対応し、清掃業者と新たに契約するなどの改善を図り、利用者対応に努めた。屋外管理として、倒木の危険のある樹木の伐採・剪定を行い、未然の事故防止対策を講じ、利用者の安全を確保した。		
	指定管理者に来年度期待すること	コロナ禍でも開催できる事業を検討し、幅広い世代が交流できる事業の実施を期待する。また、施設の老朽化が著しいため、引き続き予防修繕や早期対応に努めていただきたい。 稼働率が高水準であることから、安心して利用できるよう、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、高齢者の教養の向上及び心身の健康増進につながる取り組みを期待する。 また、茅ヶ崎市の環境マネジメントシステムである「C-EMS」について、施設で実現可能な施策を検討いただき、より一層環境に配慮した管理運営を期待する。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	引き続き新型コロナ対策を継続しながら、利用者の利便性向上を計り、利用率の向上を計りたい。令和3年度は新型コロナの影響で企画事業がほとんど出来なかったが、令和4年度は利用制限が緩和されることが予想され、従来実施していた、囲碁将棋教室、グランドゴルフの他に新たに取り組んでいるモルック（新競技）を軌道に乗せ、老人と子供の交流をさらに深めたい。 施設の老朽化が進む中、常に建物の点検に気を配り、施設の不具合や危険場所の早期発見に努め、事故の未然防止や安全確保を計っている。稼働率向上のため、空き部屋、空き時間の情報を積極的に発信し、利用者の満足度向上を継続実施している。緊急時対応マニュアルの作成、見直しを適時行い、緊急事態の迅速に対応できるように努めている。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	-		

【施設番号 18】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：福祉部高齢福祉介護課（内線：2122・2123） 施設区分：公募施設		
施設名	茅ヶ崎市老人福祉センター			
指定管理者名	社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉協議会			
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日〔5年〕			
施設の設置目的	老人の教養の向上及び心身の健康増進を図ること。			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市新栄町13番44号 開設年月日：昭和58年1月8日 開館時間：午前9時から午後9時まで（7月から9月までにあつては、午後9時30分まで） 敷地面積：1,637㎡（農協ビル全体） 延床面積：591㎡（茅ヶ崎市老人福祉センター分） 主な施設：大広間、第一和室、第二和室、第一会議室、第二会議室、第三会議室			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書 定期実地調査
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業計画書 事業報告書 定期実地調査
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書 定期実地調査
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規程 個人情報保護に関する方針 定期実地調査
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	特定個人情報取扱規程 情報の公開に関する規程 定期実地調査
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	月次報告書 定期実地調査
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時対応マニュアル 定期実地調査	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書 定期実地調査	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	月次報告書 定期実地調査
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
	言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B		

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書 定期実地調査
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	事業報告書 ホームページ 定期実地調査
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	月次報告書 定期実地調査
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	事業報告書 定期実地調査	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	A	月次報告書 事業報告書 定期実地調査	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	事業報告書 収支決算書 定期実地調査
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	施設の管理運営における実施体制、管理運営の内容・水準、収支等について、各種法令等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。施設の管理運営に関する業務は、老人福祉センターの設置目的である高齢者の教養の向上及び心身の健康増進を図ることの役割を果たしており、市が求める水準を満たしている。 新型コロナウイルス感染防止対策等の対応が求められるなか、市と連携して利用者ガイドラインの更新や新型コロナウイルス感染防止対策の徹底に努め、利用者や運営に影響を及ぼすことなく管理運営を行うことができた。 また、令和2年度に作成した「利用団体ガイド」「会員募集ガイドブック」の内容を更新し、情報を掲示する等、利用者サービス向上に努めている。 ※「2内容・水準」における事業運営について、自主事業を企画事業に読み替えて評価を行った。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の防止という観点から、企画事業については感染防止対策を実施して行った場合は評価している。		
	評価の中で特筆すべき事項	新型コロナウイルス感染防止対策として、利用ガイドラインの周知、飛沫拡散防止のためのビニールシート取付け、マスク着用と換気状況の巡回確認等を実施し、施設を運営している。令和3年度は、3月に計画していた企画事業「元気に歩いて郷土の歴史を再発見」をまん延防止等重点措置発令により中止としたが、参加予定者に迅速に中止の連絡をするともに、当日配布資料を郵送する等、適切な対応をしていただいた。		
	指定管理者に来年度期待すること	駅前の立地から多くの高齢者が利用する施設であるため、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を実施し、安心安全な施設の管理運営を期待する。運営にあたっては、コロナ禍でも実施可能な企画事業の実施方法を検討し、企画事業の実施をお願いしたい。なお、利用者アンケート調査を工夫する等、利用者ニーズの把握に努めるとともに、アンケートの調査結果をよりよい運営のために反映していただきたい。 そして、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、高齢者の教養の向上及び心身の健康増進につながる取り組みを期待する。 また、茅ヶ崎市の環境マネジメントシステムである「C-EMS」について、施設で実現可能な施策を検討いただき、より一層環境に配慮した管理運営を期待する。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策についてはガイドラインに沿って進めているところであるが、より安心安全な管理運営のために、施設としての安全管理対策を講じていく。また、感染拡大防止対策については、利用者の協力を仰がなければ進まないところも大きいことから、館内掲示等でより効果的な周知・広報に努めるほか、利用者の意見を聞く機会を設けて、利用者ニーズの把握にも努めていきたい。企画事業については、高齢者の教養の向上及び心身の健康増進のため、コロナ禍でも実施できるような事業を検討していく。 C-EMSの施策については施設の特性上実現可能な施策は少ないが、冷温水発生機については、空調停止時間より30分程度早く運転を停止（循環ポンプは運転したまま）し、配管内の冷温水を有効利用していると聞いている。その他、使っていない照明は消すことを徹底する等、より一層環境に配慮した管理運営に努めていきたい。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	全ての企画事業について、高齢者だけでなく他の年代の人々に参加してもらうよう取り組みを進めているが、令和2年度及び3年度については、参加型の企画事業を実施することができなかった。 安全管理については、緊急時の連絡体制を確保し、マニュアルの整備及び運用についても管理職員と常時話し合いを行っている。令和2年度及び3年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に注力した。 日常業務の中で各管理職員が把握した利用者からの意見等、また提案箱に寄せられた利用者からの意見等に対しては、管理職員会議で共有し、利用者対応の向上に努めている。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策下における利用受付のあり方についてアンケートを行い、その結果に基づき、令和4年度は公共施設予約システムの利用方法について利用者に周知する等の対応をしているところである。 夜間利用については、昼間より予約を取りやすいことを周知する等、広報に努めているところであるが、新型コロナウイルス感染症の影響で夜間の活動自体が少なくなっている感があり、対応は難しいと言わざるを得ない。		

【施設番号 19-1】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課： 福祉部高齢福祉介護課（内線：2122・2123） 施設区分： 公営施設		
施設名	茅ヶ崎市松林ケアセンター			
指定管理者名	社会福祉法人 慶寿会			
指定期間	平成30年4月1日～令和4年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	介護を必要とする在宅の高齢者及びその家族の福祉の増進を図ること。			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市松林三丁目9番28号 開設年月日：平成10年12月 開館時間：午前8時30分から午後5時まで 敷地面積：1700.05㎡ 延床面積：758.59㎡（ケアセンター分） 主な施設：日常動作訓練室、食堂、厨房、厨房検品室、浴室、脱衣室、会議室、教育室			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書 定期実地調査
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業計画書 事業報告書 定期実地調査
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書 定期実地調査
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	地域施設管理運営委員会個人情報保護要綱 定期実地調査
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	地域施設管理運営委員会情報公開要綱 定期実地調査
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	月次報告書 定期実地調査
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	防災マニュアル 定期実地調査	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支決算書 定期実地調査	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	月次報告書 定期実地調査
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
	言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A		

評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	月次報告書 事業報告書 定期実地調査
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	A	事業報告書 定期実地調査
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	事業報告書 定期実地調査
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	月次報告書 定期実地調査
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	事業報告書 定期実地調査	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	月次報告書 事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	事業報告書 収支決算書 定期実地調査
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	施設の管理運営における実施体制、管理運営の内容・水準、収支等について、各種法令等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。また、介護を必要とする在宅の高齢者及びその家族の福祉の増進を図ることを目的とした、適切な管理とサービス提供が出来ている。 新型コロナウイルス感染防止対策等の対応が求められるなか、市と連携して対策の徹底に努め、緊急的なことにも関係機関と連携を取りながら、適切に対応することができた。 摂食や嚥下等の食事で困っている方への取組として、管理栄養士と連携を強化し、利用者の状態の把握に努め、栄養改善など食べられる食事の提供に尽力している。栄養面だけでなく、季節感を出すなど五感で楽しめる食事提供の取組を強化し、「嚥下メニューコンテスト」で2年連続最優秀賞を受賞した。		
	評価の中で特筆すべき事項	環境配慮の取組として、デマンドコントローラーで電力を可視化することで職員の節電意識を高めている。また、施設から排出された剪定枝をウッドチップに加工し、ゴミの減量と資源化した取組が評価され、茅ヶ崎市エコ管理賞を受賞することができた。 広報活動についてはSNSを利用し、施設利用状況や事業内容を周知することでフォロワー数を着実に伸ばした。また、専門誌や新聞などに食事や口腔ケアの取組が掲載されるなど、幅広く施設のアピールをしている。 利用者に行ったアンケートの結果は送迎、食事、スタッフの対応等、全項目において満足度が高かった。		
	指定管理者に来年度期待すること	今後も高齢者が住みなれた地域と家庭の環境のなかで、安心して生活を送れるよう更なる福祉向上に努め、引き続きサービスの質の維持に努めていただきたい。地域に開かれた施設として、地域の特性を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら幅広い年齢の方が交流できるような管理運営に取り組んでいただきたい。施設の老朽化が進み、施設設備等の経年劣化が見込まれるため、引き続き施設の長寿命化に向けた対策に努めていただきたい。また、茅ヶ崎市の環境マネジメントシステムである「C-EM S」について、引き続き環境に配慮した管理運営を期待する。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	稼働率向上を大目標として、取り組む。比較的、中、重度の利用者を多く受け入れてきたが、総合事業である要支援認定の方々の受け入れも拡充させ、同時に可能な限り送迎などを含めたエリアを広くしていく。 広報は継続して拡大していく。様々な団体や業種の方と協働し知名度と認知度を向上させていく。 車両や事務用品なども、購入やリースを併用するなど経費削減につながるよう、適宜検討していく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	広報のフィードバックとして、利用者アンケートを年に一度実施しているが、管理者だけではなく、全職員も目を通し生の声に触れ、業務に反映できるようにしている。松林ケアセンターについて知っていたく機会を逃さないように、介護業界誌への記事掲載や、介護業界新聞の取材、研究大会などの場に出ていく取り組みを続けている。 地域の方や様々な交流の場で、異世代、異業種の交流を続けている。コロナ禍で途絶えていたボランティアの受け入れなども再開。 稼働率向上は依然として大きな課題であり法人を挙げて取り組んでいる。居宅介護支援と訪問介護事業と併設している点を有効に利用者へ活用していただけるようアピールと共に、新規開拓を進める。 施設設備の老朽化対策について、順次交換や改修に取り組んでいる。特に高額になる改修については、国や県の様々な補助金を活用し取り組む必要申請をしている。		

【施設番号 19-2】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：福祉部高齢福祉介護課（内線：2122・2123） 施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市元町ケアセンター			
指定管理者名	社会福祉法人麗寿会			
指定期間	平成30年4月1日～令和4年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	介護を必要とする在宅の高齢者及びその家族の福祉の増進を図ること。			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市元町10番33号 開設年月日：平成13年12月 開館時間：午前8時30分から午後5時まで 敷地面積：1,127㎡ 延床面積：527㎡ 主な施設：日常動作訓練室、食堂、厨房、食品検品室、浴室、介護支援センター相談室、ケアセンター相談室			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書 定期実地調査
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	A	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	定期実地調査
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	定期実地調査 月次報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定 定期実地調査
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	定期実地調査
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	事業報告書 定期実地調査 月次報告書
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	事業報告書 定期実地調査 月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	防災マニュアル 定期実地調査	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	事業報告書 定期実地調査	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	定期実地調査 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	事業報告書 定期実地調査 月次報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書 定期実地調査 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	事業報告書 定期実地調査 月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	A	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	定期実地調査
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	定期実地調査 HP
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	定期実地調査 月次報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	事業報告書 定期実地調査 ヒアリング	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書 月次報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	事業報告書 定期実地調査
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	施設の管理運営における実施体制、管理運営の内容・水準、収支等について、各種法令等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。また、介護を必要とする在宅の高齢者及びその家族の福祉の増進を図ることを目的とした、適切な管理とサービス提供が出来ている。 新型コロナウイルス感染防止対策等の対応が求められるなか、市と連携して対策に努め、緊急的なことにも関係機関と連携を取りながら、適切に対応することができた。 事業においては新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら、地域包括支援センターと共同で体操や脳血管家族会を実施した。また、併設するコミュニティセンターとも良好な関係を維持し、保守点検業者を施設全体で一體的に委託するなど、情報共有しながら管理・運営を行なった。		
	評価の中で特筆すべき事項	施設の設備・備品について、修繕の必要が生じた際も、運営に影響が出ないよう適宜迅速な対応を講じ、小まめに市に報告がされていた。外壁修繕と空調修繕は大規模工事であったが、工事車両の駐車や近隣住民への説明など、併設するコミュニティセンターと調整しながら問題なく実施することができた。また、介護に係るものから接遇に係るものまで、法人研修も含め多くの研修を取り入れており、併せて職員が資格を取得したことにより、サービス提供の質の向上につながった。コロナ禍においても、感染防止対策を講じながら利用者を受け入れ、行事ごとに様々なイベントを取り入れることで充実した内容でサービスを提供することができた。		
	指定管理者に来年度期待すること	今後も高齢者が住み慣れた地域と家庭の環境の中で、安心して生活を送れるよう更なる福祉向上に努めていただきたい。引き続き新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、地域に開かれた施設として、地域社会との関わりを持ち、高齢者及びその家族の福祉の増進や幅広い年齢層の交流につながる自主事業などに取り組んでいただきたい。また、茅ヶ崎市の環境マネジメントシステムである「C-EMS」について、施設で実現可能な施策を検討いただき、より一層環境に配慮した管理運営を期待する。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	長く続くであろう新型コロナウイルス感染対策を行いながら、センターを利用される高齢者、及び地域住民の方にもっと開かれた施設となる事を目指す。その為には広報による周知、自主事業（地域性を鑑みた）も年齢層を意識した内容を計画、実施出来るようにする。 併設しているコミュニティセンターとより一層の連携を深め、共催にて「コミセンまつり」開催や、防災訓練、意見交換会を計画する。建物設置20年が経過し、設備不良箇所指摘を受けている。 早期に修繕し環境に即した管理（節電、及びLED化）について所管課と相談を重ね進めていきたいと思っている。 茅ヶ崎市内3か所ケアセンターと交流、意見交換会開催も予定したい。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	令和3年春より年に3回広報誌を発行しています。広報の一貫として地域清掃日を設け、地域住民皆様に「ケアセンター」事業の周知や交流機会を図っている。自主事業については指定日には地域福祉相談窓口を開設。また新型コロナ感染予防の為「珈琲の会」は未開催。感染状況を鑑み「脳血管疾患の会」「ゆずクラブ」開催を行った。 世代間交流については未実施となっている。 広報活動について改善をきたす事が出来たが、より具体的な自主事業の提案等は今後の取組み課題として残す事になった。		

【施設番号 19-3】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：福祉部高齢福祉介護課（内線：2122・2123） 施設区分：非公募施設		
施設名	茅ヶ崎市秋園ケアセンター			
指定管理者名	社会福祉法人翔の会			
指定期間	平成30年4月1日～令和4年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	介護を必要とする在宅の高齢者及びその家族の福祉の増進を図ること。			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市秋園1215番地4 開設年月日：平成13年12月 開館時間：午前8時30分から午後5時まで 敷地面積：1,199㎡ 延床面積：905㎡（ケアセンター分） 主な施設：食堂、厨房、日常動作訓練室、浴室、介護相談室、介護会議室、介護教育室			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書 定期実地調査
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	A	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	定期実地調査
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	定期実地調査 月次報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報に関する基本規程 定期実地調査
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	社会福祉法人翔の会 情報公開取扱 規程 定期実地調査
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	事業報告書 定期実地調査 月次報告書
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	事業報告書 定期実地調査 月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	社会福祉法人翔の会 防災管理 規定 定期実地調査	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	事業報告書 定期実地調査	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	定期実地調査 月次報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	事業報告書 定期実地調査 月次報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書 定期実地調査 月次報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	事業報告書 定期実地調査 月次報告書
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	定期実地調査
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	定期実地調査 HP
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	定期実地調査 月次報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	事業報告書 定期実地調査 ヒアリング	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書 定期実地調査 月次報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	事業報告書 定期実地調査
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	施設の管理運営における実施体制、管理運営の内容・水準、収支等について、各種法令等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。また、介護を必要とする在宅の高齢者及びその家族の福祉の増進を図ることを目的とした、適切な管理とサービス提供が出来ている。 新型コロナウイルス感染防止対策等の対応が求められるなか、市と連携して対策に努め、緊急的なことにも関係機関と連携を取りながら、適切に対応することができた。 令和2年度に引き続き、外部の出入り業者や職員の検温、換気等の感染防止対策を講じながらの運営であったが、他事業所が休業した際には可能な限り受け入れを行い、柔軟な対応を行った。		
	評価の中で特筆すべき事項	通所介護での機能訓練等には、外部から講師を呼び、三味線やボール・ウォーキング、コリナなどを取り入れたレクリエーション（遊びりテーション）を取り入れ、充実したプログラムを提供している。また、ボランティアや実習生の受け入れについても、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら受け入れを実施した。 配管の水漏れ等緊急的な対応が多く発生したが、その都度適切な処置を行い、利用者に支障をきたすことなく運営を行うことができた。		
	指定管理者に来年度期待すること	新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、地域に開かれた施設として地域住民が参加できるような自主事業の開催等、今後も高齢者が住みながら地域と家庭の環境の中で、安心して生活を送れるよう更なる福祉向上を目指した管理・運営に努めていただきたい。また、通所介護において新規利用者の受け入れや職員の確保等、課題解決に向け取り組んでいただきたい。 施設の管理については、早期発見に繋がるよう、引き続き点検や保守管理に努めていただくとともに、茅ヶ崎市の環境マネジメントシステムである「C-EMS」について、施設で実現可能な施策を検討いただき、より一層環境に配慮した管理運営を期待する。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、自主事業・企画事業の企画運営、通所介護事業の提供を継続できるよう、事業所内でのマンパワーの確保や他事業所からの応援体制の検討を行う。 建物が築20年を迎え、近年修繕箇所が増えてきている。こまめに点検し軽微な修繕を早い段階で行い、大規模修繕に繋がらないようにしていく。 令和2年度には控えていたボランティアや実習生の受入も、感染対策を講じながら受入の再開を行った。利用者の方にはボランティアの演奏や学生ボランティア・実習生との交流等を楽しんでいただけた、来て頂いた方々には地域福祉に関わって頂ける場の提供ができた。令和4年度も積極的に受入を行い、令和3年度に再開できなかった活動の再開に向けての検討を行っていく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	現在は本施設に本部経費は支出しておらず、改善が図られている。 広報・自主事業に対して本部経費は支出されておらず、改善が図られている。 新規利用者の方や地域の方から2階にデイサービスの事業所がある事を知らなかったと言われた事がある。一階の入口や歩道側にポスター掲示を行い、近隣自治会の回覧板にチラシを入れて頂いたりして、近隣の方々に知っていただく取り組みをしていく。 いこいの里と共同で、地域の方向けの自主事業の企画運営を行う。就労（親）世代を含め、児童（子供）高齢者（親）といった2世代・3世代が一緒に参加できる企画を検討する。 要支援の方で入浴を希望する方には入浴の提供を行う。新規の要支援の方を対象に、受入日数の緩和を行い、支援1の方は週2日まで受入し希望があれば入浴も提供する。支援2から支援1に変更になった方も希望があれば継続して週2日受入れる。支援2の方は、個別に状況をお聞きし週3日まででは検討する。 利用日以外のイベントへの参加や振替利用の希望がある場合は、ケアマネージャーに相談し単位数等問題なければ受入を行う。		

【施設番号 20-1】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課： 建設部公園緑地課（内線：1351）		
		施設区分： 公営施設		
施設名	茅ヶ崎市営浜須賀水泳プール			
指定管理者名	ハヤシグループ			
指定期間	平成31年4月1日～令和5年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	スポーツの振興を図り、市民の健康増進に寄与するため。			
施設の概要	所在地： 茅ヶ崎市浜須賀18番38号 開設年月日：昭和40年3月30日 開館時間： 午前9：00～午後5：00 敷地面積： 2,850㎡ 延床面積： 153,14㎡ 主な施設： 大プール・中プール・小プール 各1面			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	外部委託届 事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	事業報告書	
	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B		
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	プール管理マニュアル 緊急時対応マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支報告書	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	事業報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	事業報告書 備品台帳
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	事業報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	今年度は近隣プールや海水浴場の閉鎖が相次ぐ中の開場となり、ロッカー等の間引きや消毒作業、健康チェックシートの提出、入れ替え制の導入など新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、自主事業（教室事業、物販事業）の充実を図るなどし入場者数の増加に取り組み適切に運営管理が行われていた。 現場の状況やアンケート結果等からも、適切に人員を配置し、サービスを提供しており、適切な運営管理が行われていたものと考ええる。		
	評価の中で特筆すべき事項	閉場期間中の自主事業については、プール槽を利用した釣り堀を行い、申し込み多数で抽選を行った。また当日も大きな混乱なく行われていた。他にも、人工呼吸・AED教室・SDGsセミナー等を行い、利用者サービスの向上に努めていた。 地元への施設開放についても、連絡調整や利用者対応が十分に行われ、問題なく実施されていた。 閉場期間中の巡回を定期的に行うことでのいたす等を抑止し、またいたすが生じた際には市と密に協議を行い、対応を行っていた。		
	指定管理者に来年度期待すること	来年度は、指定管理期間の最終年度となるため、今年度の経験を活かし、利用者サービスの向上を図っていただきたい。また、新型コロナウイルス対策も慎重に行いながら、適正な運営管理に努めていただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	利用者サービス向上の面では今年度の自主事業でお客様に評価頂けた部分については踏襲しつつ、参加状況等を精査した上で来年度の実施内容を改善し、一層地域のみなさまのニーズに応えられるサービスを提供できるよう努めていく。 自主事業の釣り堀に関しては想定以上の反響をいただき、ご参加頂けなかった方も多かったことから次年度は更に多くの方にご参加頂けるよう検討していく。 現状はコロナ禍という特異な状況下ではあるが、引き続き政府・県・市の方針に則り、細心の注意を払いながら適宜対応して適切な運営をしていく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	環境活動については、エコキャップ活動を夏期プール営業期間内で実施し、賛同頂いた方にはスタンプカードの押印特典をつけて実施したところお子さまを中心に楽しんでご参加いただいた。 パートナー企業の財務面についてはコロナの影響下においても徹底した感染対策を実施して顧客の信頼を得ていることで安定した財務状況を推移している。		

【施設番号 20-2】

第2号様式				
令和3年度 指定管理業務総括評価票				
		施設所管課：建設部公園緑地課（内線：1351）		
		施設区分：公営施設		
施設名	茅ヶ崎市岩殿山水泳プール			
指定管理者名	ハヤシグループ			
指定期間	平成31年4月1日～令和5年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	スポーツの振興を図り、市民の健康増進に寄与するため。			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市甘沼285番1 開設年月日：昭和45年7月1日 開館時間：午前9：00～午後5：00 敷地面積：2,149㎡ 延床面積：177.66㎡ 主な施設：大プール・小プール 各1面			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	外部委託届 事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	事業報告書
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	プール管理マニュアル 緊急時対応マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	収支報告書	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	事業報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
	言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B		

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	事業報告書 備品台帳
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	事業報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	今年度は近隣プールや海水浴場の閉鎖が相次ぐ中の開場となり、ロッカー等の間引きや消毒作業、健康チェックシートの提出、入れ替え制の導入など新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、自主事業（教室事業、物販事業）の充実を図るなどし入場者数の増加に取り組み適切に運営管理が行われていた。 現場の状況やアンケート結果等からも、適切に人員を配置し、サービスを提供しており、適切な運営管理が行われていたものと考ええる。		
	評価の中で特筆すべき事項	閉場期間中の自主事業については、ランニング教室を行い、利用者サービスの向上に努めていた。 また、閉場期間中の巡回を定期的に行うことでいたす等を抑止し、またいたすが生じた際には市と密に協議を行い、対応を行っていた。		
	指定管理者に来年度期待すること	来年度は、指定管理期間の最終年度となるため、今年度の経験を活かし、さらなる利用者サービスの向上を図っていただきたい。 また、新型コロナウイルス対策も慎重に行いながら、適正な運営管理に努めていただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	利用者サービス向上の面では今年度の自主事業でお客様に評価頂けた部分については踏襲しつつ、参加状況等を精査した上で来年度の実施内容を改善し、一層地域のみなさまのニーズに応えられるサービスを提供できるよう努めていく。 現状はコロナ禍という特異な状況下ではありますが、引き続き政府・県・市の方針に則り、細心の注意を払いながら適宜対応して適切な運営をしていく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	環境活動については、エコキャップ活動を夏期プール営業期間内で実施し、賛同頂いた方にはスタンプカードの押印特典をつけて実施したところお子さまを中心に楽しんでご参加いただいた。 パートナー企業の財務面についてはコロナの影響下においても徹底した感染対策を実施して顧客の信頼を得ていることで安定した財務状況を推移している。		

【施設番号 21】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課： 建設部公園緑地課（内線：1352）		
		施設区分： 非公募施設		
施設名	柳島しおさい公園			
指定管理者名	公益財団法人 茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団			
指定期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日〔4年〕			
施設の設置目的	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与するため			
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市柳島1900番地 開設年月日：平成28年4月1日（神奈川県より委譲） 開館時間：（3月、4月、9月）午前6時30分から午後5時30分まで （5月から8月まで）午前6時30分から午後6時30分まで （上記以外）午前7時30分から午後4時30分まで 敷地面積：70,339㎡ 延床面積：161,61㎡ 主な施設：少年蹴球場、テニスコート			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人 員 体 制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外 部 委 託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法 令 等 遵 守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個 人 情 報 保 護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護マニュアル
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情 報 公 開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管 理 記 録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連 絡 調 整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	月次報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊 急 対 応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	緊急時マニュアル 救急搬送報告書	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財 務 状 況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	財務諸表	
2 内容・水準	施 設 管 理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利 用 者 対 応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書 月次報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	事業報告書 実地 備品台帳
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	実地	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ 館内掲示 Facebook	
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	事業報告書 月次報告書 わたしの提案 ホームページからの問い合わせ	
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B			
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	柳島しおさい公園利用者アンケート結果		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	事業報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支決算書 事業報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等 (施設所管課が記載)	総合評価	施設維持管理面について、前年度に続きテニスコートの劣化部分の修繕による状態改善を行った。 運営面については、新型コロナウイルス感染拡大対策として「神奈川県まん延防止等重点措置」及び緊急事態宣言が発出された中においても運営を工夫することで、公園施設・運動施設ともに過去4年間の中で最も利用者数が多かった。 自主事業については、一定の人数が見込めるノルディックウォーキング教室や朝活ワンコインテニスサポートに加えて、キッズラグビー無料体験教室、1日体験グランドゴルフ教室も徐々に参加者が集まっていることから、様々な世代がスポーツへの関心を高める良い機会となった。今後も更なる取り組みを行ってほしい。			
	評価の中で特筆すべき事項	新型コロナウイルス感染拡大に伴う自粛要請等の中で、公園利用者が増加している状況でも施設の維持管理・利用者の対応に努めていただいている。また、感染防止対策チェックリストの運用等を行い、スポーツ施設における感染対策を実施している。			
	指定管理者に来年度期待すること	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、自主事業をさらに充実させて、柳島しおさい公園で多くの利用者がスポーツを通じて「心身の健全な発達」のために積極的な取り組みを行っていただきたい。また、駐車場と自販機は当該施設を運営するための貴重な収入源となっていることから、得られた利益で柳島しおさい公園内の施設の修繕等を効果的に取り組んでいただきたい。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を今後も継続しながら、防止対策（自粛要請等）と施設の活性化（利用率向上）とのバランスを見極めながら安全な施設管理を図っていく。 特に、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などに伴う不安や閉塞感を開放するために市内外からの利用者が集まっている。市内でも有数の面積を有する公園施設としての役割を担うことができ、最終年度ではFacebook等のSNSを利用して施設価値等や魅力を発信していく。 また、新たな自動販売機（アイス）の設置を行い、市民サービス向上を図るとともに施設利用価値を高めつつ、新たな収入源の確保に取り組む。 さらに、経費節減及び増収が達成できた場合の収益については、老朽化した設備の補修等を積極的に行うなど、市民サービスとして公園利用者へ還元していく。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	少年蹴球場の利用率向上の課題については、過去4年間において利用率（利用コマ数/利用可能コマ数）の部分では増加した。これは、利用自粛傾向のある屋内施設とは対照的に屋外施設への需要が高まりをみせた結果と推測される。引き続き安全面に注視しながら利用率向上を図っていく。 当公園の特徴的な点のひとつに、広い敷地で開放感を味わえるところがあり、これを活かした運営方法を取っていく。具体的には、利用者同士の一定の距離を確保しつつ安全に配慮した利用の促進と現在行っている自主事業のさらなる充実を図っていく。			

【施設番号 22】

第2号様式		令和3年度 指定管理業務総括評価票		
		施設所管課： 建設部公園緑地課（内線：1351） 施設区分： 公募施設		
施設名	茅ヶ崎市柳島キャンプ場			
指定管理者名	柳島キャンプ場運営共同事業体			
指定期間	平成30年1月1日～令和4年3月31日〔4年3か月〕			
施設の設置目的	当該施設は、自然の中での野外活動、レクリエーション活動その他の活動を通して、市民の自然に対する理解を深めるとともに、市民の心身の健康の増進を図るため設置されたものである。			
施設の概要	所在地：神奈川県茅ヶ崎市柳島海岸1592番1地先 開設年月日：平成24年4月（神奈川県から市へ移管） 敷地面積：36,505.19㎡ 主な施設・延床面積 ・管理棟（202.77㎡） ・宿泊棟（222.00㎡） ・ログキャビン3棟（各床面積 16.20㎡）			
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善			
評価項目	評価基準	評価	確認資料等	
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B	事業報告書
		必要な資格、経歴等を有する人員が確保されている。	B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	事業報告書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	事業報告書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。	B	個人情報保護規定
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。	B	情報公開規定
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	業務日誌 事業報告書
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	事業報告書	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B		
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	危機管理マニュアル	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能なる状態である。	B	財務諸表	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B	事業報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	実地 事業報告書
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A	
	言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A		

評価項目		評価基準	評価	確認資料等
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	事業報告書 実地
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	
	維持管理	仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	事業報告書 備品台帳 実地
		仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	B	事業報告書 実地
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	ホームページ
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	事業報告書
苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。		B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	事業報告書	
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	A	事業報告書	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	収支予算書 事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	指定管理期間中は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休場や利用状況の変化に伴い、指定管理者として対応に苦慮した点もあったと思うが、全体として運営管理は適正に行われ、特段の問題もなく満了したと考えている。自主事業に関して、過去実施されていたイベントについては、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため実施できなかったが、人が密集しないイベントの形を企画し、工夫に努めていた。また、レンタル品や販売品等の拡充が行われたことで利用者のサービス向上を図っていた。		
	評価の中で特筆すべき事項	サービス内容の変更や新サービス設定時など利用者に対する情報更新を積極的に行っていることから、利用者サービスの向上及び利用者増の取り組みが行われている。また、利用者の意見を取り入れ、受付方法の変更やレンタル品の拡充を行い、より効率的な運営になるよう努力している。		
	指定管理者に来年度期待すること	本事業は、指定管理料による財源がなく、利用料収入のみで運営しているため、収支状況を勘案しながら、サービスの質を維持していただきたい。		
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	当年は指定管理事業の最終年度であり、1年目からの実績を踏まえて諸課題の解決に取り組み、最大の課題であった保安林内の火気使用について、茅ヶ崎市と連携し神奈川県との2年に及び協議の結果、火気使用を認められた。これにより本施設の魅力が大きく高まり、テントサイト・バーベキューサイトも増設可能になった。指定管理期間には間に合わなかったが、次年度以降においては、一層の利用促進・収支改善が見込める。 コロナ禍のなかアウトドアへの関心が高まり、都心に近く自然豊かな環境のなか立地する本施設は、コロナ禍に暮らす市民生活にとって貴重な存在であるため、火気使用区域の拡大をきっかけに魅力を高め、より多くの市民に利用していただけるよう積極的に取り組んでいく。		
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	以下の利用促進を図った。 酒類販売許可を取得し地産産を含む酒類の販売を開始した。また、利用者のヒアリングから地産産の海産物や果物、菓子類・かき氷など時期を逃さず販売し、昨年比130%増につなげた。 コロナ禍から大規模なイベントは行えなかったが、こいのぼり作り・七夕飾り・ハロウィン仮装イベント・Xmas装飾イベント・場内フォトコンテストなどコロナ禍でも実施可能なイベントを積極的に計画・実施した。 コロナ禍でも感染対策をしっかりと行い、安全・安心なキャンプ場のアピールに努め、利用者数は前年比143%・利用料金収入は142%と大きく増やした。 火気使用を認められた事により、グランピングサイト2サイトにて検証を兼ねた火気の利用を開始。利用者から非常に満足度の高い声をいただいた。		

【施設番号 23】

第2号様式				令和3年度 指定管理業務総括評価票	
				施設所管課： 文化生涯学習部スポーツ推進課（内線：6022） 施設区分： 非公募施設	
施設名	柳島スポーツ公園				
指定管理者名	茅ヶ崎スマートウエルネスパーク株式会社				
指定期間	平成30年2月1日 ～ 令和20年3月31日〔20年〕				
施設の設置目的	スポーツの振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与するため				
施設の概要	所在地：茅ヶ崎市柳島1300番地 開設年月日：平成30年3月25日 開館時間：午前6時から午後10時15分まで 敷地面積：64,696㎡ 主な施設：総合競技場、庭球場、クラブハウス、コミュニティ広場、多目的広場 等				
評価区分	A：優良 B：良好 C：課題含 D：要改善				
評価項目	評価基準			評価	確認資料等
1 実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。		B	業務計画書
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。		B	
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。		B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。		B	業務計画書
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。		B	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。		B	業務計画書
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されている。		B	個人情報保護マニュアル
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。		B	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されている。		B	情報公開マニュアル
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。		B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。		B	業務日誌
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。		B	
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。		B	月次業務報告書
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。		B	
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。		B	緊急時・事故対応マニュアル 救急搬送報告書	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。		B		
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。		B		
財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。		B	財務諸表	
2 内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。		B	業務報告書
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。		B	
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。		B	実地
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。		B	
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。		B	

評価項目	評価基準	評価	確認資料等		
2 内容・水準	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B	業務報告書	
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B		
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B		
	維持管理		仕様書、法令等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	実地 備品台帳
			仕様書、法令等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている（業務用空調機器、業務用冷蔵・冷凍機器の簡易・定期点検の実施及びその点検・整備の記録の保管も含む）。	B	
			備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	
			協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B	
	環境配慮	省エネルギー、省資源、電力調達に対する考え等環境への配慮がなされている。	A	実地	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	ホームページ、館内掲示	
	苦情等対応		苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	業務報告書 わたしの提案 ホームページからの問い合わせ
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B		
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B	利用者アンケート		
利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B	業務報告書		
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	帳簿 業務報告書	
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B		
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B		
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B		
4 総合評価等（施設所管課が記載）	総合評価	開園5年目を迎え、維持管理・運営業務については適切に実施されている。 維持管理においては、日常点検及び法定を含む定期点検は適切に実施されており、公園は良好な状態に維持されている。また、園路灯やウッドデッキの補修、人工芝部補修なども適宜実施し、良好な状態を維持している。 運営面においては稼働率も適正な水準を維持しており、利用者にも感染症対策の協力を得ながらトラブルなく運営できている。感染症対策を講じながらイベントも実施しており、やなスポフェスをはじめ、感染症対策を講じながら様々なイベントを開催し、多くの方に参加いただいた。コロナ禍においても施設の有効活用に努めている。施設への要望等についても、いただいた意見を参考とし施設運営に活かすことができた。 今後においては、更なる施設周知や利用促進を目的とした地元自治会をはじめ地域経済と一体となった施設運営に期待する。			
	評価の中で特筆すべき事項	ゴミや植栽ゴミのリサイクル、徹底した節電・節水及び電力会社の変更実施を行い、省エネに努めた。			
	指定管理者に来年度期待すること	地元自治会等とも連携し、市民からもより身近に感じていただけるような事業展開、施設づくり。			
5 指定管理者の意見	評価を受けての今後の取組等について	今後の取り組みも茅ヶ崎市民の健康を第一に考え、新型コロナウイルスの感染症対策を実施しながら安心安全な利用促進に取り組む。昨年度末に実施した「やなスポフェス2022」、「全国統一かけっこチャレンジ」は、これからのWITHコロナ時代に屋外でのイベントの在り方の指針になるようなイベントとして成功を収めた。今年度は、この取り組みから得たノウハウを生かして「納涼祭」を3年ぶりに開催させるべく、地域の湘南地区まちぢから協議会と綿密に打合せを実施し開催する。 また、各スポーツ団体の大会、リーグも随時開催できるようになってきているので、引き続き、新型コロナウイルスの感染症対策を徹底し、利用を推進していく。 評価頂いている「環境配慮」においては、引き続きコンポストでの植栽ごみのリサイクルを取り組み、省エネが叶うものについては人的オペレーションによる節約も含めて積極的に取り組んでいく。私たちの活動は、大半の市民の方にご理解とご協力を頂いているので、今後も柳島スポーツ公園は地域の方たちの憩いの公園として、交流のある居心地の良い公園づくりに私たちは推進していきたいと思う。			
	指定管理者選定等委員会において選定時及び評価結果を報告した際に改善すべきとされた事項の改善進捗状況	—			

指定管理者制度導入施設におけるモニタリング結果報告書【令和4年度版】(案)

令和 年 (年) 月発行 部

発行 茅ヶ崎市

編集 企画部行政改革推進室行政改革推進担当

〒253-8686

神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号

電話 0467-82-1111

FAX 0467-87-8118

ホームページ <http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp>

携帯サイト <http://mobile.city.chigasaki.kanagawa.jp>

